
研 究 活 動

看 護 学 科

1) 千葉 敦子

b 総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

【研究ノート】

1. 千葉敦子, 細川満子, 山本春江ほか: 在宅看護実習前に学生に身につけさせたい実習態度—訪問看護ステーション実習指導者に対するアンケート調査—, 青森県立保健大学雑誌, 11, p. 61-66. 2010年12月.

【公衆衛生活動報告】

1. 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果 教室参加者の学習内容の伝達と非参加者への影響, 日本公衆衛生雑誌, 58 (2), p. 102-110. 2011年2月.

d 学会発表など

【学会発表】

1. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, : 生活習慣病予防教室後に教室参加者から健康情報を受け取り行動に発展した被伝達者の特性, 日本地域看護学会, 2010年7月10日, 札幌市, 日本地域看護学会第13回学術集会講演集, p. 75, 2010. 1: 青森県立保健大学
2. 山本春江¹⁾, 千葉敦子¹⁾: アンケートからみた保健医療福祉系大学看護学科1年生の「ケア」「家事」体験の推移, 日本家族看護学会第17回学術集会講演集, p. 102, 2010. 1: 青森県立保健大学
3. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾, 藤田修三¹⁾: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果—3年間の健康診断結果の検討—, 日本産業衛生学会, 2010年10月13日, 札幌市, 第20回日本産業衛生学会産業医・産業看護全

国協議会講演集, p. 127, 2010. 1: 青森県立保健大学

4. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾, 藤田修三¹⁾: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果, 日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京都, 日本公衆衛生学会雑誌第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p. 552, 2010. 1: 青森県立保健大学.
5. 山本春江¹⁾, 杉山克己¹⁾, 勘林秀行¹⁾, 佐藤伸¹⁾, 千葉敦子¹⁾, 井澤弘美¹⁾: グループワークを促進する教育方法の検討—大学1年前期における課題演習の学習効果—, 日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京都, 日本公衆衛生学会雑誌第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p. 505, 2010. 1: 青森県立保健大学.
6. 千葉恵津子¹⁾, 山本春江²⁾, 鎌田明美³⁾, 千葉敦子²⁾, : 労働者の運動習慣とストレス解消法との関連, 日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京都, 日本公衆衛生学会雑誌第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p. 220, 2010. 1: 青森郵政健康管理センター, 2: 青森県立保健大学, 3: 青森中央短期大学.
7. 鎌田明美¹⁾, 山本春江²⁾, 千葉敦子²⁾, 三浦雅史²⁾, 千葉恵津子³⁾: 大学における介護予防トレーニングの「場」としての特性, 日本公衆衛生学会, 2010年10月27日, 東京都, 日本公衆衛生学会雑誌第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p. 362, 2010. 1: 青森中央短期大学, 2: 青森県立保健大学, 3: 青森郵政健康管理センター.
8. 富田恵¹⁾, 山本春江¹⁾, 細川満子¹⁾, 千葉敦子¹⁾ほか: 保健師教育の技術項目と卒業時の到達度(案) 暫定版を用いた自己チェック有用性の検討, 2010年10月27日, 東京都, 日本公衆衛生学会雑誌第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p. 498, 2010. 1: 青森県立保健大学.
9. 戸沼由紀¹⁾, 山本春江¹⁾, 細川満子¹⁾, 山田典子¹⁾, 千葉敦子¹⁾ほか: 地域統合実習にお

いて学生が学んだ地域看護の展開に必要な態度, 2010年10月27日, 東京都, 日本公衆衛生学会雑誌第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p. 497, 2010.1: 青森県立保健大学.

10. 山本春江¹⁾, 千葉敦子¹⁾: 保健医療福祉系大学初年次教育におけるグループワーク促進を図った課題演習の効果と課題達成感との関連, 看護科学学会, 2010年12月3日, 札幌市, 第30回日本看護科学学会学術集会講演集, p. 33, 2010.1: 青森県立保健大学.
11. 鎌田明美¹⁾, 山本春江²⁾, 千葉敦子²⁾: 大学という「場」と介護予防トレーニング参加促進との関連—参加のきっかけ・魅力に焦点を当てて—, 看護科学学会, 2010年12月3日, 札幌市, 第30回日本看護科学学会学術集会講演集, p. 271, 2010.1: 青森中央短期大学, 2: 青森県立保健大学.
12. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾: 職域を対象とした保健指導モデルの評価—職場システムに生じた波及効果—, 日本ヘルスプロモーション学会, 2010年12月11日, 福岡市, 日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会・総会抄録集, p. 42, 2010.1: 青森県立保健大学.
13. 森永八江¹⁾, 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾: 職域における健康教室の食事調査の経年変化による保健指導プログラムの検討, 日本ヘルスプロモーション学会, 2010年12月11日, 福岡市, 日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会・総会抄録集, p. 43, 2010.1: 青森県立保健大学.
14. 山本春江¹⁾, 千葉敦子¹⁾: アンケートからみた保健医療福祉系大学1年次生の生活体験の推移, 日本ヘルスプロモーション学会, 2010年12月11日, 福岡市, 日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会・総会抄録集, p. 41, 2010.1: 青森県立保健大学.
15. 千葉敦子¹⁾, 山本春江¹⁾, 森永八江¹⁾, 藤田修三¹⁾: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果—3年間の健康診断結果の検討—, 2010年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011年2月22日, 青森市, 2010年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集, p. 74,

2010.1: 青森県立保健大学

2) 伝法谷 明子

学会発表

織井優貴子¹⁾, 船木淳²⁾, 伝法谷明子²⁾: 高性能シミュレータを用いた看護演習の試み—手術を受けた患者のシナリオを使用して—, 第30回日本看護科学学会学術集会, 2010年12月3日—4日, 札幌コンベンションセンター, 札幌

¹⁾: 青森県立保健大学大学院健康科学部研究科, ²⁾: 青森県立保健大学健康科学部

織井優貴子¹⁾, 船木淳²⁾, 伝法谷明子²⁾: 患者のアセスメント能力向上のための高性能シミュレータ活用の試み, 第3回日本医療教授システム学会総会, 2011年3月3日—4日, 学術総合センター, 東京

¹⁾: 青森県立保健大学大学院健康科学研究科, ²⁾: 青森県立保健大学健康科学部

3) 福井 幸子

1. 誌上発表

- 福井幸子、矢野久子、細川満子: X県内訪問看護ステーションにおける個人防護具使用と針刺しの実態調査 日本環境感染学会誌, 286-289, 25(5), 2010.
- 福井幸子、矢野久子: 訪問看護における感染に関する有害事象の実態—管理者を対象としたインタビュー調査から—, 名古屋市立大学看護学部紀要, 23-31, 第10巻, 2010.
- 訪問看護における標準予防策の検討—感染に関するインシデント・アクシデントから—質問紙調査報告書: 科学研究費補助金(基盤研究C: 研究代表者: 福井幸子) 平成20年度～平成22年度, 科学研究費補助金研究成果報告書, 2010.

2. 一般発表など

・佐藤晴美¹, 下山千都¹, 馬場裕美¹, 溝江育¹, 大鹿周佐¹, 川原田里美¹, 福井幸子²,
: 重症心身障がい者の尿漏れ防止に対するオムツの当て方について一車椅子上での姿勢に着目して一. 第41回日本看護学会一看護総合一学術集会. 2010年7月17日, サンプルート国際ホテル山口, 山口市, 第41回日本看護学会抄録集 看護総合, 248.

¹: 青森県立あすなろ医療療育センター

²: 青森県立保健大学

・福井幸子¹, 矢野久子², : 訪問看護における感染に関する有害事象の全国調査.

第26回日本環境感染学会. 2011年2月19日, グランドプリンスホテル高輪, 東京,

環境感染誌, Vol.26, supplement, 173, 2011.

¹: 青森県立保健大学 ²: 名古屋市立大学

4) 本間 ともみ

報告書

鳴井ひろみ: 外来がん化学療法を受ける患者・家族に対するグループ介入による援助プログラムの開発. 2007年~2009年科学研究費補助金, 基盤研究(C) 研究成果報告書(研究代表者: 鳴井ひろみ, 連携研究者: 平典子, 沼田享子, 本間ともみ), 2010年6月.

5) 細川 満子

学術論文(原著)

1. Mitsuko Hosokawa: Development of a Critical Pathway for Diabetes Care within Home Care Nursing for the Elderly - Development of a Proposed Critical Pathway and the Results of a Trial Using It -, 日本ヒューマンケア学会誌, 4(1), 29-40, 2011.

総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

【研究ノート】

1. 千葉敦子, 細川満子, 山本春江ほか: 在宅看護実習前に学生に身につけさせたい実習態度一訪問看護ステーション実習指導者に対するアンケート調査一, 青森県立保健大学雑誌, 11, p.61-66. 2010年12月.

学会発表など

【学会発表】

1. 細川満子, 富田恵, 井澤美樹子: 高齢者訪問看護における糖尿病ケアのクリティカルパスの開発に向けた基礎調査, 第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p.375, 東京都, 2010年10月29日.

2. 戸沼由紀, 山本春江, 細川満子, 山田典子, 千葉敦子, 富田恵, 菊池美智子, 鎌田明美, 千葉恵津子: 地域統合実習において学生が学んだ地域看護の展開に必要な態度, 第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p.479, 東京都, 2010年10月29日.

3. 富田恵, 山本春江, 細川満子, 千葉敦子, 山田典子, 戸沼由紀, : 保健師教育の技術項目と卒業時の到達目標(案)暫定版を用いた自己チェック有用性の検討, 第69回日本公衆衛生学会総会抄録集, p.498, 東京都, 2010年10月29日.

4. 細川満子, 富田恵, 井澤美樹子: 高齢者訪問看護における糖尿病ケアのケアプログラム開発に関する研究, 2010年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集, p.76-77, 青森市, 2011年2月22日.

【セミナーの主催】

1. 「在宅糖尿病ケアスキルアップセミナー」主催, 2011年2月26日(土)10時~15時, 青森県立保健大学.

6) 伊藤 治幸

【論文】

1) 伊藤治幸, 高橋一平, 塚本利明, 佐藤弘道, 谷本歩実, 徳田糸代, 梅田孝, 中路重之. 生体内微量元素が好中球の活性酸素種産生能に及ぼす影響. 体力・栄養・免疫学会誌 20 巻 2 号 p105-108, 2010. 【原著】

【解説】

1) 清水武史, 伊藤治幸: 初めて実習を受け入れる病院との連携～精神看護実習を例に. 看護人材教育, Vol. 7, No. 3, p106-112, 2010

【一般発表】

1) 伊藤治幸, 高橋一平, 塚本利明, 佐藤弘道, 谷本歩実, 徳田糸代, 梅田孝, 中路重之. 生体内微量元素が好中球の活性酸素種産生能に及ぼす影響. 第 20 回体力・栄養・免疫学会大会抄録集, p. 18, 2010, 8 月

2) 熊谷貴子, 李相潤, 北宮千秋, 佐藤厚子, 橋本淳一, 伊藤治幸. 青森県における性別および年代別にみた血圧の状況. 日本公衆衛生学会総会抄録集 69 回, p. 213, 2010. 10 月

3) 伊藤治幸, 高橋一平, 小西裕之, 福井真司, 本田勝義, 佐々木英嗣, 梅田孝, 中路重之. 一般住民における生体内微量元素が好中球の活性酸素種産生に及ぼす影響. 日本衛生学雑誌 66 巻 2 号, p489, 2011 年 2 月

7) 角濱 春美

著書など

・Gsupple 編集委員会, 小山敦代, 池西静江編: 用語解説・レポート学習まとめてわかる看護学概論, メディカ出版, 2011. 2. (第 10 章 米
国保健政策研究局 AHRQ、ランダム化比較試験, pp190-192, 第 11 章 看護サービスの質, pp205-207, 分担執筆)

学会発表など

・角濱春美: 低 ADL 高齢者の睡眠覚醒パターンと睡眠影響因子との関連, 日本看護技術学会第 9 回学術集会, 2010 年 10 月, ウィンクあいち.

・小林奈保子, 角濱春美: 睡眠導入時に音楽を聴取することによる睡眠の質への効果分析, 日

本看護技術学会第 9 回学術集会, 2010 年 10 月, ウィンクあいち.

・角濱春美: 自力移動困難な認知レベルの低下した高齢者への離床・就床ケアの判断理由の分析, 第 30 回日本看護科学学会学術集会, 2010 年 12 月, 札幌市産業振興センター.

8) 葛西 紗幸

「一般発表」

1) 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子, 山本真樹子, 谷田部仁子, 葛西紗幸: 「次の子どもを希望しない理由」の分析, 日本看護科学学会学術集会講演集 30 回, p 536, 2010. 12.

2) 大関信子, 山本真樹子, 佐藤愛, 谷田部仁子, 大井けい子, 葛西紗幸: 地方中核都市の更年期女性の一般精神健康度の不安の原因と分析, 日本看護科学学会学術集会講演集 30 回, p 538, 2010. 12

3) 山本真樹子, 大関信子, 大井けい子, 佐藤愛, 谷田部仁子, 葛西紗幸: A 県の子育て支援に対する女性の思い—インタビューを通して—, 2010 年度青森県保健医療福祉研究会, 2011. 2

4) 葛西紗幸, 大関信子: 夫への子育てに対する不満「海外の場合」、2010 年度青森県保健医療福祉研究会, 2011. 2

9) 木村 恵美子

1. 誌上发表

・木村恵美子: リンパ浮腫の緩和期および終末期の身体の特徴, 作業ジャーナル Vol. 44 No. 9, 932-935, 2010 年 8 月, 三輪書店, 東京.

: 青森県立保健大学

・木村恵美子¹, 河内香久子², 下山良子³, 越後雅子⁴, 小又恭子³: 生体インピーダンス法を用いたリンパドレナージの経時的排液効果の検証—下肢水平位での安静時から 2 時間まで—, 41-51, Vol14 No1, 2010 年 3 月, 日本ヒューマンケア科学会誌, 青森.

¹: 青森県立保健大学, ²: 治療室シーズ, ³: 十和田市立中央病院, ⁴: 青森県立中央病院

・Shizuko Okajima¹, MHS, RN 1, Akio Hirota,² MD
2, Emiko Kimura³, MHS, RN, et al :

Health-related quality of life and associated factors in
patients with primary lymphedema,
International Journal of Nursing Studies.
16-Mar-2011 Accepted.

¹:Department of Gerontological Nursing/Wound
Care Management, Division of Health Sciences
and Nursing, Graduate School of Medicine,
University of Tokyo, Tokyo, Japan

²:Hirota Internal Medicine Clinic, Tokyo, Japan

³:Aomori University of Health and Welfare, Aomori,
Japan

2. 一般発表など

・木村恵美子：生体インピーダンス法によるリンパドレナージの経時的排液効果の検証——
2010年12月3-4日，第30回日本看護科学学会，札幌市；札幌コンベンションセンター。

：青森県立保健大学

・木村恵美子¹，河内²香久子²：生体インピーダンス法によるリンパドレナージの経時的排液効果の検証—第2報 施行直後から2時間まで，
2011年2月12日 第25回日本がん看護学会
学術集会，神戸市；国際会議場

¹：青森県立保健大学、²：治療室シーズ

10) 小池 祥太郎

学会発表

小池祥太郎¹ 工藤せい子² 會津桂子² 安杖優子² 横田ひろみ²：拭き取り時の適切な室温の検討—皮膚温度・皮膚深部温度と主観的評価から—，第30回日本看護科学学会学術集会，288，2010

¹：青森県立保健大学 ²：弘前大学大学院保健学研究科

村岡祐介¹ 小池祥太郎² 佐藤千紗斗¹ 野呂尚子¹ 古川照美³：満床時の車いすによる患者のストレス程度とその要因 第41回日本看護学会看護管理学術集会抄録集，203，2010

¹：弘前大学医学部附属病院 ²：青森県立保健大学

³：弘前大学大学院保健学研究科

11) 宗村 弥生

【論文】

1) 原 三紀子，宗村弥生，北 素子 (2010)：看護領域におけるアロマセラピー研究の動向と課題，看護実践の科学，35 (8)，58-65.

2) 田久保由美子，宗村弥生，臼井雅美，佐藤玲美，榆木志帆，清水若菜，剣持有代，坂本倫美 (2011)：生体腎移植を受ける子どもと親へのプレパレーションの取り組み 第1報—活動の経緯と看護者の意識の変化—，日本小児看護学会誌，20 (1)，93-99.

3) 佐藤玲美，田久保由美子，宗村弥生，臼井雅美，榆木志帆，清水若菜，剣持有代，坂本倫美 (2011)：生体腎移植を受ける子どもと親へのプレパレーションの取り組み 第2報—7事例の検討—，日本小児看護学会誌，20 (1)，100-106.

【学会発表】

1) 宗村弥生，田久保由美子：プレパレーションの効果はどのように評価されているか 第1報—文献検討からみた一考察—，小児看護学会第20回学術集会講演集，p172，2010.

2) 田久保由美子，宗村弥生：プレパレーションの効果はどのように評価されているか 第2報—期待と異なる反応についての分析視点—，小児看護学会 第20回学術集会講演集，p173，2010.

12) 村上 眞須美

書籍等

大坪明美、村上眞須美、上泉和子：管理者研修へシャドウイングを活用する、看護展望、130-136、

36 (2)、2011.

鄭 佳紅、村上眞須美：看護ケアの質評価と改善 —過程評価—、看護研究、43 (5)、2010.

一般発表など

鄭佳紅¹、上泉和子¹、佐藤真由美²、村上眞須美¹：新人看護職研修のあり方に関する研究1、第48回日本医療・病院管理学会学術総会、2010年10月15・16日、示説発表、広島国際会場、広島市、第48回日本医療・病院管理学会学術総会演題抄録集、153、2010.

¹：青森県立保健大学、²：弘前大学 医学部保健学科

佐藤真由美¹、上泉和子²、鄭佳紅²、村上眞須美²：新人看護職研修のあり方に関する研究2、第48回日本医療・病院管理学会学術総会、2010年10月15・16日、示説発表、広島国際会場、広島市、第48回日本医療・病院管理学会学術総会演題抄録集、227、2010.

¹：弘前大学 医学部 保健学科、²：青森県立保健大学

13) 鳴井 ひろみ

報告書

・外来がん化学療法を受ける患者・家族に対するグループ介入による援助プログラムの開発：科学研究費補助金（基盤研究C：研究代表者：鳴井ひろみ）平成19年度～平成21年度、科学研究費補助金研究成果報告書、2010.

学術論文

鳴井ひろみ：外来がん化学療法を受ける患者の主體的な療養生活を支援するための心理教育的グループ介入プログラムの開発、聖隷クリストファー大学大学院博士後期課程保健科学研究科博士論文、2011.

14) 大井 けい子

原著論文

・大関信子¹、水沼英樹²、蓮尾豊³、大井けい子¹、佐藤愛¹、山本真樹子¹、片山綾乃¹、谷田部仁子¹：簡略更年期指数（SMI）要受診者の受診率と受診関連要因の分析。日本更

年期医学会雑誌、18（2）、213-221、2010.

¹：青森県立保健大学、²：弘前大学、³：弘前レディースクリニック

学会発表

・山本英子¹、鈴木幸子¹、石井邦子²、大井けい子、林ひろみ²：看護系大学学士課程助産学生に教育方法 - 講義・演習・自己学習方法に関する実態調査 - 。第12回日本母性看護学会学術集会、2010.6.19、津市.

¹：埼玉県立大学、²：千葉県立大学、

・佐藤愛、大関信子、大井けい子、山本真樹子、葛西紗幸：「次の子どもを希望しない理由」の分析。第30回日本看護科学学会学術集会、2010.12.3-4、札幌市.

・大関信子、山本真樹子、佐藤愛、大井けい子、谷田部仁子、葛西紗幸：地方中核都市の更年期女性の一般精神健康度と不安の原因の分析。第30回日本看護科学学会学術集会、2010.12.3-4、札幌市.

・谷田部仁子、大井けい子、大関信子、佐藤愛、山本真樹子：産後3-4ヵ月の母親が持つ不安とストレスの内容。第30回日本看護科学学会学術集会、2010.12.3-4、札幌市.

・山本真樹子、大関信子、大井けい子、佐藤愛、谷田部仁子、葛西紗幸：A県の子育て支援に対する女性の思い - インタビューを通して - 。2010年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集、88-89、2011.2.22. 青森市.

・大関信子、山本真樹子、佐藤愛、大井けい子、谷田部仁子、葛西紗幸：初産婦の妊娠・出産の「つらさ」と次子出産希望の関連と関連要因の検討。第25回日本助産学会学術集会、2011.3.5、名古屋市.

・大井けい子：死産をした母親の主観的体験。第25回日本助産学会学術集会、2011.3.5、名古屋市.

15) 大崎 瑞恵

1. 誌上发表

・伊藤直子¹、大崎瑞恵²、神先秀人³、赤塚清矢³：経管栄養を受ける患者の頸部関節可動域訓練効

果の検討, 日本医療科学大学研究紀要第 3 号, p.83-89, 2010

¹: 西武文理大学, ²: 青森県立保健大学, ³: 山形県立保健医療大学

2.一般発表など

・斉藤愛依¹、大崎瑞恵²、後藤順子³: 医療機関と訪問看護ステーションの看看連携の現状, 第 14 回北日本看護学会学術集会, 2010 年 8 月 7 日-8 日, 山形大学医学部, 山形市, 第 14 回北日本看護学会学術集会プログラム・抄録集, p.83

¹: 東北中央病院, ²: 青森県立保健大学, ³: 山形県立保健医療大学

・伊藤直子¹、大崎瑞恵²、神先秀人³、赤塚清矢³、後藤順子³: 経管栄養を受ける患者の頸部関節可動域の実態, 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27 日-29 日, 東京国際フォーラム, 東京

¹: 西武文理大学, ²: 青森県立保健大学, ³: 山形県立保健医療大学

・大崎瑞恵¹、伊藤直子²、神先秀人²、赤塚清矢²、後藤順子²: 経管栄養を受ける患者への頸部関節可動域訓練の効果, 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27 日-29 日, 東京国際フォーラム, 東京

¹: 青森県立保健大学 ²: 西武文理大学, ³: 山形県立保健医療大学

16) 大関 信子

<原著論文> 1件

- ・ 大関信子, 水沼英樹, 蓮尾豊, 大井けい子¹), 佐藤愛, 山本真樹子, 片山綾乃, 谷田部仁子: 簡略更年期指数 (SMI) 要受診者の受診率と受診関連要因の分析, 日本更年期医学会雑誌, 18 (2), 213-221, 2010.

<学会発表> 10件

- ・ 大関信子, 山本真樹子, 佐藤愛, 谷田部仁子, 大井けい子, 葛西紗幸: 地方中核都市の更年期女性の一般精神健康度と不安の原因の分析, 第

30 回日本看護科学学会学術集会, 2010 年 12 月 3・4 日, 札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター, 札幌市

- ・ 大関信子、ノールズ・アラン. 父親の「子育て」に対する母親の不満の原因: 海外在住日本人母親の調査から, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 10 月 29 日, p.565、東京
- ・ 大関信子、山本真樹子、佐藤愛, 大井けい子, 谷田部仁子, 葛西紗幸: 初産婦の妊娠・出産の「つらさ」と次子出産希望の関連と関連要因の検討, 第 25 回日本助産学会学術集会抄録集, 名古屋市 3 月 5 日
- ・ 大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊: グローバルヘルス第 1 報: 英国在住日本人母親の異文化ストレスと精神健康度調査: 第 1 報 第 2 回 日本ヒューマンケア科学学会学術集会 抄録集 24-25, 青森市 10 月 23 日
- ・ 大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊: グローバルヘルス第 2 報: 乳児を持つ在英日本人母親の育児ストレスとメンタルヘルスの検討, 日本ヒューマンケア科学学会学術集会, 抄録集 26-27, 青森市 10 月 23 日
- ・ 大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊. グローバルヘルス第 3 報: 在英日本人母親が認知する幼児の異文化ストレスと関連要因. 第 2 回日本ヒューマンケア科学学会学術集会. 抄録集 28-29, 青森市 10 月 23 日
- ・ 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子, 山本真樹子, 谷田部仁子, 葛西紗幸. 「次の子どもを希望しない理由」の分析. 第 30 回日本看護科学学会学術集会, 2010 年 12 月 3・4 日, 札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター, 札幌市,
- ・ 谷田部仁子, 大井けい子, 大関信子, 佐藤愛, 山本真樹子: 産後 3-4 ヶ月の母親が持つ不安とストレスの内容, 第 30 回日本看護科学学会学術集会, 2010 年 12 月 3・4 日, 札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター, 札幌市

- 山本真樹子, 大関信子, 大井けい子, 佐藤愛, 谷田部仁子, 葛西紗幸: A 県の子育て支援に対する女性の思い—インタビューを通して—, 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集, 88-89, 2010. 2 月 22 日
- 葛西紗幸, 大関信子, 夫の子育てに対する母親の不満: 海外の場合, 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集, 84-87, 2010. 2 月 22 日

17) 佐藤 愛

誌上発表

- 大関信子 1), 水沼英樹 2), 蓮尾豊 3), 大井けい子 1), 佐藤愛 1), 山本真樹子 1), 片山綾乃 1), 谷田部仁子 1): 簡略更年期指数 (SMI) 要受診者の受診率と受診関連要因の分析, 日本更年期医学会雑誌, 18 (2), 213-221, 2010. 1) 青森県立保健大学, 2) 弘前大学医学部医学科, 3) 弘前女性クリニック

学会発表

- 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子, 山本真樹子, 谷田部仁子, 葛西紗幸: 「次の子どもを希望しない理由」の分析, 第 30 回日本看護科学学会学術集会, 2010 年 12 月 3・4 日, 札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター, 札幌市
- 谷田部仁子, 大井けい子, 大関信子, 佐藤愛, 山本真樹子: 産後 3-4 ヶ月の母親が持つ不安とストレスの内容, 第 30 回日本看護科学学会学術集会, 2010 年 12 月 3・4 日, 札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター, 札幌市
- 大関信子, 山本真樹子, 佐藤愛, 谷田部仁子, 大井けい子, 葛西紗幸: 地方中核都市の更年期女性の一般精神健康度と不安の原因の分析, 第 30 回日本看護科学学会学術集会, 2010 年 12 月 3・4 日, 札幌コンベンションセンター・札幌市産業振興センター, 札幌市
- 山本真樹子, 大関信子, 大井けい子, 佐藤愛, 谷

田部仁子, 葛西紗幸: A 県の子育て支援に対する女性の思い—インタビューを通して—, 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 平成 23 年 2 月 22 日, 青森県立保健大学, 青森市

18) 清水 健史

1. 誌上発表

清水健史¹、伊藤治幸¹: 初めて実習を受け入れる病院との連携～精神看護学実習を例に, 看護人材教育, 7 (3), p.106-112. 2010 ¹: 青森県立保健大学

19) 吹田 夕起子

総説、論説、研究ノート、報告書など

・中村令子¹, 中川孝子², 吹田夕起子, 黒坂満智子³, 荷田順子³, 三浦みや子¹, 岩織美保子¹, 三浦広美¹, 小池久美子¹, 北嶋結⁴, : 認知症高齢者の家族の喪失体験に関する調査. 青森県看護教育研究会誌, 39, 11-15, 2011 年 3 月.

¹: 八戸短期大学, ²: 青森中央短期大学, ³: 八戸市立高等看護学院, ⁴: 弘前大学

学会、研究会、地方会などの主催

・第 14 回青森高齢者ケア研究会主催, 2011 年 1 月 29 日, 青森市文化会館

20) 鄭 佳紅

1. 誌上発表

鄭佳紅¹, 村上真須美¹: 【看護ケアの質評価と改善 研究の成果と今後の発展に向けて】看護ケアの質評価・改善システムについて—過程評価—, 看護研究, 43 (5), 383-387, 2010.

¹: 青森県立保健大学

鄭佳紅¹: 【看護ケアの質評価と改善 研究の成果と今後の発展に向けて】看護の質を示すさまざまな指標, 看護研究, 43 (5), 329-336, 2010.

¹：青森県立保健大学

上泉和子¹，片田範子²，内布敦子²，坂下玲子²，鄭佳紅¹，永池京子³：【看護ケアの質評価と改善 研究の成果と今後の発展に向けて】日本における看護の質改善システムを確立するために 看護 QI システムでできること(座談会/特集)，看護研究，43 (5)，365-372，2010.

¹：青森県立保健大学，²：兵庫県立大学，³：元日本看護協会

2. 一般発表など

鄭佳紅¹，上泉和子¹，佐藤真由美²，村上眞須美¹：新人看護職員研修のあり方に関する研究—組織における取り組みの現状，第48回日本医療・病院管理学会学術総会，2010年10月16日，広島，示説発表，日本医療・病院管理学会誌，47 (Suppl.)，153，2010.

¹：青森県立保健大学，²：弘前大学 大学院保健学研究科

佐藤真由美¹，上泉和子²，鄭佳紅²，村上眞須美²：新人看護職員研修のあり方に関する研究—新卒看護師の業務実践の状況，第48回日本医療・病院管理学会学術総会，2010年10月15日，広島，示説発表，日本医療・病院管理学会誌，47 (Suppl.)，227，2010.

¹：弘前大学 大学院保健学研究科，²：青森県立保健大学

2 1) 戸沼 由紀

誌上発表

1. 千葉敦子¹，細川満子¹，山本春江¹，富田恵¹，戸沼由紀¹ほか：在宅看護実習前に学生に身につけさせたい実習態度—訪問看護ステーション実習指導者に対するアンケート調査—，青森県立保健大学雑誌，11，p.61-66. 2010

¹：青森県立保健大学

一般発表など

1. 戸沼由紀¹，山本春江¹，細川満子¹，千葉敦子¹，山田典子¹，富田恵¹ほか：地域統合実習において学生が学んだ地域看護の展開に必要な態度，第69回日本公衆衛生学会総会，2010年10月27日—29日，東京国際フォーラム，東京，第69回日本公衆衛生学会総会抄録集，p.497

¹：青森県立保健大学

2. 富田恵¹，山本春江¹，細川満子¹，千葉敦子¹，山田典子¹，戸沼由紀¹：保健師教育の技術項目と卒業時の到達度(案)暫定版を用いた自己チェック有用性の検討，第69回日本公衆衛生学会総会，2010年10月27日—29日，東京国際フォーラム，東京，第69回日本公衆衛生学会総会抄録集，p.498

¹：青森県立保健大学

2 2) 山本 春江

学術論文

・千葉敦子，山本春江，森永八永，藤田修三：職域における健康教室参加者から教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果—教室参加者の学習内容の伝達と非参加者への影響—，日本公衆衛生雑誌，Vol. 58, No. 2, p. 102-110, 2010.

・千葉敦子，細川満子，山本春江，富田恵，戸沼由紀，山田典子他：在宅看護実習前に学生に身につけさせたい実習態度—訪問看護ステーション実習指導者に対するアンケート調査—，青森保健大学雑誌，Vol. 11, p. 61-66, 2010.

・山本春江；看護とヘルスプロモーション，保健の科学，Vol. 52, No. 6, p. 387-391, 2010.

学会発表 筆頭5/14

・千葉敦子，山本春江：生活習慣病予防教室後に教室参加者から健康情報を受け取り行動に発展した被伝達者の特性，日本地域看護学会，2010年7月10日，札幌市，日本地域看護学会学術集会講演集，p. 76, 2010.

・山本春江，千葉敦子：アンケートからみた保健医療福祉系大学看護学科1年生の「ケア」「家事」体験の推移，日本家族看護学会第17回学術集会，2010年9月18日，名古屋市，日本家族看護学会第17回学術集会講演集，p.102，2010.

・山本春江，杉山克己，勘林秀行，佐藤伸，千葉敦子，井澤弘美：グループワークを促進する教育方法の検討—大学1年前期における課題演習の学習効果—，日本公衆衛生学会，2010年10月28日，東京，日本公衆衛生学会雑誌Vol.57，No.9，p.505，2010.

・千葉恵津子，山本春江，鎌田明美，千葉敦子：労働者の運動習慣とストレス解消法の関連，日本公衆衛生学会，2010年10月28日，東京，日本公衆衛生学会雑誌Vol.57，No.9，p.220，2010.

・鎌田明美，山本春江，千葉敦子他：大学における介護予防トレーニングの「場」としての特性，日本公衆衛生学会，2010年10月28日，東京，日本公衆衛生学会雑誌Vol.57，No.9，p.362，2010.

・千葉敦子，山本春江，森永八永，藤田修三：職域における健康教室参加者から教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果，日本公衆衛生学会，2010年10月28日，東京，日本公衆衛生学会雑誌Vol.57，No.9，p.552，2010.

・戸沼由紀，山本春江，細川満子，山田典子，千葉敦子，富田 恵他：地域統合実習において学生が学んだ地域看護の展開に必要な態度，日本公衆衛生学会，2010年10月28日，東京，日本公衆衛生学会雑誌Vol.57，No.9，p.497，2010.

・山本春江，千葉敦子：保健医療福祉系大学初年次教育におけるグループワーク促進を図った課題演習の効果と課題達成感との関連，第30回日本看護科学学会学術集会，2010年12月3日，札幌市，第30回日本看護科学学会学術集会講演集，p.373，2010.

・鎌田明美，山本春江，千葉敦子：大学という「場」と介護予防トレーニング参加促進との関連—参加のきっかけ・魅力に焦点を当てて—，第30回日本看護科学学会学術集会，2010年12月4日，札幌

市，第30回日本看護科学学会学術集会講演集，p.492，2010.

・千葉敦子，山本春江，森永八永，藤田修三：職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果～3年間の健康診断結果の検討～，第20回日本産業衛生学会，2010年10月14日，札幌市，第20回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会講演集，p.127，2010.

・山本春江，千葉敦子：アンケートからみた保健医療福祉系大学1年次生の生活体験の推移，日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会，福岡市，2010.12月12日，日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会抄録集，41，2010.

・千葉敦子，山本春江，森永八江：職域を対象とした保健指導モデルの評価～職場システムに生じた波及効果～，日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会，福岡市，2010.12月12日，日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会抄録集，42，2010.

・森永八江，千葉敦子，山本春江：職域における健康教室の食事調査の経年比較による保健指導プログラムの検討，日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会，福岡市，2010.12月12日，日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会抄録集，43，2010.

・千葉敦子，山本春江，森永八永，藤田修三：職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果～3年間の健康診断結果の検討～，青森県保健医療福祉研究発表会，2011年2月22日，青森市，2010年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集，p.74-75，2010.

・山本春江，細川満子，千葉敦子，山田典子，富田恵，戸沼由紀他：在宅看護実習前に学生に身につけさせたい実習態度（第5報）—学生の実習前後のアンケート調査から—，青森県看護教育研究会誌，Vol.39，p.30-35，2011（3月）.

23) 谷田部 仁子

【論文】 2件

- 1) 大関信子, 水沼英樹, 蓮尾豊, 大井けい子, 佐藤愛, 山本真樹子, 片山綾乃, 谷田部仁子: 簡略更年期指数 (SMI) 要受診者の受診率と受診関連要因の分析. 日本更年期医学会雑誌, 18 卷 2 号, 213-221, 2010. 【原著】
- 2) 谷田部仁子: 助産師の専門性に影響する要因—分娩期ケアの実践能力に焦点をあてて—. 母性衛生, 51 卷 4 号, 586-593, 2011. 【原著】

【一般発表】 4件

- 1) 佐藤愛, 大関信子, 大井けい子, 山本真樹子, 谷田部仁子, 葛西紗幸: 「次の子どもの希望しない理由」の分析, 日本看護科学学会学術集会講演集 30 回, 536, 2010. 12.
- 2) 谷田部仁子, 大井けい子, 大関信子, 佐藤愛, 山本真樹子: 産後 3-4 ヶ月の母親が持つ不安とストレスの内容, 日本看護科学学会学術集会講演集 30 回, 536, 2010. 12.
- 3) 大関信子, 山本真樹子, 佐藤愛, 谷田部仁子, 大井けい子, 葛西紗幸: 地方中核都市の更年期女性の一般精神健康度と不安の原因の分析, 日本看護科学学会学術集会講演集 30 回, 538, 2010. 12.
- 4) 山本真樹子, 大関信子, 大井けい子, 佐藤愛, 谷田部仁子, 葛西紗幸: A 県の子育て支援に対する女性の思い—インタビューを通して—, 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 88-89, 2011. 2.

1) 藤田 智香子

a 学術論文 (原著)

・須郷磨衣子¹, 岩月宏泰¹, 藤田智香子¹, 佐藤秀一¹, 桜木康広¹: 下肢 MMT 技術習得に向けての客観的臨床能力試験(OSCE)の応用(第2報). 東北理学療法教育, 9(1), 7-11, 2011.

¹: 青森県立保健大学

b 報告書など

・藤田智香子¹, 木村磨衣子¹, 岩月宏泰¹, 羽場俊広², 佐藤秀一¹: カリキュラム導入を目指した客観的臨床能力試験(OSCE)のシミュレーション. 平成22年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2011.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森県立保健大学大学院

・岩月宏泰¹, 藤田智香子¹, 橋本淳一¹, 大澤由貴²: 理学療法学生事例分析能力の向上を目指した根本原因分析(RCA)を用いたトレーニングツールの開発に関する研究報告書. 平成22年度青森県立保健大学教育改善研究報告書, 2011.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森慈恵会病院

d 学会発表

・岩月宏泰¹, 藤田智香子¹, 須郷磨衣子¹, 羽場俊広²: 客観的臨床能力試験(OSCE)結果から抽出された患者への配慮に関わる課題. 第12回日本医療マネジメント学会学術総会, 平成22年年6月11日-12日, 札幌市, 日本医療マネジメント学会雑誌, 11, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 青森県立保健大学大学院

2) 福島 真人

a 学術論文 (原著)

・Fukushima M¹, Ozaki I¹, Kobayashi T², Jung Jiuk²: Awareness and somatosensory event-related potentials following near threshold stimuli. Clin Neurophysiol 121(7), 22, 2010.

¹: Department of Physical Therapy, Faculty of Health Science, Aomori University of Health and Welfare, Aomori, Japan

²: Department of Electrical Engineering, Graduate School of Engineering, Kyoto University, Kyoto, Japan

d 学会発表

・尾崎 勇¹, 福島真人¹, 小林哲生², 鄭 址旭²: 閾値レベルの体性感覚刺激による事象関連脳電位. 第9回釧路ニューロサイエンスワークショップ, 2010年7月2日-3日, 釧路プリンスホテル, 北海道釧路市, p11, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 京都大学大学院

・Fukushima M¹, Ozaki I¹, Kobayashi T², Jung Jiuk²: Awareness and somatosensory event-related potentials following near threshold stimuli. ポスターセッション P14. SEP, Pain. 第29回国際臨床神経生理学学会, 2010年10月29日-11月1日, 神戸国際会議場, 兵庫県神戸市, Clin Neurophysiol 121(S1), S185, 2010.

¹: 青森県立保健大学, ²: 京都大学大学院

3) 橋本 淳一

誌上発表

a. 学術論文 (原著)

1. 熊谷貴子, 李相潤, 北宮千秋, 佐藤厚子, 橋本淳一, 鈴木孝夫, 中路重之. 農業地域類型区分別における性別・年齢階級別の身体的特徴. 体力・栄養・免疫学雑誌 20 (1) 38-45, 2010.

発表

1. 橋本淳一: 寒冷積雪地に住む在宅高齢障害者における夏季と冬季の意欲、活動性、およびQOLの関連について-デイケア利用者における検討-. 第45回日本理学療法学会学術大会, 2010年5月27日, 岐阜市, 理学療法学 37 (supl 1), 2010.

2. 橋本淳一, 岩月宏泰: 本学学生におけるリーダーシップ行動と对人的志向性の特徴. 第69回日本公衆衛生学会(東京)2010. 10. 27-29

3. 李相潤, 熊谷貴子, 橋本淳一, 鈴木孝夫: 月経周期に伴う性ホルモン及び身体組成が OC と TRACP-5b

に及ぼす影響. 第 28 回 日本骨代謝学会学術集会 (東京) 2010. 7. 21-23

4. 前田和平、李相潤、松本星子、熊谷貴子、橋本淳一、鈴木孝夫：常圧低酸素濃度環境下の持続的な運動負荷が下肢の筋組織に及ぼす影響. 第 65 回日本体力医学会大会 (東京) 2010. 9.

5. 原田織恵、松本星子、熊谷貴子、橋本淳一、李相潤、鈴木孝夫：常圧低酸素濃度環境下での運動負荷が横隔膜に及ぼす形態学的変化. 第 65 回日本体力医学会大会 (東京) 2010. 9.

6. 熊谷貴子、李相潤、橋本淳一、鈴木孝夫：性ホルモン変化に伴う酸化ストレス度および抗酸化能の動態. 第 65 回 日本体力医学会大会. 第 65 回 日本体力医学会大会 (東京) 2010. 9.

7. 李相潤、佐藤厚子 1)、熊谷貴子、橋本淳一、鈴木孝夫：中高年女性における歩行を中心とした軽運動が身体組成および骨関連因子に及ぼす影響. 第 65 回 日本体力医学会大会 (東京) 2010. 9

1) 秋田看護福祉大学

8. 熊谷貴子、李相潤、北宮千秋 1)、佐藤厚子 2)、橋本淳一、鈴木孝夫：青森県における性別・年齢別にみた血圧の状況. 第 69 回日本公衆衛生学会 (東京) 2010. 10. 27-29

1) 弘前大学、2) 秋田看護福祉大学

9. 盛田寛明、橋本淳一、柿崎智子 1、一戸留美 1、渡邊文郎 1、笹原奈補子 1、金澤隆二郎 2、中野のぞみ 2. 介護老人保健施設利用者における Apathy Scale の信頼性・妥当性の検証. 第 45 回日本理学療法学術大会, 2010 年 5 月 27 日, 岐阜市, 理学療法学 37 (supl 1), 451, 2010.

10. Hiroaki Morita, Junichi Hashimoto. A STRUCTURAL EQUATION MODEL RELATING APATHY, DEPRESSION

AND ACTIVITIES OF DAILY LIVING INDEPENDENCE AMONG THE USERS OF HEALTH SERVICES FACILITY FOR THE AGED. The 10th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy 2010, Oct 11, 2010, Bali, Indonesia.

4) 岩月 宏泰

1. 誌上発表

a. 学術論文

岩月宏泰, 羽場俊弘, 工藤真大, 成田秀美, 岩月順子：荷物運搬方法とエネルギー消費量の関係. 寒地技術論文 2010, 195-198, 2010.

岩月宏泰, 羽場俊弘, 工藤真大, 成田秀美, 岩月順子：寒冷負荷前の軽運動が自律神経反応に及ぼす影響. 寒地技術論文 2010, 199-203, 2010.

b. 誌上発表

細田多穂編, 日常生活活動学テキスト, 疾患別 ADL③関節リウマチ (分担執筆), 南江堂, 2011.

2. 発表

・岩月宏泰、工藤真大、羽場俊広：スノーダンブ使用時の姿勢が腰痛を発生させる危険性について. 第 45 回日本理学療法学術大会, 理学療法学, 37 (大会特別号), 平成 22 年 5 月 27-29 日, 岐阜市.

・岩月宏泰：理学・作業療法学生におけるコーピング構造の学年別比較, 第 45 回日本理学療法学術大会, 理学療法学, 37 (大会特別号), 平成 22 年 5 月 27-29 日, 岐阜市.

・木村直子、岩月宏泰：理学・作業療法士 (療法士) における他者への共感性と自尊感情との関係, 第 45 回日本理学療法学術大会, 理学療法学, 37 (大会特別号), 平成 22 年 5 月 27-29 日, 岐阜市.

・安田雅美、岩月宏泰：ヒューマンサービス提供者の他者への共感性が接遇態度に及ぼす影響, 第 45 回日本理学療法学術大会, 理学療法学, 37 (大会特別号), 平成 22 年 5 月 27-29 日, 岐阜市.

・羽場俊広、工藤真大、岩月宏泰：除雪動作時に用いる腹帯が腰痛予防及び呼吸応答に及ぼす効果, 第 45 回日本理学療法学術大会, 理学療法学, 37 (大会特別号), 平成 22 年 5 月 27-29 日, 岐阜市.

・工藤真大、羽場俊広、岩月宏泰：6 週間にわたる低負荷運動の継続が入所者の心身機能と生活に与える効果, 第 45 回日本理学療法学術大会, 理学療法学, 37 (大会特別号), 平成 22 年 5 月 27-29 日, 岐阜市.

・庭田幸治、岩月宏泰：理学・作業療法学生に

における臨床実習経験が共感性に及ぼす影響, 第45回日本理学療法学会大会, 理学療法学, 37(大会特別号), 平成22年5月27-29日, 岐阜市.

・岩月宏泰, 岩月順子, 成田秀美: 介護職員における共感性と自尊感情との関係, 第12回日本医療マネジメント学会学術総会, 日本医療マネジメント学会雑誌, 11, 193, 平成22年6月11・12日, 札幌市.

・岩月宏泰, 藤田智香子, 須郷磨衣子, 羽場俊広: 客観的臨床能力試験(OSCE)結果から抽出された患者への配慮に係わる課題, 第12回日本医療マネジメント学会学術総会, 日本医療マネジメント学会雑誌, 11, 327, 平成22年6月11・12日, 札幌市.

・岩月宏泰, 工藤真大, 羽場俊広: ポインティング練習がプリズム眼鏡を装着した歩行に及ぼす効果, 日本体力医学会東北地方会第20回記念大会, 大会予稿集, 23, 平成22年6月13日, 盛岡市.

・岩月宏泰, 工藤真大, 羽場俊広: 2本のポールを用いたトレッドミル歩行中の呼吸循環応答について, 第65回日本体力医学会大会, 予稿集, 221: 平成22年9月16-18日, 市川市.

・工藤真大, 羽場俊広, 岩月宏泰: 特別養護老人ホーム入所者における足趾変形と立位保持能力との関連について, 第65回日本体力医学会大会, 予稿集, 301: 平成22年9月16-18日, 市川市.

・羽場俊広, 工藤真大, 岩月宏泰: 計算および逆唱課題が直立位保持の身体動揺及び心拍変動に及ぼす影響. 第65回日本体力医学会大会, 予稿集, 243: 平成22年9月16-18日, 市川市.

・岩月宏泰, 成田秀美: 理学・作業療法学生のタイプA行動パターンの学年別比較. 第69回日本公衆衛生学会総会抄録集(日本公衆衛生雑誌, 57(10)), 493: 平成22年10月27-29日, 東京都.

・成田秀美, 岩月宏泰: 臨床実習前の作業療法学生における危険予知訓練(KYT)の効果. 第69回日本公衆衛生学会総会抄録集(日本公衆衛生雑誌, 57(10)), 494: 平成22年10月27-29日, 東京都.

・橋本淳一, 岩月宏泰: 本学学生におけるリーダーシップ行動と対人的志向性の特徴. 第69

回日本公衆衛生学会総会抄録集(日本公衆衛生雑誌, 57(10)), 506: 平成22年10月27-29日, 東京都.

・Iwatsuki H, Haba T, Kudo M, Narita H, Iwatsuki J: EFFECT OF HEAT STRESS PRECONDITIONING ON THE PREVENTION OF MUSCLE FATIGUE IN THE FOREFOOT. The 11th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy (ACPT 2010 Bali). 平成22年10月10-13日, BALI.

・岩月宏泰, 羽場俊広, 工藤真大, 成田秀美: 歩行中の逆唱負荷が歩容と自律神経反応に与える影響. 第32回臨床歩行分析研究会定例会, 抄録集 38-39, 平成22年11月28日. 豊橋市.

5) 勘林 秀行

1. 誌上发表

a. 学術論文(原著)

1. 渡部一郎, 下山諭史, 勘林秀行, 長門五城, 渡部明子: 肩手症候群を呈する脳卒中患者に対する頸部温熱療法と上下肢運動療法が交感神経機能に与える影響. *Biomedical Thermology* 30(2), 35-40, 2011

2. 一般発表など

1. 山本春江, 杉山虎己, 勘林秀行, 佐藤伸, 千葉敦子, 井沢弘美: グループワークを促進する教育方法の検討—大学1年前期における課題演習の学習効果—. 第69回日本公衆衛生学会 2010年10月27日-29日, 東京国際フォーラム, 公衆衛生学会誌p505, 2010.

6) 神成 一哉

論文

(国内学会誌総説)

神成一哉. パーキンソン病におけるドパミン-アセチルコリンバランス仮説は正しいか? *日本薬物脳波学会雑誌* 11: 3-9, 2010. (2010年4月28日発行)

(英文誌論文)

Yamamoto-Watanabe Y, Watanabe M, Hikichi M, Ikeda Y, Jackson M, Wakasaya Y, Matsubara E, Kawarabayashi T, Kannari K, Shoji M. Prevalence of autosomal dominant cerebellar ataxia in Aomori, the northernmost prefecture of Honshu, Japan. *Internal Medicine* 49: 2409-2414, 2010.

書籍 (分担執筆)

神成一哉. ドパミンアゴニストはレボドパを超えられるか. 山本光利編著, パーキンソン病 臨床の問題2, p284-291, 2010(12), 中外医学社

冊子

神成一哉. 特別寄稿: パーキンソン病の非運動症状について. *SSKA 全国パーキンソン病友の会会報 青森県支部だより*, 1号 (増刊号), 5-6, 2011年2月8日発行

学会発表

(国内ポスター発表)

神成一哉, 石沢栄太. 正常ラット線条体および大脳皮質での L-DOPA 投与後の細胞外ノルアドレナリン濃度. 第51回日本神経学会総会 (2日目ポスター発表), 2010年5月21日 (21-23日), 東京国際フォーラム (東京都千代田区)

神成一哉, 石沢栄太. 正常ラット大脳皮質での L-DOPA 由来細胞外ノルアドレナリン濃度 (2日目ポスター発表), 第4回パーキンソン・運動障害疾患コンgres, 2010年10月7日 (木) ~10月9日 (土), 京都ホテルオークラ (京都市)

神成一哉, 石沢栄太. L-DOPA 投与による正常ラット大脳皮質での細胞外ノルアドレナリン濃度の変化, 2010年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011年2月22日 (火), 青森県立保健大学 A棟1階 (青森市)

(海外ポスター発表)

Kazuya Kannari and Eita Ishizawa: Changes in extracellular noradrenalin levels after L-DOPA administration in the normal rat striatum and cerebral cortex. (9月29日, 水, ポスター発表) 2010年9月27日 (月) ~10月1日 (金), 2nd World Parkinson Congress (第2回世界パーキンソン病会議), Scotland Exhibition and Conference Centre (スコットランド見本市会場, 英国, グラスゴー市)

(学内シンポジスト)

神成一哉. パーキンソン病に対する全身振動療法に関する研究計画—本学と八戸工業高等専門学校との学学連携共同研究—, シンポジウム「保健大学の産学官連携活動による社会貢献」, 2010年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011年2月22日 (火), 青森県立保健大学 A棟1階 (青森市)

授業のピア・レビュー

平成22年6月28日(月) 人体構造機能学(構造面), 尾崎勇教授より受ける

平成22年6月29日(火) 人体構造機能学(機能面), 尾崎勇教授に対して
(授業公開ウィークに実行)

講演会

健康に関する市民公開講座+鍼灸マッサージ師会 講演会

「脳を知る」

7月25日 (日) 午前10時~午後0時15分
弘前市社会福祉センター (宮園2丁目) 2階大会議室

第1回青森県定位・機能神経外科カンファレンス 教育講演

「不随意運動に対する薬物療法」

8月28日 (土) 16:00~18:00

ベストウェスタンニューシティホテル弘前3階
ガーネット・トパーズ (弘前市)

平成 22 年度 難病支援ボランティア養成研修
＋青森県パーキンソン病友の会講演会
「パーキンソン病の実情と対応の仕方」
10月20日(水) 13:00～14:30
県民福祉プラザ2階A研修室(青森市)

第2回藤崎町地域医療ネットワーク 講演
「認知症について」
11月2日(火) 19:00～21:00
弘前プラザホテル4階「The P.M.C.」(弘前市)

パーキンソン病友の会研修会 講演と質疑応答
「パーキンソン病の患者と家族の方に知ってお
いていただきたいこと」
11月5日(金) 14:00～16:00
八戸市福祉公民館(八戸市)

第15回東北パーキンソン病治療研究会(協和
発酵キリン主催) パネルディスカッション
「パーキンソン病におけるドパミン以外のモノ
アミン系の役割ー動物実験による検討ー」
平成23年3月5日(土)
ホテルJALシティ仙台2FローズI・II(仙台
市)

7) 川口 徹

a 学術論文(原著)

・佐井川匠秀¹, 古澤仁美¹, 石田裕子¹, 木村喜子¹, 櫻
井綾香¹, 米内薫¹, 川口徹²: 当院における訪問リハビリ
テーションの現状と課題 理学療法研究 28, 43-47, 2011.

¹: 医療法人同仁会財形病院 ²青森県立保健大学,

・三浦雅史¹, 川口徹¹: 介護予防が運動機能向上に
及ぼす影響について. 東北理学報, 23, 48-52,
2011.

¹: 青森県立保健大学

d 学会発表

・木村喜子¹, 川口徹²: 歩数計によるPCI計測の有用
性ー歩数計の種類に着目して. 第45回日本理学療
法学会大会, 2010年5月27～29日, 岐阜市.

¹: 医療法人同仁会財形病院 ²青森県立保健大学,

・橋本淳一¹, 川口徹¹, 中川孝子²: 慣例積雪地に住
む在宅高齢障害者における夏季と冬季の意欲、活
動性、およびQOLの関係についてーデイケア利用
者における検討ー. 第45回日本理学療法学会大会,
2010年5月27～29日, 岐阜市.

¹: 青森県立保健大学, ²青森中央学院短期大学

・中川孝子¹, 山本晶平², 川口徹³: 老人保健施設と特
別養護老人ホームにおける介護職員の医療行為を
含む業務の実態. 日本老年社会科学学会第52回大
会, 2010年6月18～20日, 愛知県東浦町.

¹: 青森中央学院短期大学, ²介護老人保健施設のへじ,
³青森県立保健大学

・中川孝子¹, 山本晶平², 川口徹³: 老人保健施設と特
別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の
医療行為外11項目を中心とした援助に対する認
識と指導体制. 第41回日本看護学会地域看護,
2010年10月15～17日, 滋賀県大津市.

¹: 青森中央学院短期大学, ²介護老人保健施設のへじ,
³青森県立保健大学

8) 李 相潤

誌上発表

学術論文(原著)

1. 熊谷貴子、李相潤、北宮千秋、佐藤厚子、
橋本淳一、鈴木孝夫、中路重之. 農業地域類
型区分別における性別・年齢階級別の身体的特徴. 体
力・栄養・免疫学雑誌 20(1) 38-45, 2010.

発表

1. 李相潤、熊谷貴子、橋本淳一、鈴木孝夫: 月
経周期に伴う性ホルモン及び身体組成がOC
とTRACP-5bに及ぼす影響. 第28回 日本骨
代謝学会学術集会(東京) 2010. 7. 21-23
2. 前田和平、李相潤、松本星子、熊谷貴子、橋
本淳一、鈴木孝夫: 常圧低酸素濃度環境下の
持続的な運動負荷が下肢の筋組織に及ぼす
影響. 第65回 日本体力医学会大会(東京)
2010. 9. 16-18
3. 原田織恵、松本星子、熊谷貴子、橋本淳一、

李相潤, 鈴木孝夫: 常圧低酸素濃度環境下での運動負荷が横隔膜に及ぼす形態学的変化. 第 65 回 日本体力医学会大会 (東京) 2010. 9. 16-18

4. 熊谷貴子, 李相潤, 橋本淳一, 鈴木孝夫: 性ホルモン変化に伴う酸化ストレス度および抗酸化能の動態. 第 65 回 日本体力医学会大会. 第 65 回 日本体力医学会大会 (東京) 2010. 9. 16-18
5. 李相潤, 佐藤厚子, 熊谷貴子, 橋本淳一, 鈴木孝夫: 中高年女性における歩行を中心とした軽運動が身体組成および骨関連因子に及ぼす影響. 第 65 回 日本体力医学会大会 (東京) 2010. 9. 16-18
6. 熊谷貴子, 李相潤, 北宮千秋¹⁾, 佐藤厚子²⁾, 橋本淳一, 鈴木孝夫: 農業地域類型区分別における性別・年齢階級別の身体的特徴の検討. 第 69 回日本公衆衛生学会 (東京) 2010. 10. 27-29
1) 弘前大学, 2) 秋田看護福祉大学
7. 熊谷貴子, 高橋一平¹⁾, 李相潤, 上谷英史¹⁾, 平川裕一¹⁾, 梅田孝¹⁾, 中路重之¹⁾: 閉経および分娩が酸化ストレスに及ぼす影響について (西目屋村). 第 20 回体力栄養免疫学会 2010. 8. 27-29
1) 弘前大学

9) 三浦 雅史

a 学術論文 (原著)

・三浦雅史, 川口徹: 介護予防が運動機能向上に及ぼす影響について—2 年間のトレーニング効果—. 東北理学療法, 23 : 48-52, 2011.

b 学術論文 (総説)

・三浦雅史, 渡部一郎: RA の新しい治療戦略におけるリハビリテーションの位置づけ—下肢装具—. MB Med Reha, 121 : 71-75, 2010.

d 国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

・三浦雅史: シンスプリントに対する装具および足底板の疼痛軽減効果. 第 45 回日本理学療法学会大会, 理学療法学, 37, p1019, 平成 22

年 5 月 26-28 日, 岐阜市.

・高尾昌幸, 三浦雅史: 高校野球選手の全身関節弛緩性について. 第 45 回日本理学療法学会大会, 理学療法学, 37, p637, 平成 22 年 5 月 26-28 日, 岐阜市.

・山根鉄平, 三浦雅史, 桜木康広: ホットパックとジョギングによるウォーミングアップが関節位置覚に与える影響. 第 46 回日本理学療法学会大会, 理学療法学, 37, p143, 平成 22 年 5 月 26-28 日, 岐阜市.

・遠藤康裕, 三浦雅史, 坂本雅昭: 全身の関節可動域, 筋力が遠投能力に及ぼす影響. 第 46 回日本理学療法学会大会, 理学療法学, 37, p104, 平成 22 年 5 月 26-28 日, 岐阜市.

・鎌田明美, 山本春江, 千葉敦子, 三浦雅史, 千葉恵津子: 介護予防トレーニングの「場」としての特性. 第 69 回日本公衆衛生学会, 平成 22 年 10 月 27-29 日, 東京都.

・三浦雅史, 渡部一郎: 介護予防トレーニングが運動機能向上に及ぼす影響について—症例報告—. 第 25 回日本 RA のリハビリ研究会学会大会, 平成 22 年 11 月 20 日, 京都市.

f 特許 (承認されたタイトル, 決定日など)

・タイトル: シンスプリント用装具
決定日: 平成 22 年 5 月 28 日

10) 盛田 寛明

a 学術論文 (原著)

1. Hiroaki Morita. FACTORS AFFECTING THE STRESS RESPONSES OF MOTHERS WHO CARE FOR A PERSON WITH SEVERE MENTAL RETARDATION AT HOME: CAUSAL ANALYSIS USING STRUCTURAL EQUATION MODELING. Japanese Journal of Human Sciences of Health-Social Services 17(1): 9-20. 2011.

d 学会発表

1. 盛田寛明, 橋本淳一, 柿崎智子¹⁾, 一戸留美¹⁾, 渡邊文郎¹⁾, 笹原奈補子¹⁾, 金澤隆二郎²⁾, 中野のぞみ²⁾. 介護老人保健施設利用者における Apathy Scale の信頼性・妥当性の検証. 第 45

回日本理学療法学会大会, 2010年5月27日, 岐阜市, 理学療法学 37 (supl 1), 451, 2010.

¹ 介護老人保健施設青森ナーシングライフ, ² 青森南老人保健施設甲田苑

2. 山下弘二, 盛田寛明. 養護老人ホーム入所者の最大呼気流速と筋肉量との関連性. 第45回日本理学療法学会大会, 2010年5月28日, 岐阜市, 理学療法学 37 (supl 1), 1106, 2010.

3. 盛田寛明. 立て掛け時に転倒しにくい杖の考案. 東北地域大学等知的財産連絡会議, 2010年7月28日, 青森市.

4. Hiroaki Morita, Junichi Hashimoto. A STRUCTURAL EQUATION MODEL RELATING APATHY, DEPRESSION AND ACTIVITIES OF DAILY LIVING INDEPENDENCE AMONG THE USERS OF HEALTH SERVICES FACILITY FOR THE AGED. The 10th International Congress of the Asian Confederation for Physical Therapy 2010, Oct 11, 2010, Bali, Indonesia.

11) 長門 五城

誌上発表

a. 学術論文 (原著)

1. 長門五城、渡部一郎: 車いす座位時の体幹パッドの使用が皮膚表面温度に与える影響. Biomedical Thermology 30(2), 47-52, 2011
2. 渡部一郎、下山諭史、勘林秀行、長門五城、渡部朋子: 肩手症候群を呈する脳卒中患者に対する頸腕部温熱療法と上下肢運動療法が交感神経機能に与える影響. Biomedical Thermology 30(2), 35-40, 2011
3. 渡部朋子、今淳、渡部一郎、桑田侑衣、長門五城: 接触性温熱・寒冷刺激による電流知覚閾値および自律神経の変化について. Biomedical Thermology 30(2), 41-46, 2011

b. 総説

1. 長門五城: 車いすシーティングの考え方・進め方. 青森県作業療法研究 19(1), 37-43, 2011

発表

1. 長門五城、小倉良介¹⁾、渡部一郎、須郷磨衣子: 上肢の自動・他動運動が生理機能に与える影響、

第27回日本サーモロジー学会 (横浜市) 2010. 7. 9-11

1) 留萌市立病院

2. 長門五城、渡部一郎、須郷磨衣子、渡部朋子¹⁾: 車いす座位姿勢における体幹サポートの違いが座面圧分布に与える影響、日本生理人類学会第63回大会 (千葉市) 2010. 10. 30, 31

1) 青森県立保健大学大学院

3. 須郷磨衣子、渡部一郎、長門五城: 頸部温熱療法が疼痛閾値に与える影響、第27回日本サーモロジー学会 (横浜市) 2010. 7. 9-11

4. 須郷磨衣子、渡部一郎、長門五城: 温熱療法および運動療法が知覚閾値に与える影響、第27回日本サーモロジー学会 (横浜市) 2010. 7. 9-11

12) 尾崎 勇

紙上発表

1) Murakami T (1), Takino R (2), Ozaki I, Kimura T(3), Iguchi Y(4), Hashimoto I(5)

High-frequency transcutaneous electrical nerve stimulation (TENS) differentially modulates sensorimotor cortices: an MEG study. Clinical Neurophysiology 2010 Jun;121(6):939-944.

1) Department of Neurology, Shimane Prefectural Central Hospital, Izumo, Japan

2) Department of Psychology, Shiraume Gakuen Collage, Tokyo, Japan

3) Department of Acupuncture, Tsukuba Collage of Technology, Tsukuba, Japan

4) Department of Integrated Neuroscience, Tokyo Institute of Psychiatry, Tokyo, Japan

5) Kanazawa Institute of Technology,

Tokyo, Japan

2) Fukushima M, Ozaki I, Kobayashi T, Jung J: Awareness and somatosensory event-related potentials following near threshold stimuli. *Clinical Neurophysiology* 2010 Jul;121(7):22.

3) 井口義信(1)、尾崎 勇、橋本 勲(2) : 注意の焦点の脳内表現 : 体性感覚野と聴覚野における短期可塑性. *認知神経科学* 13 巻 : 1-14, 2011.

1) 東京都精神医学総合研究所 脳機能解析研究チーム

2) 金沢工業大学

4) 尾崎 勇(翻訳):第 5 章静止膜電位と活動電位. *ナイトン 生理学* (原書第 11 版, 御手洗玄洋 総監訳) ISBN978-4-86034-724-6. p62-p77 (総ページ数 1177). エルゼビア・ジャパン, 東京, 2010.

一般発表, 講演など

1) 尾崎 勇, 福島真人, 小林哲生(1), 鄭址旭(1) : 閾値レベルの体性感覚刺激による事象関連脳電位. 第 9 回釧路ニューロサイエンスワークショップ. 2010 年 7 月 2 日 - 3 日, 北海道釧路市 (釧路プリンスホテル).

(1) 京都大学大学院工学研究科

2) 尾崎 勇 : 新しい神経生理検査~脳磁図で何がわかるか. 名古屋市南部神経内科

セミナー. 2010 年 7 月 24 日, 愛知県名古屋市 (中部労災病院)

3) 斉藤優子(1), 岩部達也, 尾崎 勇 : Fast pain 刺激に伴う自律神経活動の変化について. 第 46 回脊髄・末梢神経・筋疾患懇話会. 2010 年 8 月 26 日(木), 青森県青森市 (ホテル青森)

1) 介護老人保健施設ニューライフ芙蓉リハビリテーション科

4) 尾崎 勇 : 脊髄小脳変性症とその関連疾患について. 平成 22 年度むつ保健所 難病患者等医療相談. 2010 年 10 月 8 日 青森県むつ市(むつ来さまい館 2 階)

5) 尾崎 勇 : 脳磁図研究~最近の話題~. ワークショップ 3「夢と理想の Multimodal Imaging」.

第 27 回日本脳電磁図トポグラフィ研究会 (JSBET).

2010 年 11 月 18 日 - 19 日, 宮城県松島町(ホテル松島大観荘)

6) Ozaki I: Human tonotopic maps studied by magnetoencephalography.

Symposium S15. Auditory system, 第 29 回国際臨床神経生理学学会 (ICCN2010, 29th International Congress of Clinical Neurophysiology), 2010 年 10 月 29 日 - 11 月 1 日 兵庫県神戸市(神戸国際会議場)

7) Fukushima M, Ozaki I, Kobayashi T.¹⁾, Jung J.¹⁾ : Awareness and somatosensory event-related potentials following near threshold stimuli. ポスターセッション P14. SEP, Pain. 第 29 回国際臨床神経生理学学会 (ICCN2010, 29th International Congress of Clinical Neurophysiology), 2010 年 10 月 29 日 - 11 月 1 日 兵庫県神戸市(神戸国際会議場)

¹⁾ Department of Electrical Engineering, Graduate School of Engineering, Kyoto University, Kyoto, Japan.

8) Iguchi Y¹⁾, Y. Hoshi Y¹⁾, Takino R²⁾, Kimura T³⁾, Ozaki I, Kida I¹⁾, Tsubokawa T⁴⁾, Hashimoto I⁵⁾ : Subjective distinctness of tactile sensation is represented in the activity of human secondary somatosensory cortex (SII). ポスターセッション P33. MEG (basic study). 第 29 回国際臨床神経生理学学会 (ICCN2010, 29th International Congress of Clinical Neurophysiology), 2010 年 10 月 29 日 - 11 月 1 日 兵庫県神戸市(神戸国際会議場)

1) Integrated Neuroscience Team, Tokyo Institute of Psychiatry, Japan,

2) Department of Developmental and Clinical Psychology, Shiraume Gakuen University, Japan,

3) Department of Acupuncture and Moxibustion, Tokyo Ariake University of Medical and Health Sciences, Japan,

4) Department of Anesthesiology, Graduate School of Medical Science, Kanazawa

University, Japan,

5) Kanazawa Institute of Technology, Japan

13) 渡部 一郎

1. 誌上発表

a. 学術論文 (原著)

1. 渡部一郎, 長門五城, 須郷磨衣子: ベルト付き骨盤サポーターによる知覚閾値と自律神経、Biomedical Thermology 29(2), 39-43, 2010
2. 渡部朋子, 今淳, 渡部一郎: 若年喫煙者の食生活習慣と自律神経機能, Biomedical Thermology 29(2), 33-38, 2010
3. 須郷磨衣子, 渡部一郎: 健常人の片側頸部温熱療法の自律神経作用, Biomedical Thermology 29, 26-32, 2010
4. 渡部一郎, 下山諭史, 勘林秀行, 長門五城, 渡部朋子: 肩手症候群を呈する脳卒中患者に対する頸腕部温熱療法と上下肢運動療法が交感神経機能に与える影響. Biomedical Thermology 30(2), 35-40, 2011
5. 渡部朋子, 今淳, 渡部一郎, 桑田侑衣, 長門五城: 接触性温熱・寒冷刺激による電流知覚閾値および自律神経の変化について. Biomedical Thermology 30(2), 41-46, 2011
6. 長門五城, 渡部一郎: 車いす坐位時の体幹パッドの使用が皮膚表面温度に与える影響. Biomedical Thermology 30(2), 47-52, 2011
7. 渡部一郎, 高橋康博, 三浦雅史, 林正春, 清水兼悦: 臨床医家に必要なリハビリテーションの実際、日本 RA のリハビリ研究会誌 25(1), 96-98, 2011
8. 三浦雅史, 川口徹, 渡部一郎: 関節リウマチに対する介護予防トレーニングが運動機能向上に及ぼす影響、日本 RA のリハビリ研究会誌 25(1), 67-71, 2011
9. 長門五城, 渡部一郎, 須郷磨衣子, 小倉良介: 上肢の自動・多動運動が生理機能に与える影響、日本 RA のリハビリ研究会誌 25(1), 91-94, 2011

b. 誌上発表: 総説

1. 渡部一郎: 連載. 関連専門職種の動向、総合リハビリテーション 38(2), 188-189, 2010 (ISSN0386-9822)
2. 渡部一郎: リハビリテーション医療とサー

モロジール, Biomedical Thermology 29, 20-25, 2010

3. 渡部一郎: リウマチのリハビリテーションのパラダイムシフト. 先端医療シリーズ 40 「リハ医とコメディカルのための最新リハビリテーション医学・医療」. 先端医療技術研究所、東京、48-52, 2010
4. 渡部一郎: 関節リウマチ治療新時代のリハビリテーション-変わるもの、変わらないもの-温泉療法を含む水治療法、Monthly Book Medical Rehabilitation 121, 48-53, 2010
5. 三浦雅史, 渡部一郎: 関節リウマチ治療新時代のリハビリテーション-変わるもの、変わらないもの-下肢装具療法、MB メディカルリハビリテーション 24, 71-75, 2010
6. 渡部一郎: 第 28 回日本リハビリテーション医学会東北地方会 (青森) -主催幹事として、日リハ医 48:62-64, 2011 (ISSN1881-3526)
7. 渡部一郎: 物理療法のエビデンス、総合リハ 39(4), 317-324, 2011 (ISSN0386-9822)
8. 渡部一郎: 関連専門職養成校におけるリハビリテーション科専門医不足の実態、Jpn J Rehabil Med (日リハ医会誌), 48(7), 472-477, 2011 (ISSN 1881-3526)
9. 渡部一郎: 臨床医家に必要なリハビリテーションの実際- RA のリハビリテーション医療の Overview、日臨リウマチ会誌, 23, 219-221, 2011 (ISSN0914-8760)
10. 三浦雅史, 川口徹, 渡部一郎: 日常の疼痛を軽減する物理療法、下肢装具、日臨リウマチ会誌, 23, 228-232, 2011 (ISSN0914-8760)
11. (著書) 渡部一郎訳: EBM 物理療法第 3 版、p1-496, 医歯薬出版、東京、2010
12. (著書) 渡部一郎編/出版: 日本 RA のリハビリ研究会誌 No. 24, p1-123, コーデックス社、青森、2010. 4. 1
13. (著書) 渡部一郎: 関連職教育の問題点-関連職育成における課題と各学会の対応と展望、日本リハ医学会ニュース 45 号, p1-2, 2010
14. (著書) 渡部一郎編/主催/出版: 第 28 回日本リハビリテーション医学会東北地方会抄録

集(青森), p1-16, コーデックス社、青森, 2010, 9. 11

15. (著書) 渡部一郎: 気候療法・保養地医学、第 31 回温泉療法医会研修会テキスト pp33-37、日本温泉気候物理医学会, 2010
16. (著書) 渡部一郎: 資格、採用試験ランキング(医療)患者に向き合うことに生きがいを持てるか、2012 年版大学ランキング、pp202-205, 朝日新聞出版、東京, 2011 (ISBN978-4-02-274564-4)

2. 一般発表など

1. 渡部一郎: 気候療法(教育講演)、第 76 回日本温泉気候物理医学会温泉療法医研修会, 2010, 6.5(那須塩原)
2. Watanabe, I, Nagato, I, Sugo, M, Watanabe, T, Yamauchi T, Tatsuta M, Iwakawa M: Fine water droplets in air by electrostatic atomization improve chronic pain sensation thresholds and autonomic nerve functions. 37th International Society of Medical hydrotherapy and climatology (ISMH), Paris, 2010, 6, 23
3. Watanabe, T, Kon, A, Watanabe, I: Correlation of dietary habits and activities of daily living in metabolic syndrome of rheumatoid arthritis. 37th International Society of Medical hydrotherapy and climatology (ISMH), Paris, 2010, 6, 23
4. 長門五城, 渡部一郎、須郷麻衣子、小倉良介: 上肢の自動・他動運動が生理機能に与える影響, 第 27 日本サーモロジー学会(横浜), 2010, 7.3
5. 須郷麻衣子、渡部一郎、長門五城: 頸部温熱療法が疼痛閾値に与える影響, 第 27 日本サーモロジー学会(横浜), 2010, 7.3
6. 渡部一郎: RA のリハビリテーション (パネリスト)、リウマチケア懇話会, 2010, 8, 21(青森)
7. 渡部一郎、渡部朋子、及川隆司: RA のメタボリックシンドロームと障害, 第 28 回日本リハビリテーション医学会東北地方会, p3, 2010.9.11(青森)
8. 渡部一郎: RA 患者の手関節固定装具による

電流知覚閾値の変化. 第 25 回日本臨床リウマチ学会, 2010, 11. 28(東京)

9. 渡部朋子、渡部一郎: RA のメタボリックシンドロームと障害, 第 25 回日本臨床リウマチ学会, 2010.11.28(東京)
10. 渡部一郎: 臨床医家に役立つリハビリテーションの実際-Overview (シンポジスト). 第 25 回日本臨床リウマチ学会, 2010, 11. 28(東京)

e. 学会主催

1. 第 28 回日本リハビリテーション医学会東北地方会. 2010. 9. 11, 青森市民ホール (青森) 会長

14) 山下 弘二

1. 誌上发表

a. 学術論文

山下弘二, 菊池信愛, 伊藤和夫: 脳卒中患者に対する呼吸筋トレーニングが呼吸筋力と咳嗽力に及ぼす効果. 理学療法科学 25(6): 849-853, 2010.

2. 学会発表

山下弘二, 盛田寛明: 養護老人ホーム入所者の最大呼気流速と筋肉量との関連性. 第 45 回日本理学療法学会大会, 理学療法学, 37 (大会特別号), 平成 22 年 5 月 27-29 日, 岐阜市.

1) 千葉 たか子

A 原著論文

「市民的」ボランティア観の構築のために—大学生がもつ「市民」のイメージをもとに—. 青森県立保健大学雑誌第11巻第1号、pp.123-130. 平成22年12月

D 研究発表

1 青森県立保健大学. 日本社会福祉学会 東北部会第10回 研究大会 青森大会. 平成22年7月17日. 主題「参加と参画を考える—ボランティア観のパラダイム転換を視野に—」

2 文教大学湘南校舎. 国際ボランティア学会第12回研究大会. 平成23年2月17日. 主題「ボランティア観の再構築—若い世代の意識調査を基に—」

3 青森県立保健大学. 2010年度青森県保健医療福祉研究発表会. 平成23年2月22日. 「JICAの教師海外研修事業と青森県の国際化に対応した教育」

海外出張

研究のための調査活動、平成22年11月03日から11月14日まで、インド国西ベンガル州農村

2) 長谷川 真理子

一般発表

長谷川真理子¹、吉川公章²：「ソーシャルワーカーの成長過程に関する予備的研究—精神保健福祉士協会A県支部事例検討会データ分析より—」2010年度青森県保健医療福祉研究発表会、2011年2月22日、青森県立保健大学、抄録集 p62-63

¹:青森県立保健大学、²:福井県立大学

3) 入江 良平

2. 一般発表など

入江良平¹、林カヨ²：不登校女児の箱庭療法過程—永遠と時間を主題として—

. 第24回日本箱庭療法学会学術大会, 2010年10月10日, ノートルダム清心女子大学.

¹:青森県立保健大学,²:メンタルスペース林,³

4) 石田 賢哉

1. 誌上発表

b 短評

石田賢哉「障害学にもとづくソーシャルワーク—障害の社会モデル—」ソーシャルワーク研究36(2), 2010年2月

b 石田賢哉:福祉及び医療現場で働くA大学社会福祉学科卒業生の研修ニーズに関する実態調査。「東北の社会福祉研究」第6号日本社会福祉学会地域委員会東北部会, 6, 69-81, 2010年7月

b 石田賢哉¹種市寛子¹ 福祉分野で働く人のやりがいに関する研究—やりがい、雇用環境、倫理観との関係性に注目して— 青森県立保健大学 健康科学特別研究平成20~21年度報告書 青森県立保健大学健康科学特別研究費. 2011年3月

¹:青森県立保健大学

2. その他

・石田賢哉¹、種市寛子¹:福祉分野で働く人を対象とした「やりがい」スケールの開発—やりがいと雇用環境との関連性に注目して—。2010年度青森県保健医療福祉研究発表会、平成23年2月22日、青森県立保健大学、青森市、青森県保健医療福祉研究発表会抄録集、40-41.

¹:青森県立保健大学

・種市寛子¹、大和田猛¹、石田賢哉¹:青森県の特別養護老人ホームに勤務する職員の労働環境と不安感の関連性について—職員の不安

感に影響する要因の考察一。日本社会福祉学会東北部会第10回研究大会,平成22年7月17-18日,青森県立保健大学,青森市,日本社会福祉学会東北部会第10回研究大会報告要旨集,32.

¹:青森県立保健大学

5) 加賀谷 真紀

誌上発表

・加賀谷真紀^{*1},大和田猛^{*1}「特別養護老人ホームにおける高齢者虐待防止研修ニーズの実態と課題ー青森県内の特別養護老人ホーム・職員のニーズ調査結果を手掛かりに」青森県立保健大学雑誌,第11巻,P29~P40,2010年12月.

^{*1}青森県立保健大学

6) 増山 道康

論文

増山 道康「みきの会と私」福祉文化実践報告集 VOL.4 日本福祉文化学会
2010.6.30

著作物

増山 道康監修、「現代社会と福祉」参考書政策委員会「現代社会と福祉ー学生の視点に立った基本概念の整理とキーワード」公立学校法人青森県立保健大学地域連携・国際センター
2011.1.11

7) 西村 愛

a.学術論文(原著)

① 西村愛・廣森直子(査読審査つき論文)
「知的障害のある人のオープン・カレッジの実践と今後の課題ー地域で共に生きる関係性の構築の視点からー」日本地域福祉学会『地域福祉実践研究 創刊号』
2010年5月,PP.55-61

② 西村愛「知的障害者の『居場所』づくりに関するー考察ーインクルージョンの視点からー」(査読審査つき論文)大阪市立大学人権問題研究会『人権問題研究』第11号,2011年3月,PP.45-57

b.報告書

廣森直子・渡邊洋一・西村愛・石岡れい子・加藤和仁・工藤睦美・山内修
「市町村における障害児者の生涯学習に関する報告書」平成21年度科学研究費補助金報告書知的障害者の生涯学習にかかわる地域ネットワークづくりに関する研究 2010年8月

c.書籍、教科書など

①加藤貴久・杉岡啓治編『高等学校における特別支援教育の実践』あいり出版2010年7月
執筆者は、安藤忠、西村愛、安原佳子、岡崎裕、加藤貴久、吉村雅昭、角田茂良、杉岡啓治。西村愛担当の論文名は、第一部第一章「高等学校における共に学ぶ意義について考える」。PP.13~21(全215頁)

②西村愛・岩淵由夏子・押切和香・久慈明子・工藤友紀・中畑友絵・前田絵未『地域で共に生きるー知的障害のある人と一緒に考えよう』コーデックス印刷 2011年2月
西村愛担当は、第一部「知的障害のある人から学んだこと」PP.2~39、第三部「地域で共に生きることについて考えよう!」PP.63~77(全77頁)

d.学会発表

・西村愛『知的障害のある人たちの「居場所」づくりを検証するー「オープン・カレッジ」の現状からー』日本社会福祉学会東北部会第10回研究大会(於:青森県立保健大学)2010年7月17日

8) 大竹 昭裕

著 書

・大竹昭裕「法の効力」油川昭夫編『第5版 一般法学』(世界書院、2011年3月)

77～150頁

原著論文

- ・大竹昭裕「国籍法3条1項の合憲性と司法的救済—最高裁大法廷平成20年6月4日判決—」青森県立保健大学雑誌第11巻（2010年12月）1～19頁

研究ノート

- ・大竹昭裕「生活保護開始仮の義務付け申立て事件—那覇地裁平成21年12月22日決定・福岡高裁那覇支部平成22年3月19日決定—」青森県立保健大学雑誌第11巻（2010年12月）103～110頁
- ・大竹昭裕「市立保育所廃止条例制定行為の処分性—最高裁第1小法廷平成21年11月26日判決—」青森県立保健大学雑誌第11巻（2010年12月）111～119頁

学会開催

- ・青森法学会第13回総会・研究大会開催担当理事（2010年9月20日、青森市アウガ5階）

9) 大山 博史

学術論文（原著）

誌上発表

- 1) Oyama H, Sakashita T, Hojo K¹, Ono Y², Watanabe N³, et al.: A Community-based Survey and Screening for Depression in the Elderly: The Short-term Effect on Suicide Risk in Japan. *Crisis*, 31(2):100-8, 2010
- 2) Erlangsen A, Nordentoft M, Conwell Y, Waern M, De Leo D, Lindner R, Oyama H, Sakashita T, et al.: Key Considerations for Preventing Suicide in Older Adults, Consensus Opinions of an Expert Panel. *Crisis*, 32: 106-109, 2011
- 3) Lapierre S, Oyama H, et al.: A Systematic Review of Elderly Suicide Prevention Programs. *Crisis*, 32: 88-98, 2011
- 4) 坂下智恵, 大山博史: うつ病スクリーニング

による壮年者自殺予防のための地域介入: 自記式質問紙の回収方法が及ぼすスクリーニングの参加と成績への影響. *精神医学*, 53, 225-233, 2011

書籍

- 1) 大山博史, 坂下智恵: 老いと疾病, 佐藤眞一他編, 老いとこころのケア—老年行動科学入門—. 175-205, 2010年7月, ミネルヴァ書房, 京都.
- 2) 大山博史, 坂下智恵: 自殺プロセスに入り込まないために 地域での対策, 張賢徳編, 専門医のための精神科臨床リュミエール 29 自殺予防の基本戦略. 183-190, 2011年2月, 中山書店, 東京.

学会発表

- 1) 山田千寿子, 岩藤裕樹, 工藤清次郎, 加賀司, 大山博史: 精神科デイケアにおける就労移行準備プログラムの試み—就労移行支援事業の適応性に対する要因の予備的検討—. 第15回日本デイケア学会, 2010年9月17-18日, 仙台
- 2) 菅原典勝, 岩藤裕樹, 工藤清次郎, 大山博史: 集団運動プログラムが及ぼす統合失調症者の情動への影響. 第15回日本デイケア学会, 2010年9月17-18日, 仙台

10) 齋藤 史彦

誌上発表

・齋藤史彦^{*1}「非行少年に対する就労支援経験の有無が保護司の認識に与える影響について」東北の社会福祉研究, 第6号, P5～P17, 2010年7月.

^{*1}青森県立保健大学

11) 坂下 智恵

1. 誌上発表

1) 坂下智恵：うつ病スクリーニングによる地域介入と中高年者自殺予防—最近のエビデンスに関するレビューと本邦の介入事例—。青森県立保健大学雑誌, 11, 137-141, 2010.

2) Oyama H, Sakashita T, Hojo K, Ono Y, Watanabe N, et al.: A Community-based Survey and Screening for Depression in the Elderly: The Short-term Effect on Suicide Risk in Japan. *Crisis*, 31(2):100-8, 2010

3) Erlangsen A, Nordentoft M, Conwell Y, Waern M, De Leo D, Lindner R, Oyama H, Sakashita T, et al.: Key Considerations for Preventing Suicide in Older Adults, Consensus Opinions of an Expert Panel. *Crisis*, 31(4), 2010

4) 坂下智恵, 大山博史：うつ病スクリーニングによる壮年者自殺予防のための地域介入：自記式質問紙の回収方法が及ぼすスクリーニングの参加と成績への影響。精神医学, 53(3), 225-233, 2011

2. 書籍

1) 大山博史, 坂下智恵：老いと疾病, 佐藤眞一他編, 老いとこころのケア—老年行動科学入門—。175-205, 2010年7月, ミネルヴァ書房, 京都。

2) 大山博史, 坂下智恵：自殺プロセスに入り込まないために—地域での対策, 張賢徳編, 専門医のための精神科臨床リュミエール 29 自殺予防の基本戦略。183-190, 2011年2月, 中山書店, 東京。

3. 一般発表など

1) 坂下智恵：自記式質問紙法を用いた壮年期うつ病スクリーニングによる地域介入—質問紙の回収方法が及ぼすスクリーニングの参加と成績への影響—。第10回日本社会福祉学会東北部会, 2010年7月17-18日, 青森県立保健大学, 青森市

2) 山田千寿子, 岩藤裕樹, 工藤清次郎, 坂下智恵, 他：精神科デイケアにおける就労移行準備プログラムの試み—就労移行支援事業の適応性に対する要因の予備的検討—。第15回日本デイケア学会, 2010年9月17-18日, 仙台

3) 菅原典勝, 岩藤裕樹, 工藤清次郎, 坂下智恵, 他：集団運動プログラムが及ぼす統合失調症者の情動への影響。第15回日本デイケア学会, 2010年9月17-18日, 仙台

1 2) 杉山 克己

1. 誌上発表

坂野純子¹, 菊澤佐江子², 的場智子³, 山崎喜比古⁴, 杉山克己⁵, 八巻知香子⁶, 望月美栄子⁷, 笠原麻美⁷：精神障害者に対する大学生のスティグマ的反応尺度の因子構造と関連要因, 岡山県立大学保健福祉学部研究科紀要, 17, 19-26, 2010

1：岡山県立大学、2：法政大学、3：東洋大学、4：東京大学、5：青森県立保健大学、6：独立行政法人国立がん研究センター、7：東京大学大学院医学系研究科

2. 一般発表

・杉山克己¹：社会福祉教育における専門基礎教育のあり方（シンポジウム①社会福祉士養成教育における基礎教育は如何にあるべきか）、日本社会福祉教育学会、2010年9月4日～5日、アパ・ホテル金沢駅前、金沢市、日本社会福祉教育学会誌、第5号、83-87、2011.3

1：青森県立保健大学

・武田加代子¹, 山下匡将², 伊藤優子³, 杉山克己⁴, 志水幸⁵, 川廷宗之⁶：レジデンシャル・ソーシャルワーク専門職性評価指標の開発—特別養護老人ホームに勤務するソーシャルワーカーを対象とした調査の結果から—、日本社会福祉学会(第58回秋季大会)、2010年10月10日、日本福祉大学美浜キャンパス、愛知県知多郡美浜町、日本社会福祉学会第58回秋季大会報告要旨集、206-207、2010

1：天理大学、2：名古屋学院大学、3：龍谷大学短期大学部、4：青森県立保健大学、5：北海道医療大学、6：大妻女子大学

・坂野純子¹, 山崎喜比古², 的場智子³, 菊澤佐江子⁴, 八巻知香子⁵, 望月美栄子⁶, 杉山克己⁷：接触体験と「怖さ」に関する意識の

分析—『こころの病』をもつ人へのスティグマ及びまなざしに関する調査研究—、日本社会福祉学会(第58回秋季大会)、2010年10月10日、日本福祉大学美浜キャンパス、愛知県知多郡美浜町、日本社会福祉学会第58回秋季大会報告要旨集、712-713、2010

1: 岡山県立大学、2: 東京大学、3: 東洋大学、4: 法政大学、5: 国立がんセンター、6: 東京大学大学院、7: 青森県立保健大学

- ・菊澤佐江子¹、山崎喜比古²、的場智子³、坂野純子⁴、杉山克己⁵、八巻知香子⁶、望月美栄子⁷: 精神疾患に際する相談行動に関する意識の分析—「こころの病」をもつ人へのスティグマ及びまなざしに関する全国調査から—、日本社会福祉学会(第58回秋季大会)、2010年10月10日、日本福祉大学美浜キャンパス、愛知県知多郡美浜町、日本社会福祉学会第58回秋季大会報告要旨集、718-719、2010

1: 法政大学、2: 東京大学、3: 東洋大学、4: 岡山県立大学、5: 青森県立保健大学、6: 国立がんセンター、7: 東京大学大学院

- ・小関久恵¹、宮本雅央²、村山くみ³、伊藤優子⁴、宮嶋淳⁵、鈴木敏彦⁶、杉山克己⁷、志水幸⁸、武田加代子⁹、川廷宗之¹⁰: 福祉系初年次学生の学習姿勢による学習ニーズの検討、日本社会福祉学会(第58回秋季大会)、2010年10月10日、日本福祉大学美浜キャンパス、愛知県知多郡美浜町、日本社会福祉学会第58回秋季大会報告要旨集、750-751、2010

1: 東北公益文科大学、2: 秋田看護福祉大学、3: 東北福祉大学、4: 龍谷大学短期大学部、5: 中部学院大学、6: 和泉短期大学、7: 青森県立保健大学、8: 北海道医療大学、9: 天理大学、10: 大妻女子大学

- ・宮本雅央¹、小関久恵²、村山くみ³、伊藤優子⁴、宮嶋淳⁵、鈴木敏彦⁶、杉山克己⁷、志水幸⁸、武田加代子⁹、川廷宗之¹⁰: 社会福祉学部及び学科における新入生の学習及び生活体験と表象との関連—「社会福祉」から連想するキーワードの分類から—、日本社会福祉学会(第58回秋季大会)、2010年10月10日、日本福祉大学美浜キャンパス、愛知県知多郡美浜町、日本社会福祉学会第58回秋季大会

報告要旨集、752-753、2010

1: 秋田看護福祉大学、2: 東北公益文科大学、3: 東北福祉大学、4: 龍谷大学短期大学部、5: 中部学院大学、6: 和泉短期大学、7: 青森県立保健大学、8: 北海道医療大学、9: 天理大学、10: 大妻女子大学

13) 種市 寛子

一般発表など

- ・種市寛子¹、大和田猛¹、石田賢哉¹: 青森県の特別養護老人ホームに勤務する職員の労働環境と不安感の関連性について—職員の不安感に影響する要因の考察—、日本社会福祉学会東北部会第10回研究大会、平成22年7月17-18日、青森県立保健大学、青森市、日本社会福祉学会東北部会第10回研究大会報告要旨集、32.

¹: 青森県立保健大学

- ・種市寛子¹、大和田猛¹、石田賢哉¹: 青森県の特別養護老人ホームに勤務する職員の不安感について、2010年度青森県保健医療福祉研究発表会、平成23年2月22日、青森県立保健大学、青森市、青森県保健医療福祉研究発表会抄録集、38-39.

¹: 青森県立保健大学

- ・石田賢哉¹、種市寛子¹: 福祉分野で働く人を対象とした「やりがい」スケールの開発—やりがいと雇用環境との関連性に注目して—、2010年度青森県保健医療福祉研究発表会、平成23年2月22日、青森県立保健大学、青森市、青森県保健医療福祉研究発表会抄録集、40-41.

¹: 青森県立保健大学

1) 浅田 豊

学術論文(原著)

浅田豊：竹森幸一、浅田豊、三上聖治、仁平將：24時間尿中塩類の簡易測定法. 日本循環器病予防学会誌 第45巻第2号、p133-142. 2010年4月.

浅田豊：竹森幸一、三上聖治、仁平將、浅田豊：青森県における水銀血圧計による血圧測定値の末尾の数字の読み 第1報 保健所管轄区域別にみた特徴. 弘前医療福祉大学紀要 第2巻1号、p15-22. 2011年3月.

浅田豊：浅田豊、竹森幸一、三上聖治、仁平將他：青森県における水銀血圧計による血圧測定値の末尾の数字の読み 第2報 末尾の読みの地域的特徴の解釈. 弘前医療福祉大学紀要 第2巻1号、p23-28. 2011年3月.

学術書籍(共編著、分担執筆)

浅田豊：単著「教育課程の現代的課題」教育課程論. 近畿大学豊岡短期大学発行、p91-112. 2010年4月.

浅田豊：竹森幸一、浅田豊、三上聖治、仁平將：水銀血圧計による血圧測定値の末尾に関する考察. 血圧測定値の末尾に関する研究会、p1-28. 2011年3月.

学会発表・学術講演等

浅田豊：大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊 グローバルヘルス第1報：英国在住日本人母親の異文化ストレスと精神健康度調査 日本ヒューマンケア学会、2010年.

浅田豊：大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊 グローバルヘルス第2報：在英日本人母親の育児ストレスとメンタルヘルスの検討 日本ヒューマンケア学会、2010年.

浅田豊：大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊 グローバルヘルス第3報：在英日本人母親が認知する幼児の異文化ストレスと関連要因 日本ヒューマンケア学会、2010年.

浅田豊：浅田豊、竹森幸一、三上聖治、仁平將：

青森県各保健所管内における水銀血圧計測定値末尾の読みの解釈に関する一考察 日本民族衛生学会、2010年.

浅田豊：竹森幸一、三上聖治、仁平將、浅田豊：青森県各保健所管内における水銀血圧計測定値末尾の読みの年次比較 日本民族衛生学会、2010年.

浅田豊：地域を元気にするボランティア活動 青森県教育委員会主催 青森県総合社会教育センター、2010年7月.

浅田豊：地域活動実践セミナー 地域の教育力を高める子どもの活動サポーター養成講座実践報告ファシリテーター(コーディネーター) 青森県教育委員会主催 青森県総合社会教育センター、2010年7月.

浅田豊：教育原理. 保健師助産師看護師実習指導者講習会、青森県看護協会主催、県民福祉プラザ、2010年6月.

浅田豊：地域全体で子どもを育む環境づくりに向けて パネルディスカッションコーディネーター 青森市教育委員会主催、青森市男女共同参画プラザ、2011年1月.

浅田豊：子どもの心に寄り添う子育てについて 五所川原市立東峰小学校主催、2011年3月.

浅田豊：青森県教育委員会免許法認定講習 教育方法論(全16時間) 2010年8月.

浅田豊：青森県社会教育委員. 青森県教育委員会 2010年.

浅田豊：青森県社会教育委員専門部会委員. 青森県教育委員会 2010年.

浅田豊：青森市生涯学習推進委員会副委員長. 青森市教育委員会 2010年.

浅田豊：青森県高大連携キャリア形成支援推進協議会委員. 青森県教育委員会 2010年.

2) 羽入 辰郎

a 学術論文(原著)

1) 羽入辰郎¹：ソクラテスはなぜ殺されたか？—キルケゴール『哲学的断片』を用いて、青森

県立保健大学雑誌第11巻・21-28、2010.

¹青森県立保健大学

3) 廣森 直子

誌上発表

- ・ 廣森直子、山内修、石岡れい子、加藤和仁、工藤睦美：知的障害のある人の生涯学習の保障における学校の役割—青森県の特別支援学校における青年学級調査から—。青森県立保健大学雑誌. 第11巻. 2010.12. 67-76
- ・ 西村愛・廣森直子：知的障害のある人のオープンカレッジの実践と今後の課題—地域で共に生きる関係性の構築の視点から—。地域福祉実践研究. 創刊号. 2010.5
- ・ 廣森直子：障害のある人の生涯学習支援の現状からみたコミュニティワークへの期待—青森県の調査から—。コミュニティワーク実践研究紀要. 第4号, 2011.2

報告書

- ・ 廣森直子・渡邊洋一・西村愛・石岡れい子・加藤和仁・工藤睦美・山内修：市町村における障害児者の生涯学習に関する報告書（平成21年度科学研究費補助金報告書 知的障害者の生涯学習にかかわる地域ネットワークづくりに関する研究）。2010.8

学会発表

- ・ 廣森直子：青森県における知的障害のある人の生涯学習活動の展開と地域ネットワークづくりの課題。日本ボランティア学会. 2010.6.27 明治学院大学
- ・ 廣森直子：知的障害のある人の生涯学習における教育と福祉の連携の課題—青森県における市町村調査から—。日本社会教育学会 第57回研究大会. 2010.9.19. 神戸大学
- ・ 山本春江, 勘林秀行, 杉山克己, 佐藤伸, 千葉敦子, 井澤弘美, 廣森直子：保健医療福祉系大学1年次生のケアに関する生活体験。日本ヒューマンケア科学学会 第3回

学術集会. 2010.10.23. 青森県立保健大学

4) 岩部 万衣子

a 学術論文 (原著)

- 1) Kawasaki E¹, Hokari F¹, Sasaki M, Sakai A¹, Koshinaka K¹, Kawanaka K¹: The effects of adrenergic stimulation and exercise on NR4A3 protein expression in rat skeletal muscle. J Physiol Sci, 61, 1-11, 2011.
¹: Niigata University of Health and Welfare

b 総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 吉池信男, 川崎徹大, 佐々木万衣子, 横山徹爾: 都道府県健康・栄養モニタリングデータの蓄積と活用システム. 平成21年度厚生労働科学研究(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)健康増進施策推進・評価のための健康・栄養モニタリングシステムの構築報告書(研究代表者: 吉池信男). 72-77, 2010
- 2) 吉池信男, 佐々木万衣子, 小野儂子: 生活習慣の地域差と環境要因の関連に関する研究. 平成21年度厚生労働科学研究(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)健康づくり支援環境の効果的な整備施策および政策目標の設定に関する研究報告書(研究代表者: 下光輝一). 65-88, 2010.
- 3) 岩部万衣子: 学童の野菜摂取量を把握する簡易測定法の開発と妥当性の研究. 青森県立保健大学2010年新規シーズ創出支援研究(チャレンジ研究)報告書, 2010.

c 書籍

- 1) 吉池信男, 岩部万衣子: 日本人の食事摂取基準(2010年版)総論. 小児臨床栄養学. pp. 22-28, 診断と治療社, 2011

d 国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

- 1) 岩部万衣子, 吉池信男: 学童の野菜摂取行動に影響を及ぼす因子に関わる指標と妥当性の検討. 第57回 日本栄養改善学会学術総

会, 2010. 09, 坂戸市, 第 57 回日本栄養改善学会学術総会講演要旨集, 181, 2010.

5) 岩井 邦久

a 学術論文

- 1) 岩井邦久, 岩井佳代, 松江一, 小野寺昭夫: ガマズミ果実のポリフェノールおよびラジカル消去活性の季節変動. 日本食品科学工学会誌, 58 (1), 21-25, 2011.
- 2) Y.Morinaga, K.Iwai, H.Tomita, Y. Takaya, T.Naraoka, H.Matsue: Chemical nature of a new antihypertensive peptide derived from jellyfish. Food Science and Technology Research, 16, 333-340, 2010.

b 総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 岩井邦久: 青森県の産学官連携による地域農水産資源の生理機能研究と新規素材の開発. 食品と開発, 46 (2), 81-83, 2011.
- 2) 岩井邦久: 地域の食資源から抗酸化作用と生理機能の探索. ガマズミ果実の抗酸化成分およびヒトにおける抗酸化作用. New Food Industry, 52 (11), 33-41, 2010.
- 3) 岩井邦久: 地域の食資源から抗酸化作用と生理機能の探索— ガマズミ果実の抗酸化作用と糖尿病予防効果. New Food Industry, 52 (7), 8-14, 2010.
- 4) 岩井邦久, 川村仁, 倉本修助, 森永八江, 松江一, 小渡晃, 北村勉, 川岸健: アピオスの生理作用および作用成分の解明と健康食品開発に関する研究. 平成 22 年度実用技術開発研究最終報告書, 2011/3/18.
- 5) 森永八江, 岩井邦久, 内沢秀光, 富田秀弘, 松江一: エチゼンクラゲの非コラーゲンタンパク質の有効利用に関する研究. 青森保健大・若手研究実績報告書 (平成 21 年度), p.1-9, 2010.

c 書籍、単行本、教科書・参考書

- 1) K. Iwai, S. Kuramoto, H. Matsue: Antihypertensive and hypolipidemic effects of tuber of *Apios americana*

Medikus in SHR. Comprehensive Bioactive Natural Products, Vol.3 Efficacy, Safety & Clinical Evaluation II, V.K.Gupta, ed., Studium Press, LLC.; pp.167-181, 2010.

d 国内外で開催された学会発表

- 1) 森永八江, 岩井邦久, 内沢秀光¹, 富田秀弘¹, 松江一: エチゼンクラゲ由来降圧活性ペプチドの由来タンパク質の探索. 日本農芸化学会 2011 年度大会, 2011/3/25-28, 京都. ¹ 青森産技セ
- 2) 乗鞍敏夫, 藤原憲秀¹, 山口信哉², 森永八江, 岩井邦久, 松江一: ボタンイボタケの抗がん作用の解明. 日本農芸化学会 2011 年度大会, 2011/3/25-28, 京都. ¹ 北大, ² 青森産技セ
- 3) 岩井邦久, 柏倉大作, 森永八江, 松江一: 海藻ツルアラメの生理機能と有効利用に関する研究. 第 64 回日本栄養・食糧学会大会, 2010/5/22, アスティとくしま.

f 特許など(承認されたタイトル、決定日など)

- 1) 抗腫瘍剤、カスパーゼ阻害剤、イボタケ属担子菌抽出物およびその製造方法. 特願 2010-179878. 出願 2010/8/10.

6) バリー カヴァナ

a 学術論文 (原著)

- 1) Kavanagh, Barry.
A cross cultural analysis of Japanese and English non-verbal online communication: The use of emoticons in weblogs in *Intercultural communication studies journal*. Volume XIX (3) 2010 pp65-81
- 2) Kavanagh, Barry.
The use of paralinguistic cues in high and low context cultural communication.
An examination of the language of Japanese and English weblogs.
The Asian Conference on Arts &

Humanities 'East Meets West'
Official conference proceedings. 2010
pp 1199-1211

- 3) Kavanagh, Barry.
The ideal English teacher and the
commodity of the native speaker.
English connection Journal (Feature
paper) Published by KOTESOL. 2011
pp 1-9

b 総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) カヴァナ・バリー
普通体と丁寧体の使用法についての考
察. 保健大学雑誌 第11巻 (2010) pp
87-93

c 国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

- 1) Kavanagh, Barry.

The use of paralinguistic cues in
high and low context cultural
communication.

An examination of the language
of Japanese and English weblogs.

The Asian Conference on Arts &
Humanities 'East Meets West'

Ramada Hotel, Osaka. June
21-22 2010 Session Chair: Barry
Kavanagh

- 2) Kavanagh, Barry.

Representations of orality and
visuality in Japanese and
English weblogs.

Poster presentation

The 18th International
Conference on Pragmatics and Language
Learning

Kobe University, Kobe.

16th-19th July 2010

c 海外で開催された学会発表 (口頭発表)

- 1) Kavanagh, Barry.

Politeness and rapport building

strategies through the use of
paralinguistic cues in high and
low context cultural
communication.

An examination of the language
of Japanese and English weblogs.
5th International Symposium on
Politeness "Politeness and
impoliteness, on- and offline"
University of Basel, Basel,

Switzerland.

30 June - 2 July 2010

7) アラン ノールズ

<学会発表>

- ・ 大関信子、ノールズ・アラン. 父親の「子育て」に
対する母親の不満の原因: 海外在住日本人母
親の調査から、第69回日本公衆衛生学会総会
抄録集、10月29日、p565、東京
- ・ 大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊: グローバル
ヘルス第1報: 英国在住日本人母親の異文化
ストレスと精神健康度調査: 第1報 第2回 日
本ヒューマンケア科学学会学術集会 抄録集
24-25, 青森市 10月23日
- ・ 大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊: グローバル
ヘルス第2報: 乳児を持つ在英日本人母親の
育児ストレスとメンタルヘルスの検討、日本ヒ
ューマンケア科学学会学術集会、抄録集 26-27,
青森市 10月23日
- ・ 大関信子、アラン・ノールズ、浅田豊. グローバル
ヘルス第3報: 在英日本人母親が認知する幼児の
異文化ストレスと関連要因. 第2回日本ヒュー
マンケア科学学会学術集会. 抄録集 28-29, 青森市
10月23日

8) 熊谷 貴子

a 学術論文 (原著)

- 4) 熊谷貴子, 李 相潤, 北宮千秋¹, 佐藤厚子², 橋本淳一, 鈴木孝夫, 中路重之³. 農業地域類型区分別における性別・年齢階級別の身体的特徴. 体力・栄養・免疫学会, 20(1), 38-45, 2010. 査読有
1: 弘前大学大学院保健学研究科, 2: 秋田看護福祉大学, 3: 弘前大学大学院医学研究科

b 総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 熊谷貴子, 真野由紀子¹. 調理文化の地域性と調理科学, 平成 21-23 年度 日本調理科学学会特別研究「調理文化の地域性と調理科学—行事食・儀礼食—」報告書. 37, 2011
1: 東北女子短期大学
- 2) 熊谷貴子, 李 相潤, 吉岡美子, 工藤育男¹. 性ホルモン変化に伴う酸化ストレス度および抗酸化能の動態. 青森県立保健大学 2010 年 チャレンジ研究報告書, 2010
1: 虹ヶ丘クリニック

d 国内外で開催された学会発表 (口頭発表)

- 1) 熊谷貴子, 高橋一平¹, 李 相潤, 上谷英史², 平川裕一², 梅田 孝¹, 中路重之¹. 一般住民における分娩及び閉経が酸化ストレスに及ぼす影響. 第 81 回日本衛生学会総会, 2011 年 3 月 26-28 日, 昭和大学, 東京, 第 81 回日本衛生学会学術総会講演集, 66(2), 488, 2010.
1: 弘前大学大学院医学研究科, 2: 弘前大学大学院保健学研究科 ※震災のため開催中止
- 2) 熊谷貴子, 李 相潤, 北宮千秋¹, 佐藤厚子², 橋本淳一, 伊藤治幸. 青森県における性別および年代別にみた血圧の状況. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27-29 日, 東京国際フォーラム, 東京, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 213, 2010.
1: 弘前大学大学院保健学研究科, 2: 秋田看護福祉大学

- 3) 李 相潤, 佐藤厚子¹, 熊谷貴子, 橋本淳一, 鈴木孝夫. 中高年女性における歩行を中心とした軽運動が身体組成および骨関連因子に及ぼす影響. 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27-29 日, 東京国際フォーラム, 東京, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 543, 2010.10. 東京
1: 秋田看護福祉大学
- 4) 熊谷貴子, 李 相潤, 佐藤厚子¹, 橋本淳一, 鈴木孝夫. 性ホルモン変化に伴う酸化ストレス度および抗酸化能の動態. 第 65 回日本体力医学会大会, 2010 年 9 月 16-18 日, 千葉商科大学, 千葉, 体力科学, 59(6), 796, 2010.12.
1: 秋田看護福祉大学
- 5) 原田織恵, 松本星子, 熊谷貴子, 橋本淳一, 李 相潤, 鈴木孝夫. 常圧低酸素濃度環境下での運動負荷が横隔膜に及ぼす形態学的変化. 第 65 回日本体力医学会大会, 2010 年 9 月 16-18 日, 千葉商科大学, 千葉, 体力科学, 59(6), 699, 2010.12.
- 6) 前田和平, 松本星子, 熊谷貴子, 橋本淳一, 李 相潤, 鈴木孝夫. 常圧低酸素濃度環境下の持続的な運動負荷が下肢の筋組織に及ぼす影響. 第 65 回日本体力医学会大会, 2010 年 9 月 16-18 日, 千葉商科大学, 千葉, 体力科学, 59(6), 698, 2010.
- 7) 熊谷貴子, 高橋一平¹, 李 相潤, 上谷英史², 平川裕一², 梅田 孝¹, 中路重之¹. 閉経及び分娩が酸化ストレスに及ぼす影響について. 第 20 回体力・栄養・免疫学会大会, 2010 年 8 月 28-29 日. 西目屋村公民館, 青森, 体力・栄養・免疫学会誌, 2010.
1: 弘前大学大学院医学研究科, 2: 弘前大学大学院保健学研究科
- 8) 李 相潤, 熊谷貴子, 橋本淳一, 鈴木孝夫. 月経周期に伴う性ホルモン及び身体組成が骨マーカーに及ぼす影響. 第 28 回日本骨代謝学会学術集会, 2010 年 7 月 21-23 日, 京王プラザホテル, 東京, 第 28 回日本骨代謝学会学術集会プログラム抄録集, 249, 2010.
- 9) 熊谷貴子, 李 相潤, 橋本淳一, 鈴木孝夫. 月経周期に伴う酸化ストレス度および抗

酸化能の動態. 日本体力医学会 東北地方会, 2010年6月12日, 岩手県医師会館, 岩手, 体力医学, 59(4), 455, 2010.

- 10) 花田玲子¹, 福士章子¹, 熊谷貴子, 紺野仁¹. 女子学生のやせおよび隠れ肥満の実態. 第64回日本栄養・食糧学会大会, 2010年5月21日-23日, アクティ徳島, 徳島, 第64回日本栄養・食糧学会大会講演要旨集, 237, 2010.

¹: 東北女子大学

9) 松江 一

1. 学術論文 (原著)

- 1) Nishijima, T., Iwai, K., Saito, Y., Takida, Y., Matsue, H.: Chronic ingestion of apple pectin can enhance the absorption of quercetin. *J. Agric. Food Chem.* 57 (6), 2583-2587, 2009.
- 2) 岩井邦久, 森永八江, 川村仁, 西嶋智彦, 倉本修助, 成田崇信, 中舘洋一, 松江一; 青森県立保健大学における栄養学的研究～食品からのアプローチ～地域食資源と生理機能に関する研究. 青森県立保健大学雑誌. 10 (2), 243-250, 2009.
- 3) 今淳, 松江一; 大学院における栄養学領域の教育・研究の課題と展望. 青森県立保健大学雑誌. 10 (2), 241-242, 2009.
- 4) Norikura, T., Fujiwara, K., Narita, T., Yamaguchi, S., Morinaga, Y., Iwai, K., and Matsue, H.: Anticancer Activities of Thelephantin O and Vialinin A Isolated from *Thelephora aurantiotincta*. *J. Agric. Food Chem.* 59 (6), 6974-6979, 2010.
- 5) Morinaga, Y., Iwai, K., Tomita, H., Takaya, Y., Naraoka, T and Matsue, H.: **Chemical Nature of a New Antihypertensive Peptide Derived from Jellyfish.** *Food Sci. Technol. Res.*, 16 (4), 333 - 340, 2010.
- 6) 岩井邦久, 岩井佳代, 松江一, 小野寺昭夫: ガマズミ果実のポリフェノールおよびラジカル消去活性の季節変動. 日本食品科学工学会誌, 58, 21-25, 2011.
- 7) 岩井邦久, 小野寺昭夫, 岩井佳代, 森永八江, 松江一: ガマズミ果実の搾汁残渣から分離した果肉粉末の血糖上昇抑制および抗酸化作用. 日本食品科学工学会誌, 58, 413-420, 2011.
- 8) 岩井邦久, 小野寺昭夫, 岩井佳代, 松江一: ガマズミ果実の搾汁残渣から果肉皮の分離とラジカル消去活性. 日本食品科学工学会誌, 58, 440-445, 2011.

2. 報告書

- 1) 岩井邦久, 松江一, 小野寺昭夫; ガマズミポリフェノールの生体利用性, 果肉皮および種子油の生理作用に関する研究. 平成21年度青森県立保健大学特別研究基盤実績報告書, 2010/3.
- 2) 岩井邦久, 川村仁, 蔵本修助, 松江一, 小渡晃; アピオス花の生理作用および作用成分の解明と健康食品開発に関する研究. 平成21年度青森県立保健大学実用技術開発研究実績報告書, 2010/3.
- 3) 乗鞍敏夫, 松江一, 成田崇信; 青森県産農林水産資源の抗がん作用を有する物質の探索. 平成21年度青森県立保健大学実用技術開発研究実績報告書, 2010/3.
- 4) 森永八江, 岩井邦久, 内沢秀光, 富田秀弘, 松江一; エチゼンクラゲの非コラーゲンタンパク質の有効利用に関する研究. 平成21年度若手研究実績報告書, 2010/3.
- 5) 松江一, 森永八江, 乗鞍敏夫, 岩井邦久, 今淳, 内沢秀光; エンド-β-グロクロニダーゼを利用した生理機能を有する-新規ヒアルロン酸オリゴ糖などの開発とその応用-. 平成21年度青森県立保健大学指定研究最終報告書, 2011/3.
- 6) 乗鞍敏夫, 山口信哉¹, 藤原憲秀², 松江一: バイアリンンAの抽出法とその生理作用に関する研究. 青森保健大・指定型研究最終報告書 (平成22~23年度), 2011/3/20. ¹青森工業総合研究セ、²北海道大学大学院
- 7) 岩井邦久, 森永八江, 松江一; アピオスの生理作用および作用成分の解明と健康食品開発に関する研究. 平成22年度健康科学特別研究・基盤A-2実績報告書, 2011/3/20.

3. 特許

- 1) 乗鞍敏夫, 岩井邦久, 森永八江, 松江一; 抗腫瘍剤、イボタケ属担子菌抽出物およびその製造法. 特願2010-179878.

4. 依頼寄稿

- 1) 松江 一； 健康科学研究科. 青森県立保健大学 開学10周年記念雑, p43-46, 2009/6/1.
- 2) 松江 一； 平成21年度博士および修士論文中間発表会について. 活彩!保健大学だより, 15, 2009/6/1.

5. 学会発表

- 1) 岩井邦久, 柏倉大作, 森永八江, 松江一: ツルアラメの血糖上昇抑制作用と有効利用に関する研究, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 青森市.
- 2) 岩井邦久, 川村仁, 森永八江, 松江一ら: マルターゼ阻害作用に関する研究, 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 青森市.
- 3) 森永八江, 富田秀弘, 奈良岡哲志, 岩井邦久, 松江一: ヘキサペプチドのC末端アミノ酸グルタミン酸をグルタミンにしたときの降圧活性に及ぼす影響. 日本農芸化学会 2010年度日本農芸化学会年会, 東京都, 2010/3/29.
- 4) 森永八江, 富田秀弘, 奈良岡哲志, 岩井邦久, 松江一: エチゼンクラゲの有効利用、イノベーションジャパン 2009-大学見本市, 東京都, 2009/09/16-18.
- 5) 森永八江, 富田秀弘, 奈良岡哲志, 岩井邦久, 松江一: エチゼンクラゲの有効利用、2010年度アグリビジネス創出フェア, 東京都, 2009/11/30.
- 6) 乗鞍 敏夫, 松江 一, 成田 崇信, 岩井 邦久, 森永 八江: がん特異的な生理活性を持つボタンイボタケ由来の新規物質 2011-大学見本市, 東京都, 2011/09/21-22.
- 7) 岩井邦久, 川村仁¹, 森永八江, 小渡晃², 北村勉², 松尾俊介¹, 小原麻智子¹, 松江一: アピオス花のマルターゼ阻害作用に関する研究. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 保健大, 青森市. ¹ 社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター, ² 株式会社倉石地域振興公社
- 8) 岩井邦久, 柏倉大作, 森永八江, 松江一: ツルアラメの血糖上昇抑制作用と有効利用に関する研究. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 保健大, 青森市.
- 9) 乗鞍敏夫, 藤原憲秀¹, 山口信哉², 松江一: ボタンイボタケの抗がん作用を示す生理活性物質の単

離・同定. 2009年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010/2/12, 保健大, 青森市.¹ 北海大学大学院, ² 青森工業総合研究セ

- 10) 乗鞍敏夫, 藤原憲秀¹, 山口信哉², 森永八江, 岩井邦久, 松江一: ボタンイボタケの抗がん作用の解明. 2011年度日本農芸化学会年会, 京都市, 2011/3/27.¹ 北海大学大学院, ² 青森工業総合研究セ
- 11) 森永八江, 岩井邦久, 高谷芳明¹, 奈良岡哲志², 松江一: ヘキサペプチドのC末端アミノ酸グルタミン酸をグルタミンにしたときの降圧活性に及ぼす影響. 2010年度農芸化学学会, 2010/3/27-30, 東京.¹ 名城大, ² 青森産技セ
- 12) 森永八江, 岩井邦久, 内沢秀光¹, 富田秀弘¹, 松江一: エチゼンクラゲ由来の降圧活性ペプチドの由来蛋白質探索. 2011年度農芸化学学会, 2010/3/27, 京都市.¹ 青森産技セ
- 13) Yae Morinaga, Kunihisa Iwai, Hidehiro Tomita, Yoshiaki Takaya, Tetsushi Naraoka and Haïme Matsue: NEW ACE INHIBITORY AND ANTIHYPERTENSIVE PEPTIDE DERIVED FROM JELLYFISH STOMOLOPHUS NOMURAI. 2011 International Conference on Food Factors. 2011/11/27, Taipei.Taiwan
- 14) Toshio Norikura, Kenshu Fujiwara, Shinya Yamaguchi, Yae Morinaga, Kunihisa Iwai and Haïme Matsue: Isolation and Identification of Thelephantin O and Vialinin A with Anticancer Activity from *Thelephora aurantiotincta*. 2011 International Conference on Food Factors. 2011/11/27, Taipei.Taiwan

10) 森永 八江

a 学術論文 (原著)

- 1) Morinaga Y., Iwai K., Tomita H¹., Takaya Y²., Naraoka T³., Matsue H.: Chemical nature of a new antihypertensive peptide derived from jellyfish. Food Sci. Technol. Research, 16, 333-340, 2010.

¹: 独青森県産業技術セ・下北食品研, ²: 名城大, ³: 独青森県産業技術セ

- 2) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三: 職域

における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果～教室参加者の学習内容の伝達と非参加者への影響～。日本公衛誌, 58, 102-110, 2011.

b 総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

1) 森永八江, 岩井邦久, 内沢秀光¹, 富田秀弘², 松江一: エチゼンクラゲの非コラーゲンタンパク質の有効利用に関する研究。青森保健大・若手研究実績報告書(平成21年度), 1-9, 2010.

¹: 青森工業総合研究セ, ²: 独青森
県産業技術セ・下北食品研

d 国内外で開催された学会発表(口頭発表)

1) 岩井邦久, 柏倉大作, 森永八江, 松江一: 糖尿病モデルマウスにおける海藻ツルアラメの血糖上昇抑制作用。第64回日本栄養・食糧学会大会, 2010年5月21-23日, アスティ徳島, 徳島, 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集64回, 167, 2010.

2) 森永八江, 千葉敦子, 山本春江, 藤田修三: 職域における健康教室参加者の食事調査の結果と課題。第3回日本ヒューマンケア科学学会学術集会, 2010年10月23日, 青森県立保健大学, 青森, 日ヒューマンケア科誌, 3, 29, 2010.

3) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果～3年間の健康診断結果の検討～。第20回日本産業衛生学会産業医・産業看護全国協議会, 2010年10月13日-16日, かでる2・7道民活動センタービル, 北海道, 産業衛誌53, 2011.

4) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果。第69回日本公衆衛生学会総会, 2010年10月27日-29日, 東京国際フォーラム, 東京, 第69回日本公衆衛生学会総会抄録集552, 2010.

5) 森永八江, 千葉敦子, 山本春江: 職域における健康教室の食事調査の経年比較による保健指導プログラムの検討。日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会, 2010年12月11-12日,

福岡市健康づくりセンター, 福岡, 日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会・総会抄録集43, 2010.

6) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江: 職域を対象とした保健指導モデルの評価～職場システムに生じた波及効果～。日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会, 2010年12月11-12日, 福岡市健康づくりセンター, 福岡, 日本ヘルスプロモーション学会第8回学術大会・総会抄録集42, 2010.

7) 千葉敦子, 山本春江, 森永八江, 藤田修三: 職域における健康教室参加者からの教育波及効果を意図した保健指導プログラムの効果～3年間の健康診断結果の検討～。2010年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011年2月22日, 青森県立保健大学, 青森, 2010年度青森県保健医療福祉研究発表会抄録集74-75, 2011.

¹: 社団法人青森県薬剤師会衛生検査センター, ²: 株式会社倉石地域振興公社

8) 森永八江, 岩井邦久, 内沢秀光¹, 富田秀弘², 松江一: エチゼンクラゲ由来降圧活性ペプチドの由来タンパク質の探索, 日本農芸化学会2011年度大会(中止), 2011年3月25-28日, 京都女子大, 京都, 日本農芸化学会2011年度大会講演要旨集, 83, 2011.

¹: 独青森県産業技術セ, ²: 独青森
県産業技術セ・下北食品研

9) 乗鞍 敏夫, 藤原 憲秀¹, 山口 信哉², 森永八江, 岩井 邦久, 松江 一: ポタンイボタケの抗がん作用の解明, 日本農芸化学会2011年度大会(中止), 日本農芸化学会2011年度大会(中止), 2011年3月25-28日, 京都女子大, 京都, 日本農芸化学会2011年度大会講演要旨集, 193, 2011.

¹: 北大, ²: 独青森県産業技術セ

11) 向井 友花

a 学術論文(原著)

1) Norikura T, Mukai Y, Fujita S, Mikame K¹, Funaoka M¹, Sato S. Lignophenols decrease oleate-induced apolipoprotein-B secretion in HepG2 cells. Basic Clin Pharmacol Toxicol, 107, 813-7, 2010.

¹: 三重大

d 国内外で開催された学会発表

- 1) 佐藤 伸, 向井 友花, 乗鞍 敏夫, 藤田 修三 : 新素材リグノフェノールによる糖尿病モデルラットの腎障害の改善効果. 第 80 回日本衛生学学会, 2010 年 5 月 9-10 日, 仙台.
- 2) 向井友花, 乗鞍敏夫, 藤田修三, 佐藤 伸 : リグノフェノールによる糖尿病ラットの血管内酸化ストレスの抑制効果. 第 64 回日本栄養・食糧学会大会, 2010 年 5 月 21-23 日, アスティとくしま, 徳島.
- 3) Yuuka Mukai, Toshio Norikura, Shuzo Fujita, Keigo Mikame¹, Masamitsu Funaoka¹, Shin Sato: Lignophenols suppress vascular oxidative stress and inflammation in streptozotocin-induced diabetic rats. 第 42 回動脈硬化学会学術集会, 2010 年 7 月 15-16 日, 長良川国際会議場, 岐阜.
¹: 三重大
- 4) 向井友花, 佐藤 伸 : 高血圧モデルラットの酸化ストレスおよび炎症におけるアズキ(*Vigna angularis*)ポリフェノールの生理的役割. 日本ヒューマンケア科学学会第 3 回学術集会, 2010 年 10 月 23 日, 青森県立保健大学, 青森.
- 5) 向井友花, 佐藤 伸 : 妊娠期の一酸化窒素欠乏が臍帯血管における血液線溶系因子 tPA の発現に及ぼす影響. 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.
- 6) 向井友花, 藤田修三, 乗鞍敏夫, 佐藤 伸 : 実験的糖尿病ラットの動脈の NADPH オキシダーゼ発現に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.

1 2) 乗鞍 敏夫

a 学術論文 (原著)

- 2) Norikura T, Mukai Y, Fujita S, Mikame K¹, Funaoka M¹, Sato S. Lignophenols decrease oleate-induced apolipoprotein-B secretion in HepG2 cells. *Basic Clin Pharmacol Toxicol*, 107, 813-7, 2010.

¹: 三重大

d 国内外で開催された学会発表

- 7) 佐藤 伸, 向井 友花, 乗鞍 敏夫, 藤田 修三 : 新素材リグノフェノールによる糖尿病モデルラットの腎障害の改善効果. 第 80 回日本衛生学学会, 2010 年 5 月 9-10 日, 仙台.
- 8) 向井 友花, 乗鞍 敏夫, 藤田 修三, 佐藤 伸 : リグノフェノールによる糖尿病ラットの血管内酸化ストレスの抑制効果. 第 64 回日本栄養・食糧学会大会, 2010 年 5 月 21-23 日, アスティとくしま, 徳島.
- 9) Yuuka Mukai, Toshio Norikura, Shuzo Fujita, Keigo Mikame¹, Masamitsu Funaoka¹, Shin Sato: Lignophenols suppress vascular oxidative stress and inflammation in streptozotocin-induced diabetic rats. 第 42 回動脈硬化学会学術集会, 2010 年 7 月 15-16 日, 長良川国際会議場, 岐阜.
¹: 三重大
- 10) 向井友花, 藤田修三, 乗鞍敏夫, 佐藤 伸 : 実験的糖尿病ラットの動脈の NADPH オキシダーゼ発現に及ぼす新素材リグノフェノールの影響. 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.
- 11) 乗鞍敏夫, 藤原憲秀¹, 山口信哉², 松江 一 : ボタンイボタケの抗がん作用を示す生理活性物質の単離・同定. 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.
- 12) 乗鞍敏夫, 藤原憲秀¹, 山口信哉², 森永八江, 岩井邦久, 松江 一 : ボタンイボタケの抗がん作用の解明. 2011 年度日本農芸化学会大会, 2011 年 3 月, 震災のために要旨集の発行を持って発表と認定

1 3) 佐藤 伸

a 学術論文 (原著)

- 3) Norikura T, Mukai Y, Fujita S, Mikame K¹, Funaoka M¹, Sato S. Lignophenols decrease oleate-induced apolipoprotein-B secretion in HepG2 cells. *Basic Clin Pharmacol Toxicol*, 107, 813-7, 2010.

¹: 三重大

b 総説、論説、研究ノート、調査書、報告書など

- 1) 佐藤 伸, 向井友花, 井澤弘美: 胎生期低栄養に起因する血圧上昇での活性酸素産生酵素の分子機構と食品成分による改善 (研究課題番号: 20500710). 科学研究費補助金研究成果報告書・基盤研究 C (代表: 佐藤 伸), 2008~2010 年度.
- 2) 佐藤 伸, 向井友花: 胎生期低栄養に起因する血圧上昇およびエネルギー代謝に及ぼす植物ポリフェノールの影響に関する研究 (代表: 佐藤 伸). 財団法人アサヒビール学術振興財団, 食生活科学・文化及び環境に関する研究助成. 研究紀要(ISSN 2186-2338), 24; 7-14, 2009 年度

d 国内外で開催された学会発表

- 1) 佐藤 伸, 向井友花, 乗鞍 敏夫, 藤田 修三: 新素材リグノフェノールによる糖尿病モデルラットの腎障害の改善効果. 第 80 回日本衛生学会, 2010 年 5 月 9-10 日, 仙台.
- 2) 向井友花, 乗鞍敏夫, 藤田修三, 佐藤 伸: リグノフェノールによる糖尿病ラットの血管内酸化ストレスの抑制効果. 第 64 回日本栄養・食糧学会大会, 2010 年 5 月 21-23 日, アステイトくしま, 徳島.
- 3) Yuuka Mukai, Toshio Norikura, Shuzo Fujita, Keigo Mikame¹, Masamitsu Funaoka¹, Shin Sato: Lignophenols suppress vascular oxidative stress and inflammation in streptozotocin-induced diabetic rats. 第 42 回動脈硬化学会学術集会, 2010 年 7 月 15-16 日, 長良川国際会議場, 岐阜.
¹: 三重大
- 4) 向井友花, 佐藤 伸: 高血圧モデルラットの酸化ストレスおよび炎症におけるアズキ(*Vigna angularis*)ポリフェノールの生理的役割. 日本ヒューマンケア科学学会第 3 回学術集会, 2010 年 10 月 23 日, 青森県立保健大学, 青森.
- 5) 向井友花, 佐藤 伸: 妊娠期の一酸化窒素欠乏が臍帯血管における血液線溶系因子 tPA の発現に及ぼす影響. 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.
- 6) 向井友花, 藤田修三, 乗鞍敏夫, 佐藤 伸: 実験的糖尿病ラットの動脈の NADPH オキシダーゼ発現に及ぼす新素材リグノフェノールの

影響. 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2011 年 2 月, 青森県立保健大学, 青森.

- 7) 佐藤 伸, 向井友花, 乗鞍 敏夫, 藤田 修三: 植物リグニン由来リグノフェノールの糖尿病モデルラットの血管障害に及ぼす影響. 第 81 回日本衛生学会, 2011 年 3 月, 東京 (東日本大震災のため開催中止)

14) 山田 真司

論文

山田真司 1, 駒田亜衣 2: 大学の授業における課題負担感と唾液アミラーゼ活性によるストレス計測値との関連について, 日本ヒューマンケア科学会誌, 3, 68-74, 2010.

1: 青森県立保健大学, 2: 三重短期大学

山田典子 1, 山田真司 1: 高校生の Dating violence の特性と課題, 母性衛生, 51, 311-318, 2010.

1: 青森県立保健大学

学会発表

山田真司 1, 藤井久美子 2, 中北なをみ 3, 落合加代 2, 別府由紀 2, 青百合恵 2, 飯田津喜美 4, 駒田亜衣 4: 支援レベル別の有効な保健指導に関する研究~三重県津市の特定健康結果より~, 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27 日-29 日, 東京国際フォーラム, 東京, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 254.

1: 青森県立保健大学, 2: 津市中央保健センター, 3: 津市役所保険年金課, 4: 三重短期大学

嵯峨井勝 1, 駒田亜衣 2, 山田真司 3: 糖尿病性腎症の罹患リスクは HbA1c と血圧の積とよく相関する, 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27 日-29 日, 東京国際フォーラム, 東京, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 242.

1: つくば健康生活研究所, 2: 三重短期大学, 3: 青森県立保健大学

駒田亜衣 1, 山田真司 2, 嵯峨井勝 3: 糖尿病性神経症と網膜症の罹患リスクは HbA1c とよく相関する, 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27 日-29 日, 東京国際フォーラム, 東京, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 242.

1: 三重短期大学, 2: 青森県立保健大学, 3: つくば

健康生活研究所

飯田津喜美 1, 駒田亜衣 1, 藤井久美子 2, 中北なをみ 3, 落合加代 2, 別府由紀 2, 青百合恵 2, 山田真司 4 : 三重県津市における特定健康調査結果の概要について (第 1 報), 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27 日-29 日, 東京国際フォーラム, 東京, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 231.

1 : 三重短期大学, 2 : 津市中央保健センター, 3 : 津市役所保険年金課, 4 : 青森県立保健大学

青百合恵 1, 藤井久美子 1, 中北なをみ 2, 落合加代 1, 別府由紀 1, 飯田津喜美 3, 駒田亜衣 3, 山田真司 4 : 三重県津市における特定健康調査結果の概要について (第 2 報), 第 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010 年 10 月 27 日-29 日, 東京国際フォーラム, 東京, 第 69 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 232.

1 : 津市中央保健センター, 2 : 津市役所保険年金課, 3 : 三重短期大学, 4 : 青森県立保健大学

山田典子 1, 山田真司 1, 新井山洋子 2, 長瀬比佐子 2, 反町吉秀 3, 川内規会 1, 富田恵 1 : Q 市住民の安全安心に関する意識 ~6 歳から 18 歳の保護者について~, 第 4 回日本セーフティプロモーション学会学術大会, 市民安心・安全フェスタ 2010in あつぎ, 2010 年 11 月 18 日-20 日, 厚木市文化会館, 厚木市.

1 : 青森県立保健大学, 2 : 十和田市健康福祉部, 3 : 上十三保健所

富田恵 1, 山田典子 1, 山田真司 1, 川内規会 1, リポウィツよし子 1, 新井山洋子 2, 長瀬比佐子 2, 反町吉秀 3 : 外傷予防の安全用具に関する保護者の意識, 2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会, 2010 年 2 月 22 日, 青森市.

1 : 青森県立保健大学, 2 : 十和田市健康福祉部, 3 : 上十三保健所

富田恵 1, 山田典子 1, 山田真司 1, 川内規会 1, 新井山洋子 2, 長瀬比佐子 2, 反町吉秀 3, リポウィツよし子 1 : 外傷予防に関する高齢者の意識—転倒、日常生活行動に関する調査より—, 第 15 回日本在宅ケア学会学術集会, 2011 年 3 月 20 日, 広島県三原市, 第 15 回日本在宅ケア学会学術集会講演集, 144.

※東日本大震災のため誌上発表のみとなった。

1 : 青森県立保健大学, 2 : 十和田市健康福祉部, 3 : 上十三保健所

15) 吉池 信男

a 学術論文 (原著)

- 1) 佐藤ななえ, 吉池信男: 小児用簡易咀嚼回数計を用いた測定方法の基礎的検討. 栄養学雑誌 2010; 68(3): 213-219
- 2) 早瀬仁美, 吉池信男: 「日本人の食事摂取基準(2010年版)」に基づく食事バランスガイドのサービング数設定方法の検討. 栄養学雑誌 2010;68(3): 193-200
- 3) 佐藤ななえ, 吉池信男: 実験食における咀嚼回数を指標とする小児の咀嚼行動に関する因子の検討. 栄養学雑誌 2010; 68(4): 253-262
- 4) 須藤紀子, 澤口真規子, 吉池信男: 災害時の栄養・食生活支援に関する協定についての全国調査. 日本公衆衛生学雑誌 2010; 57(8) 633-640
- 5) 土田直美, 磯部澄江, 渡邊修子, 石上和男, 由田克士, 吉池信男, 村山伸子: 新潟県中越大地震が食物入手状況及び摂取頻度に及ぼした影響—仮設住宅と一般被災住宅世帯の比較—. 日本栄養士会雑誌 2010; 53(4): 340-348
- 6) 須藤紀子, 澤口真規子, 吉池信男: 災害拠点病院の栄養・給食管理部門における新型インフルエンザ対策に関する全国調査. 栄養学雑誌 2010; 68(5): 328-334
- 7) 片山夕香, 吉池信男, 政安靜子, 平野孝則, 佐藤明子, 稲山貴代: 知的障害者施設成人入所者の身体計測値基準データ. 日本栄養士会雑誌 2011; 54(1), 25-35
- 8) Nakatani Y, Satoh T, Saito S, Watanabe M, Yoshiike N, Kumagai S, Sugita-Konishi Y : Simulation of deoxynivalenol intake from wheat consumption in Japan using the Monte Carlo method. Food Addit Contam Part A Chem Anal Control Expo Risk Assess. 2011 Feb 16:1-6. [Epub ahead of print]

b 総説

- 1) 須藤紀子, 澤口真規子, 吉池信男: ストレス負荷時の食事摂取量の変化と必要な栄養素—被災者への栄養・食生活支援のために—. 日本栄養士会雑誌 53(4): 349-355, 2010
- 2) 吉池信男: わが国の肥満の動向—国民健康・栄養調査の結果から—. 治療学 44(4): 378-381, 2010
- 3) 瀧本秀美, 吉池信男, 加藤則子: わが国における低出生体重児の増加とその要因—母子保健統計を用いた検討—. 医学のあゆみ 235(8): 817-821, 2010

- 4) 稲山貴代, 吉池信男: コホート研究から得られたメタボリックシンドロームに関する知見. 日本臨床 69(増 1); 88-92, 2011

c 論説など

- 1) 吉池信男: 生活習慣病予防対策と国民健康・栄養調査. 成人病と生活習慣病 40(5);517-521, 2010
- 2) 吉池信男: 食事バランスガイドと生活習慣病等の予防戦略. 総合健診 37(5); 514-516, 2010
- 3) 吉池信男: 管理栄養士課程における教育の現状と課題. 青森県立保健大学雑誌 10(2), 237-239, 2010
- 4) 吉池信男: 図説国民衛生の動向 2009, 厚生統計協会, 2010
- 5) 吉池信男 (監修): サブノート2010 「公衆衛生学」, メディックメディア, 2010

d 書籍

- 1) 吉池信男, 岩部万衣子: 日本人の食事摂取基準(2010年版)総論. 小児臨床栄養学. pp.22-28, 診断と治療社 2011

e. 研究班報告書

- 1) 吉池信男, 岩部万衣子: 生活習慣の地域差と環境要因の関連に関する研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(循環器疾患等生活習慣病対策総合研究事業)健康づくり支援環境の効果的な整備施策および政策目標の設定に関する研究報告書(研究代表者: 下光輝一)87-95, 2011
- 2) 吉池信男, 吉岡美子, 齋藤長徳, 熊谷貴子, 岩部万衣子, 川崎徹大: 小児期における食事摂取基準の活用に関する検討. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金「日本人の食事摂取基準の改定と活用に資する総合的研究」(研究代表者: 徳留信寛) 25-30, 2011
- 3) 吉池信男, 横山徹爾, 川崎徹大: 都道府県健康・栄養モニタリングデータの蓄積と活用システム. 平成 22 年度厚生労働科学研究(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)健康増進施策推進・評価のための健康・栄養モニタリングシステムの構築報告書(研究代表者: 吉池信男). 49-56, 2011
- 4) 吉池信男, 佐藤ななえ: 幼児期における咀嚼行動に関わる食育の効果指標の検討～咀嚼行動と関連する要因の検討から. 平成 22 年度厚生労働科

学研究(子ども家庭総合研究事業)胎児期から乳幼児期を通じた発育・食生活支援プログラムの開発と応用に関する研究報告書(研究代表者: 瀧本秀美). 40-53, 2011.

- 5) 吉池信男, 安川澄子: 地域母子保健における妊娠から子育て期の母親への「食育」プログラム. 平成 22 年度厚生労働科学研究(子ども家庭総合研究事業)胎児期から乳幼児期を通じた発育・食生活支援プログラムの開発と応用に関する研究報告書(研究代表者: 瀧本秀美). 54-74, 2011.
- 6) 吉池信男, 弘津公子, 合田敏尚, 早渕仁美, 清水亮, 草間かおる: 大学と介護保険施設との連携による栄養ケアの質の向上と人材育成システムの構築. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(長寿科学総合研究事業)チームによる効果的な栄養ケア・マネジメントの標準化をめざした総合的研究(研究代表者: 吉池信男). 118-138, 2011
- 7) 吉池信男, 山田友紀子: 食品中残留農薬の急性暴露評価とデータベースの整備に関する研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究(食品の安心・安全確保推進研究事業)食品中残留農薬等の急性暴露評価と汚染実態把握に関する研究報告書(研究代表者: 米谷民雄)21-44, 2011
- 8) 吉池信男, 草間かおる, 市川祐子, 高橋みゆき: 「地域支援事業実施要項改正」に伴う事業実施状況の変化に関する全国調査. 平成 22 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)通所事業所における栄養改善サービスのニーズ及びその対応策のあり方に関する調査研究事業報告書(日本栄養士会). 153-182, 2011
- 9) 吉池信男, 草間かおる, 市川祐子, 高橋みゆき: 「栄養改善サービス」の地域モニタリングに関する研究. 平成 22 年度厚生労働省老人保健事業推進等補助金(老人保健健康増進等事業分)通所事業所における栄養改善サービスのニーズ及びその対応策のあり方に関する調査研究事業報告書(日本栄養士会). 183-229, 2011
- 10) 須藤紀子, 吉池信男, 澤口眞規子: 災害時の栄養・食生活支援に対する市町村の準備状況と保健所からの技術的支援に関する全国調査. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業)災害・重大健康危機の発生時・発生後の対応対策及び健康被害抑止策に

関する研究報告書(研究代表者:尾崎米厚).
189-198, 2011

- 11) 伊達ちぐさ, 中坊幸弘, 吉池信男, 石田裕美, 小松龍史, 奈良英雄, 永井成美, 赤松利恵: 保健・医療の栄養管理サービスの評価に基づく専門的人材育成のシステム構築に関する研究. 平成 22 年度厚生労働科学研究(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業) 保健・医療の栄養管理サービスの評価に基づく専門的人材育成のシステム構築に関する研究報告書(研究代表者:伊達ちぐさ). 1-54, 2011
- 12) 須藤紀子, 吉池信男, 澤口眞規子: 災害時の食生活支援のための管理栄養士養成施設における卒前教育と現場の連携のあり方に関するグループインタビュー. 平成 22 年度厚生労働科学研究費補助金(健康安全・危機管理対策総合研究事業) 地域健康安全を推進するための人材養成・確保のあり方に関する研究報告書(研究代表者: 曾根智史). 37-52, 2011
- 13) 堤ちはる, 三橋扶佐子, 吉池信男, 梶 忍, 太田百合子, 成田雅美, 安藤朗子: 幼児期と保護者の食生活・栄養に関する調査研究/行政栄養士による幼児と保護者への食生活支援に関する調査研究. 平成 22 年度財団法人こども未来財団 児童関連サービス調査研究等事業 幼児期の食の指針策定のための枠組みに関する調査研究(研究代表者: 堤ちはる). 9-102, 2011.

f. 学会発表(招待講演, シンポジウム)

- 1) 吉池信男: 「栄養問題は国境を超える」～日本の経験と Double Burden of Malnutrition～. 第36回国際小児保健研究会, 2010.4, 盛岡市
- 2) Yoshiike N: Policies and programs for childhood obesity prevention in Japan. International Symposium on Childhood Obesity Prevention: Policies, Strategies, and Programs. Korea Health Industry Development Institute, 2010.06.08, Seoul
- 3) Yoshiike N: Towards more integrated researches on nutrition in Asian countries. The 4th IUNS Workshop on Capacity and Leadership Development in Nutritional Sciences; IUNS Committee of the Science Council of Japan, 2011.9, Tokyo
- 4) Yoshiike N: International Symposium on Prevention of Obesity and Chronic diseases: from Policy to Tools for

risk assessment and management. Korea Health Industry Development Institute, 2010.12, Seoul

5) 吉池信男: 日本人の栄養, 運動, 体格の変遷と心血管疾患への影響. 第 21 回 日本疫学会学術総会, 2011.1, 札幌

g. 学会発表(一般演題)

- 1) 中神朋子, 西村理明, 田嶋尚子, 吉池信男: HbA1c と脳卒中, 冠動脈疾患死亡リスクとの関係. 第 53 回日本糖尿病学会. 2010.05, 岡山
- 2) 瀧本 秀美, 林芙美, 草間かおる, 吉池信男, 宮坂尚幸, 久保田俊郎: 妊娠末期における葉酸サプリメントの使用と妊娠中・産後の血清葉酸, 血漿総ホモシステイン値の変化. 日本栄養食糧学会, 2010.05.22, 徳島
- 3) 岩部万衣子, 吉池信男: 学童の野菜摂取行動に影響を及ぼす因子に関わる指標と妥当性の検討. 第 57 回 日本栄養改善学会学術集会, 2010.09, 坂戸市
- 4) 片山夕香, 吉池信男, 政安静子, 平野孝則, 佐藤明子, 稲山貴代: 知的障害者施設成人入所者の身体計測値基準データ. 第 57 回 日本栄養改善学会学術集会, 2010.09, 坂戸市
- 5) 平野孝則, 片山夕香, 吉池信男, 政安静子, 佐藤明子, 稲山貴代: 身体障害者施設成人入所者の身体計測値基準データ. 第 57 回 日本栄養改善学会学術集会, 2010.09, 坂戸市
- 6) 須藤紀子, 澤口眞規子, 吉池信男: 全国の災害拠点病院の栄養・給食管理部門における新型インフルエンザ対策に関する実態調査. 第 57 回 日本栄養改善学会学術集会, 2010.09, 坂戸市
- 7) 佐藤ななえ, 吉池信男: 小児用簡易咀嚼回数計を用いた測定方法の基礎的検討, 日本ヒューマンケア科学学会第3回学術集会, 2010.10, 青森市
- 8) 三橋扶佐子, 堤ちはる, 横山徹爾, 吉池信男: 乳児院における食事摂取量ならび栄養管理に関する実態調査. 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010.10, 東京
- 9) 横道洋司, 横山徹爾, 高橋邦彦, 丹後俊 郎, 吉池信男, 山縣然太郎: 集団における栄養学的リスク者割合の新しい推定法. 69 回日本公衆衛生学会総会, 2010.10, 東京
- 10) 西信雄, 野末みほ, 猿倉薫子, 中出麻紀子, 荒井祐介, 由田克士, 吉池信男: 市町村の人口規模別にみた国民健康・栄養調査の身体状況調査結果. 第 21 回 日本疫学会学術総会, 2011.1, 札幌

1) 川内 規会

報告書

・山田典子、山田真司、川内規会、富田恵、リボウィッツよし子: Safety Promotion による社会支援システムの構築過程分析、青森県立保健大学健康科学特別研究報告書、1-170, 2010.

学会発表

・川内規会: 医療通訳の社会的背景と課題—在日外国人と医療従事者をつなぐ働きとして、日本ヒューマンケア心理学会学術集会第 12 回大会、2010 年 7 月 18 日、東京都

・川内規会: 日本における医療通訳の現状と課題—外国人診療に関する調査から、日本コミュニケーション学会第 17 回九州支部大会、2010 年 10 月 2 日、北九州市

・川内規会: 在日外国人が抱える医療現場における使用言語の課題と将来的展望、第 25 回(2010 年)異文化コミュニケーション学会、2010 年 10 月 31 日、東京都

・川内規会: 医療通訳システムの問題点—SP 活動を通じた医療従事者との協働の視点から、2010 年度日本コミュニケーション学会東北支部研究会、2011 年 3 月 27 日、仙台メディアテーク、仙台市 ※東日本大震災のため日程変更

・山田典子¹、山田真司¹、新井山洋子²、長瀬比佐子²、反町吉秀³、川内規会¹、富田恵¹: Q 市住民の安全安心に関する意識 ~6 歳から 18 歳の保護者について~, 第 4 回日本セーフティプロモーション学会学術大会、市民安心・安全フェスタ 2010in あつぎ、2010 年 11 月 18 日-20 日、厚木市文化会館、厚木市. ¹: 青森県立保健大学, ²: 十和田市健康福祉部, ³: 上十三保健所

・富田恵¹、山田典子¹、山田真司¹、川内規会¹、リボウィッツよし子¹、新井山洋子²、長瀬比佐子²、反町吉秀³: 外傷予防の安全用具に関する保護者の意識、2010 年度青森県保健医療福祉研究発表会、2010 年 2 月 22 日、青森市. ¹: 青森県立保健大学, ²: 十和田市健康福祉部, ³: 上十三保健所

・富田恵、山田典子、山田真司、川内規会、新山洋子、長瀬比佐子、反町吉秀、リボウィッツよし子: 外傷予防に関する高齢者の意識—転倒、日常生活行動に関する調査より—、第 15 回日本在宅ケア学会学術集会、2011 年 3 月 19 日、20

日、広島県三原市、第 15 回日本在宅ケア学会学術集会講演集、144. ※東日本大震災のため誌上発表に変更 ¹: 青森県立保健大学, ²: 十和田市健康福祉部, ³: 上十三保健所

社会貢献

平成22年度青森県手話通訳士養成研修講師、青森県聴覚障害者情報センター、対象: 手話通訳者、2010/4/18

平成22年度看護師新人研修講師、県民福祉プラザ、対象: 県内看護師、2010/6/24

平成22年度青森県手話通訳者養成講座講師、青森県聴覚障害者情報センター、対象: 手話通訳者養成講座基本課程修了者および手話通訳関係者、2010/7/4

コミュニケーションスキル研修会講師、八戸市立市民病院、対象: プリセプター看護師および指導者、2010/7/31

コミュニケーションスキル研修会講師、八戸市立市民病院、対象: 新人看護師、2010/9/4

平成22年度むつ市生活・介護支援サポーター養成研修講師、まさかりプラザ、対象: 一般県民及び福祉関係者(医療職、民生委員、保健協力員、介護支援者、一般)、2010/10/22

社会福祉法人桜木会職員研修会講師、むつ市下北観光物産館、対象: 福祉関係者、病院関係者および桜木会職員、2010/10/22

青森県学校栄養士協議会研修会講師、藤崎町文化センター、対象: 栄養教諭・学校栄養職員、栄養士会関係者等、2010/11/10

社会福祉法人桜木会職員研修会講師、むつ市中央公民館講堂、対象: 社会福祉法人桜木会職員

2011/3/8

青森県難聴者・中途失聴者協会設立10周年記念講演講師、青森グランドホテル、対象: 一般県民、2011/3/13

*震災のため4月17日へ延期

外部委員

実用英語技能検定試験面接員、2011年7月11日、11月14日、2月20日

学外からの研究費、研究助成金などの受け入れ状況

看護学科

千葉 敦子

1. 文部科学省科学研究補助金基盤研究C, 特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発, 代表者: 千葉敦子, 共同研究者: 山本春江, 藤田修三, 森永八江, 3年目 1,040,000 円, (3年間総額 3,900,000 円)

福井 幸子

【研究課題】

訪問看護における標準予防策の検討—感染に関するインシデント・アクシデントから—

【研究代表者】

福井幸子

【交付金額】

650 千円 (平成 22 年度分)

【研究期間】

平成 20 年度～22 年度

理学療法学科

渡部 一郎

文部省科学研究補助金 B

四肢局所運動・物理療法の交感神経機能に与える影響」代表研究者渡部一郎、共同研究者勘林秀行、長門五城、須郷麻衣子、3年目 ¥2,860,000 (3年間総計 ¥15,990,000)

産学共同研究費;ユニバース工業 (H22.7), 渡部一郎 (青森県立保健大学), ¥500,000

尾崎 勇

文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C)

【研究課題】

電気磁気生理学的手法による感覚皮質応答に関する研究

【主任研究者】

尾崎 勇

【交付金額】

900 千円 (平成 22 年度分)

【研究期間】

平成 20 年度～22 年度

社会福祉学科

坂下 智恵

文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 (C)

【研究課題】小地域ネットワークを活用した地域介入による自殺予防プログラムの開発と効果評価

【主任研究者】坂下智恵

【分担研究者】大山博史、千葉敦子 (青森県立保健大学)

【交付金】1,560 千円 (平成 22 年度分)

【研究期間】平成 20 年度～平成 22 年度

栄養学科

廣森 直子

平成 22 年度科学研究費補助金 (基盤 C)

【研究課題】知的障害者の生涯学習にかかわる地域ネットワークづくりに関する研究

【研究代表者】 廣森直子

【研究分担者】 渡邊洋一, 西村愛

【研究協力者】 山内修, 石岡れい子, 加藤和仁, 工藤睦美

【交付額】 910,000 円 (平成 22 年度)

【研究期間】 平成 20 年度～平成 22 年度

佐藤 伸

1) 平成 22 年度文部科学省科学研究費補助金 (基盤研究 (C))

【研究課題】 胎生期低栄養に起因する血圧上昇での活性酸素産生酵素の分子機構と食品成分による改善

【研究者】 佐藤 伸 (代表), 向井 友花, 井澤 弘美

【補助金】 500 千円 (22 年度分)

【研究期間】 平成 20～22 年度

2) 研究成果最適展開支援事業 A-STEP
フィージビリティスタディステージ探索タイプ

【研究課題】 脂質合成転写因子を標的とした新規リグニン由来物質の有効性評価

【研究者】 佐藤 伸 (代表), 向井 友花, 乗鞍 敏夫, 藤田 修三

【補助金】 1,300 千円

【研究期間】 平成 22 年 10 月～23 年 3 月

奨学交付金の受け入れ状況

理学療法学科

三浦 雅史

研究課題名：高齢者の介護予防に関する研究

研究者名と所属：三浦雅史（理学療法学科）

交付金額：10万円

社 会 活 動

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・看護学科	内城 絵美	地域交流	第10回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	交流会担当	青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成22年7月30日～8月1日	星と森のロマントピアそうま	小児糖尿病患者とその家族	
健康科学部・看護学科	内城 絵美	地域交流	第9回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	交流会担当、糖尿病教室講師（小学4年生以下担当）	青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成21年7月24日～7月26日	星と森のロマントピアそうま	小児糖尿病患者とその家族	
健康科学部・看護学科	内城 絵美	地域交流	第8回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	糖尿病教室講師（小学）	青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成20年7月25日～7月27日	大鰐町（おおわに山荘）	小児糖尿病患者とその家族	
健康科学部・看護学科	内城 絵美	その他	平成22年度特別支援学校における医療的ケア一般研修（演習）	講師（演習の一部担当）	青森県教育委員会	平成22年8月18日（水）～19日（木）	平成22年8月18日（水）：青森県立浪岡養護学校・平成22年8月19日（木）：青森県立八戸第一養護学校	（1）医療的ケア実施校に勤務する新任者・（2）医療的ケア実施校に勤務する者のうち一般研修終了5年目の者・（3）特別支援学校に勤務する教員のうち受講を	
健康科学部・看護学科	内城 絵美	その他	平成21年度特別支援学校における医療的ケア一般研修（演習）	講師（演習の一部担当）	青森県教育委員会	平成21年8月18、19日	8月18日：青森県立青森第一養護学校・8月19日：青森県立八戸第一養護学校	（1）医療的ケア実施校に勤務する新任者・（2）医療的ケア実施校に勤務する者のうち一般研修終了5年目の者・（3）特別支援学校に勤務する教員のうち受講を	
健康科学部・看護学科	伊藤 治幸	地域交流	地域で生活する精神障がい者を対象とした健康（栄養）教室	講師					
健康科学部・看護学科	大崎 瑞恵	人材育成	平成23年度 介護員養成研修2級課程	講師	青森市社会福祉協議会	平成23年9月12日	青森市福祉増進センター	介護員養成研修2級課程受講者	
健康科学部・看護学科	千葉 敦子	人材育成	2級ホームヘルパー養成講座	「在宅看護の基礎知識」講	社会福祉法人 楽晴会TS学院	年4回、1回3時間	三沢市楽晴会学習センター		
健康科学部・看護学科	千葉 敦子	人材育成	八戸市 元気高齢者大会	基調講演講師「目指そう元氣アップ高齢者～継	八戸市	年1回	八戸市総合福祉会館		
健康科学部・看護学科	千葉 敦子	人材育成	自殺予防研修会	講師	平川市	年3回、1回1時間	平川市地区集会所		
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	看護研究基礎研修	講師	岩手県医療局	5月14～16日	岩手県立中央病院	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度全レベル看護研究ステップⅠ研修会	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年6月9日～10日・平成20年7月11日～12日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度レベルⅠ新人教育研修会	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年6月19日～20日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度全レベル看護研究ステップⅡ 研修会	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年8月23日・平成20年9月13日・平成20年10月25日・平成21年1月10日	青森県立保健大学	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度全レベル看護研究ステップⅡ 発表会	講師	社団法人青森県看護協会	平成21年3月7日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	看護研究指導者養成研修	講師	岩手県医療局	平成20年8月18日～19日・平成20年9月23日～24日・平成20年11月15日～16日・平成21年1月24日～25日・平成21年2月14日～15日	ぬくもりの里NUC・いわて県民情報交流センター（アイーナ）	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	精神看護保健 講義	非常勤講師	岩手県医療局	平成20年8月21日・平成20年8月25日	岩手県立二戸高等看護学院	看護学生	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	「看護研究」研修会	講師	社団法人岩手県看護協会	平成20年8月28日～29日・平成20年9月4日～5日	岩手県看護研修センター	看護師	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	平成20年度訪問看護師養成講習会ステップ1	講師	社団法人青森県看護協会	平成20年9月18日	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	人材育成	「看護研究発表に対する考察」研修会	講師	公立金木病院	平成20年11月21日	公立金木病院	看護師	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	その他	平成20年度第1回青森県精神医療審査会	審査委員	青森県立精神保健福祉センター	平成20年4月18日	ホテルJALシティ青森	青森県精神医療審査会委員	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	その他	平成20年度第7回青森県精神医療審査会	審査委員	青森県精神保健福祉センター	平成20年8月15日	ホテルJALシティ青森	青森県精神医療審査会委員	
健康科学部・看護学科	藤井 博英	その他	平成20年度第13回青森県精神医療審査会	審査委員	青森県精神保健福祉センター	平成20年12月19日	ホテルJALシティ青森	青森県精神医療審査会委員	
健康科学部・看護学科	藤本 真記子	人材育成	平成16年度卒後3年目看護師研修会	講師	青森赤十字病院	平成16年8月10日	八戸市	青森赤十字病院看護職員	
健康科学部・看護学科	藤田 あけみ	人材育成	青森ストーリーナビリテーション講習会、在宅呼吸管理看護、青森県立青森東校等学校出張講義、公立七戸病院看護研究、「通信制2年課程」レポート添削	講師	青森骨盤外科研究会ストーリーナビリテーション部門、青森県看護協会、八戸看護専門学校、公立七戸病院、日本オストミー協会青森県支部	6月28日～29日、12月13日～14日、5月10日、2月21日	青森県立保健大学、県民福祉プラザ、公立七戸病院	保健師、助産師、看護師	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	平成22年度介護スキルアップ研修（清潔の援助と感染予防）	講師	社会福祉協議会	平成22年8月24日、9月1日	青森市	看護師、ヘルパー、ケアマネジャー	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	平成22年度保健師助産師看護師実習指導者講習会（教育課程）	講師	青森県看護協会	平成22年8月27日、8月28日	青森市	実習指導者	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	平成22年度看護研究（実践編）	講師	青森県看護協会	平成22年8月7日、9月4日、10月23日、12月11日、平成23年1月	青森市	看護師	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	平成22年度社会福祉施設看護職員研修（社会福祉施設における感染予防）	講師	青森県立保健大学地域連携国際センター	平成22年9月16日	青森市	看護職員	
健康科学部・看護学科	福井 幸子	人材育成	八戸看護専門学校第2科看護学科添削指導（看護過程）	添削指導員	八戸看護専門学校				
健康科学部・看護学科	福井 幸子	外部委員・学会活動	青森県看護協会教育委員会	教育委員	青森県看護協会				
健康科学部・看護学科	細川 満子	生涯学習	青森県立八戸南高等学校出張講義	講師	青森県立八戸南高等学校	平成22年6月26日	青森県立八戸南高等学校	高校生	
健康科学部・看護学科	細川 満子	生涯学習	平成22年度青森県難病団体等連絡協議会	講師	青森県難病団体等連絡協議会	平成22年10月16日	岩木憩の家	難病患者および家族、関係者	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	第10回ケアマネジメントフォーラムin青森	シンポジスト	青森県立保健大学	平成22年11月12日	青森県立保健大学	保健医療福祉専門職、学生、教員	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	平成22年度社会福祉主事資格認定講習会	講師	青森県立保健大学	平成22年10月4日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉施設職員	
健康科学部・看護学科	細川 満子	人材育成	「三戸町徘徊高齢者ネットワークづくり」研修会	講師、助言者	三戸町	平成23年3月10日	三戸町保健センター	三戸町住民、保健・福祉専門職	
健康科学部・看護学科	細川 満子	産官学連携	むつ介護者家族のつどい	企画・運営	青森県立保健大学下北支援プロジェクト	平成22年4月～平成23年3月	むつ市立図書館	下北在住の介護者、家族および専門職	
健康科学部・看護学科	細川 満子	外部委員・学会活動	あおり協立病院医療倫理委員会	委員	あおり協立病院	平成22年4月～平成23年3月31日	あおり協立病院	あおり協立病院医療専門職・事務系職員・組合員、弁護士	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	救急看護認定看護師教育課程－ヘルスアセスメント	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター	2010年7月9日・12・13・14日 計13.5時間	青森県立保健大学	救急看護認定看護師教育課程受講者	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	「新人教育」フィジカルアセスメント	講師	岩手県看護協会	2010年8月9日 5.5時間	岩手県看護研修センター	看護師	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	看護研究研修会	講師	八戸赤十字病院	2010年8月7日 5時間	八戸赤十字病院	看護師	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	看護職員スキルアップ研修会「フィジカルアセスメントの教授	講師	岩手県看護協会	2010年8月24日 5.5時間	岩手県看護研修センター	看護職員等学校養成所看護教員	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	平成22年度認定看護管理者ファーストレベル教育課程研修会－看護情報論－	講師	青森県看護協会	2010年9月22日 6時間	県民福祉プラザ	認定看護管理者ファーストレベル受講者	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	平成22年度「訪問看護eラーニング」を利用した訪問看護研修ステップ1「フィジカルアセスメント」	講師	青森県看護協会	2010年9月9日・10日 計12時間	青森県立保健大学	訪問看護師	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	第3回青森県訪問看護協議会三八支部研修会「今すぐ使えるフィジカルアセスメント-呼吸器・循環」	講師	青森県訪問看護協議会三八支部	2010年9月25日 3時間	千葉学園高等学校	訪問看護師	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	看護研究発表の講評	講師	十和田市立中央病院	2010年12月15日 1.5時間	十和田市立中央病院	看護師	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	看護研究発表会の講評	講師	青森県看護協会三八支部	2011年2月26日 3時間	八戸市総合福祉会館	看護師、看護学生	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	教育講演フィジカルアセスメント応用編	講師	医療法人平成会八戸平和病院	2011年3月5日 2時間	八戸平和病院	看護師	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	人材育成	看護研究発表会講評	講師	医療法人平成会八戸平和病院	2011年3月5日 3時間	八戸平和病院	看護師	
健康科学部・看護学科	角濱 春美	外部委員・学会活動	日本看護技術学会	学会員・査読委員					
健康科学部・看護学科	角濱 春美	外部委員・学会活動	日本看護研究学会	学会員、査読委員					
健康科学部・看護学科	角濱 春美	外部委員・学会活動	日本看護科学学会	社員（代議員）					
健康科学部・看護学科	角濱 春美	外部委員・学会活動	聖路加看護学会	学会員					
健康科学部・看護学科	角濱 春美	外部委員・学会活動	日本睡眠学会	学会員					
健康科学部・看護学科	角濱 春美	外部委員・学会活動	日本看護学教育学会	学会員					
健康科学部・看護学科	角濱 春美	外部委員・学会活動	日本ヒューマンケア科学学会	理事・編集委員会委員長					

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・看護学科	木村 恵美子	人材育成	リンパ浮腫ケア	講師・デモンストレーター、実践指導	H22年度・①「微笑み患者会」・①種類（講師）・②開催回数 1回1日2時間・③開催場所 弘前観光館（弘前図書館）・④内容（リンパ浮腫患者のセルフケア）・2.『男女共同参画 講演会』・①種類（講師）・②開催回数、1回1日2時間・③開催場所 アウガ5F・④内容（リンパ浮腫の概要、ケア方法）・3.『厚労省：リンパ浮腫研修会』・①種類（講師、研修会、組織支援の3役）・②開催回数、2回3日間ずつ、担当12時間・③開催場所（日本リハビリテーション専門学校）・④内容（緩和におけるCDP）・4.『日本がん看護学会 リンパ浮腫研修会』・①種類（講師、研修会、組織支援、委員の4役）・②開催回数、1回6日間、担当8時間・③開催場所：国立がんセンター中央病院・④内容（複合物理療法の概要、方法、手順）・5.『協立病院内勉強会』・①種類（研修会）・②開催回数、1回1日、2時間・③開催場所・・・協立病院・④内容（リンパ浮腫ケアの実際）・6.『野辺地病院内研修会』・①種類（研修会）・②開催回数、2回2日間、6時間・③開催場所・・・野辺地病院・④内容（臨床におけるセルフケア指導やリンパ浮腫ケアの概要）・7.『西北地区 看護協会勉強会』・①種類（講師）・②開催回数、2回2日間、6時間・③開催場所 五所川原職業訓練センター・④内容（看護過程の基礎）・8.『リンパ浮腫ケア』	上記参照	上記参照	リンパ浮腫患者・医師・看護師・薬剤師・音楽療法士など	
健康科学部・看護学科	リポウィッツ よし子	生涯学習	ペンシルバニア大学コッター教授講演「高齢者ケア：米国の抑制・痴呆への取り組み」	企画・実施 講師	青森高齢者研究会（国際科共催）	7月24日	青森県立保健大学	青森県の病院・施設・在宅ケアに従事している看護師約70名	
健康科学部・看護学科	富田 恵	生涯学習	平成21年度介護支援専門員受験対策講座（医療分野）	講師	青森県社会福祉士会	2009年8月16日	青森市	介護支援専門員試験を受験する社会福祉・介護福祉士	約100名
健康科学部・看護学科	三浦 博美	人材育成	平成16年度訪問介護員養成研修2級課程講習会「基本的介護技術一視覚障害者の歩行介護」「基本的介護技術一車椅子への移譲等の介護、車椅子等での移動の介護」	講師	青森県立母子福祉センター	2004/8/19	青森市、青森県立母子福祉センター	青森県内 訪問介護員養成研修2級課程講習会	
健康科学部・看護学科	村上 眞須美	人材育成	認定看護管理者教育課程 ファーストレベル	認定看護管理者教育課程ファーストレベル運営委員	青森県看護協会				
健康科学部・看護学科	村上 眞須美	人材育成	認定看護管理者教育課程サードレベル	認定看護管理者教育課程サードレベル担当	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	平成22年6月16日～平成22年9月10日			

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・看護学科	村上 眞須美	人材育成	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	認定看護管理者教育課程セカンドレベル担当	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	平成23年6月16日～平成23年9月2日			
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	人材育成	青森県看護協会主催「看護研究(実践編)」	講師	青森県看護協会	2011年8月、9月、10月、11月、2012年1月	青森県民福祉プラザ	看護師・助産師・保健師	
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	人材育成	「保健師助産師看護師実習指導者講習会」の実習指導の評価	講師	青森県看護協会	2011年9月	青森県民福祉プラザ	看護師・助産師・保健師	
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	人材育成	平成23年度採用3年目者看護研究計画書検討会	講師	青森県立中央病院	2011年11月	青森県立中央病院	採用3年目の看護師・助産師	
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	人材育成	岩手医科大学附属病院高度看護研修センター認定看護師教育課程	教員会委員	岩手医科大学附属病院高度看護研修センター	2011年11月	岩手医科大学附属病院高度看護研修センター	看護師	
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	外部委員・学会活動	日本ヒューマンケア科学学会編集委員会	編集委員	日本ヒューマンケア科学学会				
健康科学部・看護学科	鳴井 ひろみ	外部委員・学会活動	日本看護科学学会	専任査読委員	日本看護科学学会				
健康科学部・看護学科	大関 信子	人材育成	1.看護大学等進路説明会 相談員 ・2.模擬講義 講師 青森県立青森東高等学校・青森県立戸山高 校・青森県立弘前南高校・3.高大 連携事業「グローバル社会と文 化」・4.福井県立大学「国際看 護学」 講師 福井県立大学	講師					
健康科学部・看護学科	佐藤 愛	その他	あおもり思春期研究会	事務局	一般市民、医療関係者、教育関係者等を対象に、年2回の市民公開講座・例会の開催、電話相談、ピアカウンセラー養成とその活動支援を行って				
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	生涯学習	第29回飛び出せ！オープンカレッジinあおもり	講師	発達障害研究会	2010年6月13日	青森県立保健大学	知的障がい者	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	平成22年度救急看護認定看護師教育課程	講師	青森県立保健大学地域連携・国際センター	2010年7月22日	青森県立保健大学	救急看護認定看護師教育課程受講生	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	平成22年度保健師助産師看護師実習指導者講習会	講師	社団法人青森県看護協会	2010年10月9日	県民福祉プラザ	保健師、助産師、看護師	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	平成22年度介護員養成研修2級課程	講師	社会福祉法人青森市社会福祉協議会	2010年9月2日・14日	青森市福祉増進センター「しあわせプラザ」	介護員養成研修2級課程受講者	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	若年性認知症啓発フォーラム	パネリスト	財団法人こころすこやか財団	2010年9月8日	東奥日報ホール(八戸市)	病院・福祉施設職員	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	人材育成	日本認知症ケア学会東北地域部会事例検討会	スーパーバイザー	日本認知症ケア学会東北地区部会	2010年7月3日	八戸市 ユートリー	日本認知症ケア学会会員、認知症ケア専門士(東北地域)	
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	平成22年度認知症疾患医療連携協議会	構成員	青森県立つくしが丘病院認知症疾患医療センター	2010年10月1日、2011年2月4日	ホテル青森		
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	平成22年度地域密着型サービスの外部評価審査委員会	委員長	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	2011年3月10日	県民福祉プラザ		
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	八戸看護専門学校通信制2年課程添削指導員連絡会議	添削指導員	八戸看護専門学校	2011年2月10日	八戸市 ユートリー		
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	第12回アルツハイマーフォーラムIN青森世話人会	世話人	アルツハイマーフォーラムIN青森・エーザイ株式会社・ファイザー	2010年5月24日	ホテル青森		
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	日本老年看護学会	評議員					
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	日本ヒューマンケア科学学会	評議員					
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	外部委員・学会活動	日本認知症ケア学会	査読委員					
健康科学部・看護学科	吹田 夕起子	その他	第14回青森高齢者ケア研究会	世話人(事務)	青森高齢者ケア研究会	2011年1月29日	青森市文化会館	高齢者ケア提供施設の看護・介護職員等	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	人材育成	認定看護管理者教育課程サードレベル	講師・教育担当者	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	2010年6月16日～9月10日	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	認定看護管理者教育課程サードレベル受講者	看護管理者教育課程セカンドレベル修了者等
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	人材育成	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	講師	①青森県立保健大学 地域連携・国際センター・②北海道看護協会・③秋田県看護協会・④山形県看護協会	①2011年 6月16日～ 9月12日 ・②2011年 8月24日 ・③2011年 9月28日 ・④2011年 9月13日	①青森県立保健大学・②北海道看護協会・③秋田県看護協会・④山形県看護協会	認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講者	看護管理者教育課程ファーストレベル修了者等
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	人材育成	認定看護管理者教育課程ファーストレベル	講師	①青森県看護協会・②岩手県看護協会・③北海道看護協会	①2011年 8月11日 ・②2011年10月26日 ・③2011年11月16日、2012年 2月 6日	①青森県看護協会・②岩手県看護協会・③北海道看護協会	認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講者	看護師等
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	人材育成	北海道ブロック赤十字医療施設看護師長研修	講師	赤十字医療施設北海道ブロック看護部長会	2011年12月 8-9日・2010年11月18-19日・2009年11月12-13日	日本赤十字社北海道支部・かでの2・7	北海道ブロック赤十字医療施設看護師長	北海道ブロック赤十字医療施設看護師長
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	人材育成	青森労災病院看護研究支援	研究支援	青森労災病院	2011年度 随時（5-6回程度）・2010年度 随時（5-6回程度）・2009年度 随時（5-6回程度）	青森労災病院および青森県立保健大学	看護師等	施設内看護師等
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	生涯学習	大学-地域連携セミナー	講師	青森県総合社会教育センター	2010年11月26日	七戸南公民館	七戸町民等	七戸町および近隣住民
健康科学部・看護学科	鄭 佳紅	外部委員・学会活動	日本看護管理学会 / 日本ヒューマンケア科学学会	評議員・編集委員 / 理事・評議					
健康科学部・看護学科	戸沼由紀	その他	自殺予防プロジェクト	ストレスとうつ病予防の健	平成22年度～平成23年度	各地域公民館等	地域住民		
健康科学部・看護学科	戸沼由紀	その他	いわてGINGANET-プロジェクト 学生ボランティア	被災地支援ボランティア	平成23年9月（3日間）				
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	デーティングバイオレンス予防中学生プログラム 「ハートフルセミナー」	プログラム開発、評価、および実施	主催：青森県こどもみらい課・共催：NPO法人ウィメンズネット青森	平成20年7月16日、11月16日、11月14日、11月17日、11月19日いずれもPM	7月16日鯉ヶ沢第1中学校、11月16日弘前市立津軽中学校、11月14日脇野沢中学校、11月17日十和田第1中学校、11月19日弘前市立裾野中学	中学生およびPTA	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	平成20年度出張講義、「大学紹介および現代の医療問題」	講師・大学紹介	青森県立三沢高等学校	2008年6月28日	青森県立三沢高等学校	高校生	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	海外研修支援事業 米国ヴァリノバ大学での本学大学院生の研修	企画、情報提供、連絡	地域連携・国際センター 国際科看護学科委員	2009年3月	米国ペンシルバニア州ヴァリノバ大学、St. Christopher's Hospital for Children. "The Annex" Nurse managed health center. Bryn Mawr Hospital. Delaware County Memorial Hospital. Paoli Hospital. Children's Hospital of Philadelphia. 等	クリティカル看護学領域2名、小児家族看護学領域1名	本学大学院生

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	法看護学セミナー	企画、セミナー講師、司会、運営、評価	2007年10月6日より同年10月30日	1回目森隆志青森地方検察庁検事（講師）で「司法現場から支援についての提言」、・2回目「デートDVの早期発見と対応」、・3回目米山奈奈子秋田大学医学部准教授「米国メヨークリニックにおけるフォレンジックナーシングの実践より」・いずれも青	看護職、DV支援者、福祉職		
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	十和田市セーフコミュニティ推進事業「世帯調査から見た十和田市の外傷発生の特徴」	調査員・講師	十和田市	平成21年1月23日	十和田市保健センター1階ホール	外傷世帯調査員および世帯調査の協力者等	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	平成20年度青森市人権教育・学習推進モデル講座「ふれあい 解けあい 認めあい」	プログラム開発および3回目	NPO青森推進会議・青森市生涯学習課	8月9日、9月13日、10月4日	青森市八甲田丸	高校生～一般	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	一歩すすんだ看護現任研修をめざして～法看護学のスキルから観察力・判断力・コミュニケーション能力を高める～	企画、実施、評価、1回目と3回目の講師、2回目と4回目の司	平成20年度地域連携・国際センター研修科事業	2008年11月8日午前、12月13日午前、2009年1月10日午前・午後各3時間	十和田市立中央病院	看護職・4回目の講座は公開講座とし、医療従事者、救急救命士、警察官、教育者、福祉職が参加	
健康科学部・看護学科	山田 典子	人材育成	平成17年度青森県地域リハビリテーション調整者養成研修会	「地域リハビリテーションの現状と課題の学習」の	上北地方健康福祉こどもセンター	平成17年9月27日	三沢市総合社会福祉センター	地域リハビリに関わる専門職	
健康科学部・看護学科	山本 春江	生涯学習	保健師研修会	講師	日本郵政株式会社東北郵政健康管理センター	2010.12.14	青森県産業保健センター	保健師等	東北地域
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	社会福祉主事資格認定講習会	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター	5月28日、6月4日	青森県立保健大学	青森県および青森市福祉事務所職員、民間福祉施設職員 約60名	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	介護専門職員講座	講師	青森県社会福祉協議会	7月13日	青森県民福祉プラザ	青森県内の居宅介護に従事する介護職員 約40人	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	アロマセラピー研修会	講師	十和田市立中央病院	7月12日	十和田市立中央病院	十和田市立中央病院 緩和ケアリンクナース 約	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	人材育成	アロマセラピー研修会	企画・運営・講師	青森県立保健大学	11月10・11日	青森県立保健大学	県内看護職者44名	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	国際交流	ラオスにおける学校保健プロジェクト	代表	日本財団	8月、3月（各約4週間）	ラオス人民民主共和国	ラオス国民約2000人	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	国際交流	青年海外協力隊募集説明会	情報提供者	JICA	4月	水産会館ビル	国際協力を目指す青森市民	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	国際交流	青年海外協力隊募集説明会・国際協力推進説明会	情報提供者	JICA・青森県立保健大学国際科委員会	5月30日	青森県立保健大学	国際協力に興味のある青森県民	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	情報発信	NHK全国ケーブルテレビ大賞	出演	NHK	7月28日	NHKBS 1	日本全国	
健康科学部・看護学科	山本 加奈子	外部委員・学会活動	日本看護科学学会	学会委員					
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	健康に関する市民公開講座	講演「脳を知る」	青森県鍼灸マッサージ師会	2010年7月25日	弘前市社会福祉センター（弘前市）	青森県鍼灸マッサージ師会会員および弘前市民	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	第1回青森県定位・機能神経外科カンファレンス	教育講演「不随意運動に対する薬物	弘前市医師会、日本メドトロニック	2010年8月28日	ベストウェスタンニューシティホテル弘前（弘前市）	医師、看護師、学生	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	平成22年度 難病支援ボランティア養成研修	講演と質疑応答 「パーキンソン病の実情と	青森県社会福祉協議会、青森県パーキンソン病友の会	2010年10月20日	県民福祉プラザ（青森市）	パーキンソン病患者およびそのご家族、学生、ボランティアに関心のある市民	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	第2回藤崎町地域医療ネットワーク	講演「認知症について」	藤崎地域医師、日本ノバルティスファーマ株式会社	2010年11月2日	弘前プラザホテル（弘前市）	藤崎町で勤務している医師、看護師、その他医療職	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	生涯学習	パーキンソン病友の会研修会	講演と質疑応答 「パーキンソン病の患者と家族の方に知っておいてい	青森県パーキンソン病友の会	2010年11月5日	八戸市福祉公民館（八戸市）	八戸地域在住のパーキンソン病患者およびその家族	
健康科学部・理学療法学科	神成 一哉	産官学連携	平成22年度むつ保健所難病患者医療相談	講演と医療相談（パーキンソン	むつ保健所	2010年9月10日	むつ来さまい館	パーキンソン病の患者およびその家族	
健康科学部・理学療法学科	長門 五城	産官学連携	青森県立七戸養護学校授業改善事業	講師	青森県立七戸養護学校	平成21年6月5、12、26日、7月10日、9月4、11、25日、10月16、23、30日、11月20、27日、12月4、11日	青森県立七戸養護学校	青森県立七戸養護学校教員、学童及びその保護者	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	人材育成	新人教育プログラム研修会	講師	青森県理学療法士会	平成22年9月18日	青森県立保健大学	青森県理学療法士会会員	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	人材育成	初級障害者スポーツ指導員養成講習会	講師	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	平成23年2月12日	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	初級障害者スポーツ指導員受講資格者	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	産官学連携	PT・OT・ST等の外部専門家を活用した指導方法等の改善に関する実践研究事業	外部専門家	青森県教育委員会	平成20～21年度 計27回	青森県立七戸養護学校	教員及び児童・生徒	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	産官学連携	特別支援学校教育推進事業	外部専門家	青森県教育委員会	平成22年度 計9回	青森県立七戸養護学校、青森県立むつ養護学校	教員、児童・生徒とその保護者	
健康科学部・理学療法学科	福島 真人	地域交流	むつ保健所難病患者等医療相談	相談員	むつ保健所	9月10日、10月8日	むつ来さまい館	パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症患者とその家族	
健康科学部・理学療法学科	藤田 智香子	人材育成	特別養護老人ホーム静和園リハビリ講習	講師	静和園	平成22年4月～平成23年3月：月1回（第3木曜日）14：30～16：00	静和園（中泊町）	静和園の看護師・介護職員等	5～20名程度
健康科学部・理学療法学科	藤田 智香子	生涯学習	青森県立弘前中央高校大学模擬講義	講師	青森県立弘前中央高校	平成21年10月7日	青森県立弘前中央高校	青森県立弘前中央高校2年生	32名
健康科学部・理学療法学科	藤田 智香子	国際交流	韓国・仁済（インジェ）大学校との国際交流	研修計画立案・文書作成等	青森県立保健大学および仁済（インジェ）大学校	仁済大学校から本学へ来日：平成22年7月12日～8月11日・本学より仁済大学校へ訪韓：平成22年8月20日～9月5日	仁済大学校学生研修先：本学・黎明郷リハビリテーション病院等・本学学生研修先：仁済大学校・附属白	理学療法学科3年生	仁済大学校から来日：4名・本学より訪韓：4名
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	人材育成	セラピストのための解剖学：胸部及び腹部内臓編及び中枢神経系研	講師	本学理学療法学科	2011年7月2・3日、9月3・4日	本学	青森県内の理学療法士と作業療法士	
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	生涯学習	講演：転倒を予防していきいき人生	講師	青森県理学療法士会	2009年11月15日	ゆ～さ浅虫	青森市民	
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	生涯学習	講演：理学療法士をとりまく法制度について～現在と未来	講師	（社）日本理学療法士協会東北ブロック協議会	2009年12月12・13日	仙台市民会館	理学療法士	
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	生涯学習	研修会：スポーツ傷害の応急処置と予防方法	講師	全日本空道連盟大道塾青森市支部	2009年9月4日	青い森アリーナ	全日本空道連盟大道塾青森市支部員とその家族	
健康科学部・理学療法学科	岩月 宏泰	人材育成	出張講義：理学療法の役割と職域	講師	青森県立戸山高校	2009年10月16日	青森県立戸山高校	高校生	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 圍 等
健康科学部・理学療法学科	勘林 秀行	外部委員・学会活動	青森県リハビリテーション協議会	委員	青森県	平成22年6月8日、平成23年2月7日	青森市	青森県リハビリテーション協議会委員および青森県高齢者等地域リハビリテーション支援センター代表	青森県医師会、全国自治体病院協議会青森県支部、青森県歯科医師会、青森県薬剤師会、青森県看護協会、青森県理学療法士会、青森県作業療法士会、青森県言語聴覚士会等の団体選出委員および
健康科学部・理学療法学科	勘林 秀行	外部委員・学会活動	青森圏域等療育機能検討会議	委員	青森県	平成22年4月28日、6月1日、10月20日、平成23年1月31日	青森市	検討会議委員	あすなろ医療療育センター・さわらび医療療育センター、サービス利用者、教育庁学校教育課特別支援教育推進室、青森県医師会、青森市、弘前市、学識経験者等
健康科学部・理学療法学科	勘林 秀行	外部委員・学会活動	養護老人ホーム安生園苦情解決協議会	委員、座長	養護老人ホーム安生園	平成22年4月9日、7月16日、10月22日、平成23年1月21日、3月25日	養護老人ホーム安生園	協議会委員	第三者委員、入園者代表、安生園園長および事務局担当者
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	青森県介護支援専門員更新研修「リハビリテーション」および「訪問リハビリテーション」	講師	青森県介護支援専門員協会	2009年7月22日～23日	青森県民福祉プラザ	介護支援専門員更新研修受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	障害者スポーツ中級指導員指導研修	講師	青森県身体障害者福祉団体連合会	2009年9月19日、11月22日	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	障害者スポーツ中級指導員受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	障害者スポーツ初級指導員指導研修	講師	青森県身体障害者福祉団体連合会	2009年9月19日、11月22日	青森県身体障害者福祉センターねむのき会館	障害者スポーツ初級指導員受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	人材育成	ホームヘルパー2級講習	講師	社会福祉法人福祉の里	2010年3月20日	社会福祉法人福祉福祉の里ボナール	ホームヘルパー講習2級受講者	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症生活指導講話	顧問・講師	青森県脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会	2009年5月17日・2009年7月29日・2009年11月8日	青森県民福祉プラザ	脊髄小脳変性症・多系統萎縮症友の会会員	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	パーキンソン病生活指導講話	講師	青森県パーキンソン病友の会	2009年8月18日	青森県民福祉プラザ	青森県パーキンソン病友の会	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	むつ保健所難病事業	講師	むつ保健所	2009年9月3日	むつ来さまい館	下北地域の難病罹患者・家族	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	教育講話	講師	横浜町立横浜小学校PTA	2009年7月1日	横浜町立横浜小学校	横浜町立横浜小学校 教員、生徒、PTA	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	教育講話	講師	むつ市立城ヶ沢小学校PTA	2009年11月29日	むつ市立城ヶ沢小学校	むつ市立城ヶ沢小学校 教員、生徒、PTA	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	青森県立青森高等学校職業講話	講師	青森県立青森高等学校	2009年11月19日	青森県立青森高等学校	青森県立青森高等学校生徒	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	地域交流	青森県立青森東高等学校職業講話	講師	青森県立青森東高等学校	2009年12月4日	青森県立青森東高等学校	青森県立青森東高等学校生徒	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	青森県介護支援専門員協会理事会	理事	青森県介護支援専門員協会	2010年2月3日	青森県医師会館	青森県介護支援専門員協会理事	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	日本理学療法士協会東北ブロック協議会理事会	理事	日本理学療法士協会東北ブロック協議会	2009年4月18日・2009年12月11日	国立療養所仙台病院・仙台市民会館	日本理学療法士協会東北ブロック協議会理事・監	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	青森県理学療法士会理事会	副会長	青森県理学療法士会	7回開催		理事・役員	
健康科学部・理学療法学科	川口 徹	外部委員・学会活動	青森県保健医療福祉包括ケアシステム運営協議会	委員	青森県健康福祉部健康福祉政策課	2009年7月16日	アラスカ会館	同委員	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	人材育成	平成23年度救急看護認定看護師教育課程・「救急看護技術－重症患者の離床開始基準、咳嗽力評価、咳嗽介助法」	講師	青森県立保健大学地域連携国際医療センター・日本看護協会	2010年8月3日、8月4日(コマ)	青森県立保健大学	看護師	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	生涯学習	平成23年度青森県立保健大学オープンキャンパス模擬講義	テーマ「本当の理学療法とは、理学療法士のおもしろい」	青森県立保健大学	平成22年8月8(月)	青森県立保健大学	高校生など	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	生涯学習	平成23年度高校出前講義「理学療法の面白いところ大変なところ」	講師	青森県立八戸南高等学校	平成23年6月25日(土)	十和田市 特定非営利活動法人 驥	乗馬インストラクターなど	
健康科学部・理学療法学科	山下 弘二	生涯学習	平成23年訪問看護研修ステップ2「呼吸管理ー呼吸リハビリテーション」予定	講師	青森県看護協会	平成23年9月3日(土)	県民福祉プラザ	看護師	
健康科学部・理学療法学科	李 相潤	生涯学習	「バランス良い身体組成とは・自分の身体組成について考える」、青森県立保健大学、平成16年青森県立保健大学公開講座	講師	青森県立保健大学主催	2004年6月26日	青森県立保健大学講堂	青森県の一般住民	
健康科学部・理学療法学科	三浦 雅史	生涯学習	平成16年度スポーツ科学アドバイザー事業、スポーツ医学「テーピング」(サッカー競技)	講師	財団法人青い森みらい創造財団主催	2004年6月12日	青い森アリーナ、青森市	サッカー青森県高校選抜チーム(約50名)	
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	第2回ドライバ評価手法検討部門委員会	講師	社団法人自動車技術会 ドライバ評価手法検討部門委員会	2008年6月	東京都		
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	平成20年度むつ保健所難病患者医療相談	講師	むつ保健所	平成20年8月22日(金)	むつ来さまい館		
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	平成21年度むつ保健所難病患者等医療相談	講師	むつ保健所	平成21年10月23日(金)	下北文化会館		
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	くまもと技術革新・融合研究会(RIST)「医工連携共同研究会」	講師	くまもと技術革新・融合研究会事務局(財)くまもとテクノ産業財団	平成21年11月24日(火)	熊本県熊本市 くまもと県民交流館	熊本大学大学院学生、一般企業人、医師、歯科医師など	
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	平成22年度むつ保健所難病患者等医療相談	講師	むつ保健所	平成22年10月8日(金)	むつ来さまい館		
健康科学部・理学療法学科	尾崎 勇	人材育成	名古屋市南部神経内科セミナー	講師	中部労災病院・エーザイ株式会社	平成22年7月24日(土)	中部労災病院	医師、医療関係者など	
健康科学部・理学療法学科	桜木 康広	生涯学習	青森県立青森戸山高等学校出前講義	講師	青森県立青森戸山高等学校	平成17年1月25日(火) 12:50~15:30	青森県立青森戸山高等学校(青森市)	青森県立青森戸山高校1・2年生の当該授業希望者約30名を2回講義(計)	
健康科学部・理学療法学科	佐藤 秀一	人材育成	社会福祉主事資格認定講習会	講師	青森県立保健大学	平成20年11月5日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉事務所職員	
健康科学部・理学療法学科	佐藤 秀一	人材育成	産学連携	研究総括	保健大学	平成20-21年度	県工業総合研究センター、県農林総合研究センター、県内木材加工企業		
健康科学部・理学療法学科	鈴木 孝夫	人材育成	平成16年度 理学療法臨床実習指導者研修	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター(運営:健康科学部理学療法学科、後援:青森県理学療法士会)	2004年9月4、5日	青森県立保健大学	青森県、秋田県の理学療法臨床実習指導者	
健康科学部・理学療法学科	渡部 一郎	情報発信	産官学連携推進会議で「新しいリハビリテーション機器と評価法」	講演発表	産官学	2005年11月29日	当学	県内産業界	
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	生涯学習	飛び出せオープンカレッジ	ボランティアサポーター・青森県立保健大学地域貢献委員会におけるオー	飛び出せオープンカレッジ実行委員会・(ドアアランド・発達保障研究会)	年4回	青森県立保健大学	18歳以上の知的障害者	青森県内在住者(過去の実績は青森市内とその周辺地域からの参加が多い)
健康科学部・社会福祉学科	増山 道康	人材育成	青森県教育委員会教員研修「福祉担当教員実技研修」	企画協力・講師	青森県教育委員会(青森県教育庁)	2010年6月・2011年6月	青森県総合教育センター	青森県立高等学校「福祉」科目担当教諭・青森県教育委員会指導主事「福祉」科目担当者	青森県立高等学校教諭・青森県教育委員会指導主事

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・ 社会福祉学科	増山 道康	人材育成	高校生のための福祉介護講習会	企画協 力・教材 開発・講 師	青森県教育委員会（青森県教育庁）	2010年7月・2010年11月・ 2011年6月・2011年11月	青森県立保健大学 （7月開催）・青 森県総合教育セン ター（11月開催）	青森県立高等学校の卒業 後介護・福祉分野での就 職・進学を予定している 生徒	青森県内公立高等学校生
健康科学部・ 社会福祉学科	増山 道康	その他	高大連携授業	社会福祉 基礎論 （社会福 祉学科1年 生授業） を提供	青森県立保健大学	前期 Semester 中・2007年 4～7月（社会福祉学科通年 授業の一部）・2008年 4 ～7月（栄養学科前期開講 科目）・2009年 4～7月 （社会福祉学科前期開講科 目）・2010年 4～7月（社 会福祉学科前期開講科 目）・2011年 4～7月（社 会福祉学科前期開講科目）	青森県立保健大学	青森県立青森東校等学校 生徒	2年生希望者
健康科学部・ 社会福祉学科	増山 道康	その他	高専大学連携授業	講師	八戸工業高等専門学校	2010年9月	八戸工業高等専門 学校	八戸工業高等専門学校 「医工」科目履修生	八戸工業高等専門学校4 年生以上
健康科学部・ 社会福祉学科	増山 道康	その他	名古屋ホームレス等越冬支援	笹島診療 所イン テーク （生活相 談と越冬 施設入所	笹島労働会館他	2010年12月・2011年12月	名古屋市	失業者・不安定労働者・ 野宿者	限定無し
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成21年度社会福祉主事認定講習 会	講師（社 会福祉概	青森県		青森県立保健大学	社会福祉施設従事者及び 社会福祉行政従事職員対	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	社会福祉士実習指導者養成講習会	実習スー パービ ジョン演	日本社会福祉士会	2009年12月12日 （土）～13日（日）	東北福祉大学ス テーションキャン パス	社会福祉士	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	社会福祉士共通基盤研修	「社会福 祉士がと らえる生 活構造」	青森県社会福祉士会		県民福祉プラザ	社会福祉士	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	社会福祉士実習指導者養成講習会	「実習プ ログラミ ング論」	青森県社会福祉士会		青森県立保健大学	社会福祉士	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成21年度児童厚生2級指導員研 修会	「個別援 助技術」	青森県児童館連絡協議会	2009年10月8日	アビオあおもり	県内外の児童厚生員等	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	第9回ケアマネジメントフォーラ ムIN青森	基調講演 「対人援 助専門職 （ケアマ ネ ジャー） の価値と の価値と	青森県立保健大学	2009年11月6日	青森県立保健大学	青森県内のケアマネ ジャー等	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	七戸町こころの健康づくり講演会	「住民の 暮らしと こころの 健康のつ ながりに ついて」	七戸町健康福祉課	2010年3月3日	七戸農村環境改善 センター 柏葉館	民生主任児童委員、保健 協力員、町内会長等	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	精神保健福祉ボランティア受講講 座	講師	精神保健福祉ボランティアそよ風	2009年10月17日	県民福祉プラザ	精神保健福祉ボランティ ア講座受講生	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	青森県介護支援専門員研修Ⅰ	講師	NPO法人青森県介護支援専門員協会	平成19年7月10日	青森市文化会館	青森県内の介護支援専門 員	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成19年度児童厚生2級指導員研 修会	講師	青森県児童館連絡協議会	平成19年9月18日	県民福祉プラザ	青森県内外の児童厚生 員、放課後児童クラブ関	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	人材育成	平成19年度中部上北2町介護支援 専門員研修会	講師	七戸町・東北町	平成19年2月19日	七戸町天馬林保健 センター	七戸町・東北町の居宅介 護支援専門員及び在宅介 護支援センター職員	
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本社会福祉学会	会員					

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	大正大学社会福祉学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本デイケア学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本保健福祉学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本精神障害者リハビリテーショ ン学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本社会事業大学社会福祉学会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	日本社会福祉士会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	S S T 普及協会	会員					
健康科学部・ 社会福祉学科	石田賢哉	外部委員・学会活動	横浜市精神障害者地域生活支援連 合会	調査部会 協力者	横浜市精神障害者地域生活支援連 合会				
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	青森県蓬田村特定高齢者のための 介護予防教室	講師	蓬田村住民生活課	平成22年2月10日	蓬田村ふるさと総 合センター	特定高齢者	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	精神保健福祉ボランティア講座	講師	精神保健福祉ボランティアそよ風	平成21年10月17日	青森県民福祉ブラ ザ		
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	青森県東青地区婦人団体幹部研修 会	講師	青森県地域婦人団体連合会	平成21年9月27日	蓬田村ふるさと総 合センター	婦人団体関係者	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	生涯学習	青森県立保健大学公開講座	講師	青森県立保健大学	平成21年7月25日	青森県下北文化会 館	一般住民	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	人材育成	課題別研修 ソーシャルワーク研 修2009	講師	日本精神保健福祉士協会	平成21年11月14日	味覚糖UHA館	精神保健福祉士	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	人材育成	平成21年度社会福祉士共通基盤研 修	講師	青森県社会福祉士会	平成21年5月24日	青森県民福祉ブラ ザ	社会福祉士	
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	人材育成	社会福祉士主事認定講習会	講師	青森県	青森県立保健大学	社会福祉施設従事 者及び社会福祉行 政従事職員対象		
健康科学部・ 社会福祉学科	坂下 智恵	その他	サンネット福祉サービス運営協力 委員会	委員	地域サービスセンターSAN Net（就労 継続支援B型）・ワーカースコレク ティブハウスひいらぎ（共同生活援	平成21年度～			
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	人材育成	社会福祉主事資格認定講習会	講師(身体 障害者福 祉論、知 的障害者 福祉論)	青森県	平成21年6月4日(知的障害 者福祉論)、9月10日(身体 障害者福祉論)・平成22年5 月24日(身体障害者福祉 論、知的障害者福祉論)・ 平成23年5月23日(身体障害 者福祉論、知的障害者福祉	青森県立保健大学	福祉事務所、社会福祉施 設職員等	
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	人材育成	平成22年度市町村児童家庭相談専 門性向上支援講習会	講師(障害 者福祉論)	青森県健康福祉部こどもみらい課	平成22年11月10日・平成23 年9月12日	青森国際ホテル (平成22年度)・ア ピオあおもり(平 成23年度)	児童家庭相談に携わる市 町村職員等	
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	外部委員・学会活動	青森県手をつなぐ育成会 本人部 会(レインボー青森)	支援者	青森県手をつなぐ育成会	年に数回(不定期開催)	青森市内	青森県内在住の知的障害 者	
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	生涯学習	平成23年度青森県立保健大学公開 講座・第一回「知的障害のある人 のオープンカレッジの現状と課題 - 地域生活における学びについて 考える -」	講師	青森県立保健大学	平成23年5月28日	青森県立保健大学	青森県民および学生	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	その他	平成22年度第一回 介護・福祉を 目指す高校生のための講演会・平 成23年度第二回 介護・福祉を目 指す高校生のための講演会	講師(平成 22年度 障害者・ 高齢者擬 似体験に ついて考 えよう)・ (平成23年 度 障害 の受容と	青森県教育委員会	平成22年6月19日・平成23 年11月6日	青森県立保健大学	県内公立高校の学生	
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	その他	大学出張講義	講師(平成 22年度 「身近な ところか ら福祉に ついて考 えよ う!」)・ (平成23年 度「共感 すること	青森県立青森戸山高等学校	平成22年10月5日・平成23 年7月19日	青森県立青森戸山 高等学校	青森戸山高校生徒	
健康科学部・ 社会福祉学科	西村 愛	その他	お日様キャラバン(自殺防止市町 村演劇キャラバン)	シンポジ ウム「生 き心地の よい地域 をめざし て-気づ き・つな げる・見 守る-	青森県健康福祉部障害福祉課	平成23年7月16日	七戸町柏葉館	七戸町市民	
健康科学部・ 社会福祉学科	千葉 たか子	生涯学習	第29回 飛び出せ! オープンカ レッジin あおもり	講師	青森県立保健大学 発達保障研究会	平成22年6月13日	青森県立保健大学	オープンカレッジの学生	
健康科学部・ 社会福祉学科	千葉 たか子	生涯学習	平成22年度研修会	講師	宗教法人孝道山	平成22年6月20日	森田村青森別院	檀家の方	
健康科学部・ 社会福祉学科	千葉 たか子	生涯学習	青森県立弘前南高等学校出前講座	講師	弘前南高校進路指導部	平成22年7月8日	青森県立弘前南高 等学校	弘前南高校の当該講義希 望生徒	
健康科学部・ 社会福祉学科	千葉 たか子	生涯学習	青森県立八戸西高等学校、出張講 義	講師	青森県立八戸西高等学校	平成22年10月27日	青森県立八戸西高 等学校	八戸西高校の当該講義希 望生徒	
健康科学部・ 社会福祉学科	千葉 たか子	外部委員・学会活動	社会福祉法人青森県社会福祉協議 会地域福祉基金運営委員	社会福祉 法人青森 県社会福 祉協議会 地域福祉 基金運営 委員・副	社会福祉法人青森県社会福祉協議会	年に2-3回の委員会出席	社会福祉法人青森 県社会福祉協議会	社会福祉法人青森県社会 福祉協議会地域福祉基金 関係者	社会福祉法人青森県社会 福祉協議会地域福祉基金 関係者
健康科学部・ 社会福祉学科	千葉 たか子	その他	NGO活動「あおもりとベンガルを つなぐ会」	代表	「あおもりとベンガルをつなぐ会」	毎月1回の学習会、インド の現地訪問、JICAの「世界 の笑顔」プロジェクトに参 加	国内は青森市の自 由ヶ丘町民会館、 現地はインド国西 ベンガル州コルカ タ周辺の農村	市民一般	市民一般
健康科学部・ 社会福祉学科	千葉 たか子	その他	NGO活動「地球市民ネットワー ク・あおもり」	代表	「地球市民ネットワーク・あおも り」	毎月1回の学習会開催	青森市の自由ヶ丘 町民会館あるいは 青森市中央公民館	市民一般	市民一般
健康科学部・ 社会福祉学科	長谷川 真理子	外部委員・学会活動	日本社会福祉学会東北部会 第10 回研究大会	大会実行 委員	日本社会福祉学会東北部会	平成22年7月17日(土)、18 日(日)	青森県立保健大学	学会会員・非会員、学 生、一般市民	
健康科学部・ 社会福祉学科	大山 博史	人材育成	「うつ病と自殺対策」研修会	講師	青森県中泊町	平成22年2月4日	中里町保健セン ター	役場職員	
健康科学部・ 社会福祉学科	大山 博史	産官学連携	地域介入による自殺予防活動にお けるプログラム開発と効果評価研	研究代表	青森県立保健大学、県内市町村	平成17年～			

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・社会福祉学科	大山 博史	外部委員・学会活動	青森地域保健医療推進協議会	委員	東青地域県民局地域健康福祉部				
健康科学部・社会福祉学科	大山 博史	外部委員・学会活動	階上町障害者自立支援協議会	委員	青森県階上町				
健康科学部・社会福祉学科	入江 良平	人材育成	社会福祉主事認定講習会	講師	公立大学法人青森県立保健大学地域連携・国際センター	9月22日、24日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉施設職員	
健康科学部・社会福祉学科	入江 良平	外部委員・学会活動	介護サービス情報公表事業等推進委員会	委員	青森県社会福祉協議会				
健康科学部・社会福祉学科	入江 良平	外部委員・学会活動	日本トランスパーソナル心理学／精神医学会	理事					
健康科学部・社会福祉学科	加賀谷 真紀	外部委員・学会活動	青森県介護予防市町村支援委員会一般高齢者・地域づくり部会	委員	青森県健康福祉部高齢福祉保険課	平成21年度：平成21年12月16日、平成22年1月22日、2月19日・平成22年度：平成22年8月10日、10月7日			
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森紛争調整委員会	委員	厚生労働省青森労働局				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森県精神医療審査会	委員	青森県				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森法学会	理事	青森法学会				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	外部委員・学会活動	青森法政論叢編集委員会	編集委員	青森法学会				
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	人材育成	社会福祉主事認定講習会	講師 (「法学(憲)	公立大学法人青森県立保健大学地域連携・国際センター	平成22年9月15日・9月16日	青森県立保健大学	県及び各市福祉事務所職員、民間福祉施設職員	
健康科学部・社会福祉学科	大竹 昭裕	生涯学習	青森戸山高枝出前講義	講師	青森県立青森戸山高等学校	平成21年10月6日	青森県立青森戸山高等学校	高校2年生	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	青森市民生委員児童委員協議会全体講習会	講師	青森市社会福祉協議会	平成16年2月	青森市、ホテル青森	青森市民生委員児童委員450名	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度高齢者虐待防止ネットワーク推進事業、研修	講師	新潟県魚沼地域振興局	平成19年5月30日	魚沼市市民会館	福祉サービス事業者、グループホーム事業者、一般住民	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度青森県認知症介護実践研修	講師	青森県老人福祉協会	平成19年6月5日	青森市、アピオ青森	青森県介護老人福祉施設・事業所などに従事する介護職員	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	介護サービス情報の公表制度研修会	講師	青森県社会福祉協議会	平成19年8月27日	青森市文化会館	介護保険事業所、福祉サービス提供事業所の関係職員	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度高齢者虐待防止研修会	講師	青森県老人福祉協会	平成19年9月10日	青森市、アピオ青森	県内の老人福祉施設・事業所の関係職員	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	人材育成	平成19年度福祉サービス評価事業推進セミナー	講師	青森県福祉サービス第三者評価推進委員会事務局	平成19年9月24日	青森市、県民福祉プラザ	福祉サービス事業所、グループホーム事業所	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	日本社会福祉学会	査読委員	日本社会福祉学会	年間2回程度	東京都	学会から選出された学識者	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	日本社会福祉学会東北部会	幹事	日本社会福祉学会	年間6回程度	仙台市	学会から選出された学識者	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	福祉サービス第三者評価推進委員会	委員長	福祉サービス第三者評価推進委員会事務局	年間4回程度	青森市	関係団体の長及び学識者	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	青森県高齢者サービス総合調整推進会議	委員	青森県健康福祉部高齢福祉保険課	年間5回程度	青森市	職能団体の代表者、行政組織の代表者、学識者	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	青森県社会福祉士会	理事	青森県社会福祉士会	年間6回程度	青森市	学識者、社会福祉士会理事	
健康科学部・社会福祉学科	大和田 猛	外部委員・学会活動	青森県すこやか福祉事業団	理事	青森県すこやか福祉事業団	年間5回程度	青森市	学識者、事業団理事	
健康科学部・社会福祉学科	齋藤 史彦	その他	NPO法人光の岬福祉研究会の運営、調査等の助言	正会員	NPO法人光の岬福祉研究会				
健康科学部・社会福祉学科	佐藤 恵子	生涯学習	「男女共同参画条例をつくろう」学習会	講師	青森市の男女共同参画を進める会	2004年7月12日	青森市男女共同参画プラザ	主催団体会員および一般市民	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	みちのくヘルパースクール	講師	社会福祉法人 青森社会福祉振興団	平成21年6月23日・平成21年11月4日・平成22年2月13日	みちのく金谷総合デイサービスセン	下北地域在住の2級ホームヘルパー受講生	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	あおもりウィメンズアカデミー	講師	青森県男女共同参画センター	平成21年7月23日	アビオあおもり	政策・方針決定の場に参画できる資質を備えた女性人材になることを目指した県民	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	都市職員厚生会連絡協議会東北地区協議会総会に係る研修会	講師	都市職員厚生会連絡協議会東北地区協議会	平成21年8月27日	アップルバレス青森	都市職員厚生会連絡協議会東北地区協議会総会参	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	青森県アディクション問題研究会研修会	講師	青森県アディクション問題研究会	平成22年10月2日	アビオあおもり	青森県アディクション問題研究会メンバー（主に、アディクション問題に係わる保健医療福祉関係者）	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	生涯学習	平成23年度更生保護関係団体連絡協議会	講師	青森保護観察所	平成24年3月14日	青森市（浅道温泉：南部屋）	青森県の更生保護関係団体メンバー	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	外部委員・学会活動	2009年度全国社会福祉教育セミナー	第1分科会「大学への導入をどう進めるか」コーディネーター	社団法人日本社会福祉教育学校連盟	平成21年11月8日	鹿児島国際大学	同セミナーに参加していた全国の社会福祉教育関係者（主に大学教員）	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	人材育成	平成21年度苦情解決責任者・受付担当者研修	高齢者分科会進行役	青森県運営適正化委員会	平成21年11月20日	県民福祉プラザ	青森県内の高齢者分野の社会福祉事業所にて苦情解決責任者・受付担当者をしている方々	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	人材育成	平成21年度第三者委員・福祉オンブズマン研修会	講師	青森県運営適正化委員会	八戸：平成22年2月15日・青森：平成22年2月17日	八戸：八戸市総合福祉会館・青森：県民福祉プラザ	青森県内の社会福祉事業所で第三者委員もしくは福祉オンブズマンを行っている方々	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	外部委員・学会活動	(社)日本社会福祉士養成校協会東北ブロック平成21年度教職員研修会	シンポジスト	(社)日本社会福祉士養成校協会東北ブロック	平成21年12月5日	秋田看護福祉大学	東北地域の社会福祉士養成校の教職員	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	外部委員・学会活動	青森県医療ソーシャルワーカー協会	理事：研修担当	青森県医療ソーシャルワーカー協会	平成21年11月1日より（現在に至る）	不定	青森県内の病院・老人保健施設・地域包括支援センター等保健医療領域におけるソーシャルワーカー	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	外部委員・学会活動	青森県運営適正化委員会	委員	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会	平成22年9月9日より	不定	青森県内の社会福祉関係事業者に関する苦情等の受付、調査、調整等	
健康科学部・社会福祉学科	杉山 克己	その他	特定非営利活動法人 セーフティーネットあおもり	理事および派遣福祉オンブズマン	特定非営利活動法人 セーフティーネットあおもり	理事会：年3回程度・福祉オンブズマン：月1回	理事会：不定・福祉オンブズマン：青森市内のA高齢者福祉事業所	福祉オンブズマン：同福祉事業所の利用者	
健康科学部・栄養学科	向井 友花	生涯学習	青森県立八戸南高等学校「八戸南大学（大学模擬講座）」出前講義	講師	青森県立八戸南高等学校	平成21年6月27日	青森県立八戸南高等学校	青森県立八戸南高校の当該授業希望者	
健康科学部・栄養学科	向井 友花	生涯学習	食肉流通関連制度遵守セミナー	講師	青森県食肉事業協同組合連合会	平成20年11月27日	県民福祉プラザ	地域住民	
健康科学部・栄養学科	向井 友花	地域交流	オープンカレッジinあおもり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成20年5月25日・平成20年10月26日	青森県立保健大学	地域住民	
健康科学部・栄養学科	乗鞍 敏夫	産官学連携	平成20年度 知的財産権セミナー事業（「おからこんにやく」成功への道のり）	運営	東北経済産業局	平成21年3月3日	青森県立保健大学	教職員	
健康科学部・栄養学科	乗鞍 敏夫	産官学連携	第2回 北東北地域イノベーションフォーラム	出展業務の運営	JSTサテライト岩手	平成21年1月27日	青森国際ホテル	自治体、大学、研究機関、企業	
健康科学部・栄養学科	乗鞍 敏夫	産官学連携	平成20年度 青森県立保健大学 知的財産セミナー	運営	青森県立保健大学	平成20年10月9日	青森県立保健大学	教職員、学生、一般	
健康科学部・栄養学科	乗鞍 敏夫	産官学連携	先行技術調査講習会	運営	青森県立保健大学、知的所有権センター	平成20年8月29日、9月3日	青森県立保健大学	教職員、企業	
健康科学部・栄養学科	乗鞍 敏夫	地域交流	農ハウフェスタ2008	展示ブース	東北八新聞社協議会	平成20年8月31日	青い森公園	一般	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・栄養学科	熊谷貴子	産官学連携	母子保健ネットワーク会議・下北地域の小児肥満予防のための支援モデルの構築に向けた検討	講師	むつ市	2009年9月17日	来さまい館	むつ市健康増進課、下北地域の小学校の教職員と関係者など	
健康科学部・栄養学科	熊谷貴子	外部委員・学会活動	第9回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	交流会、食事支援	青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	2009年7月24日～7月26日	星と森のロマンピアそうま	小児糖尿病患者とその家族	
健康科学部・栄養学科	熊谷貴子	外部委員・学会活動	青森県栄養士生涯学習	「他職種への理解を深めよう」・研究教育協議会分野発表者	社団法人 青森県栄養士会	2009年11月7日	青森市文化会館	青森県栄養士会会員	
健康科学部・栄養学科	熊谷貴子	外部委員・学会活動	栄養と料理教室	栄養の講話と調理実習の実施と支援	青森県立保健大学	2009年11月20日、12月10日	サンネット青森	精神科に通院しながら、福祉サービスを利用されている方	●●
健康科学部・栄養学科	熊谷貴子	外部委員・学会活動	平川市健康講座	栄養教室講師	青森県平川市	2010年2月18日	平川市健康センター	平川市市民の皆さま	
健康科学部・栄養学科	熊谷貴子	外部委員・学会活動	弘前市健康教室	栄養教室講師	弘前市健康増進課	2010年3月25日	弘前市保健センター	弘前市岩木地区の皆さま	
健康科学部・栄養学科	岩部万衣子	地域交流	八戸市学校給食実践報告会	講師	八戸市学校給食会	平成23年11月9日	八戸市立白鷗小学校	学校給食関係者、保護者	
健康科学部・栄養学科	岩部万衣子	地域交流	第31回飛び出せ！オープンカレッジinあおもり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成23年6月19日	青森県立保健大学	オープンカレッジ受講生	
健康科学部・栄養学科	岩部万衣子	地域交流	第26回飛び出せ！オープンカレッジinあおもり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成22年6月13日	青森県立保健大学	オープンカレッジ受講生	
健康科学部・栄養学科	岩部万衣子	地域交流	平成21年度あおもりっ子食育フェスタ	展示ブース	青森県教育委員会	平成21年 11月7日	ゆうネットシティホール	青森県の小・中・高校生	
健康科学部・栄養学科	岩部万衣子	地域交流	いただきます！あおもり食育推進モデル事業	管理栄養士	青森県・青森県食育推進会議・地域食育ネットワーク協議会	平成20年 10月30日 11月17日 11月27日 ・平成21年 1月11日	青森県平内町某小学校	某小学校学童とその保護者	
健康科学部・栄養学科	岩部万衣子	地域交流	あおもりっ子食育サミット	展示ブース	青森県教育委員会	平成20年 11月8日	ゆうネットシティホール	青森県の小・中・高校生	
健康科学部・栄養学科	岩部万衣子	地域交流	農ハウフェスタ2008	展示ブース	東北八新聞社協議会	平成20年 8月31日	青い海公園	青森県民、その他東北県民	
健康科学部・栄養学科	羽入辰郎	情報発信	講義録の出版	著者	ミネルヴァ書房	2009年2月28日	京都	大学入学前の高校生	読者
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	生涯学習	公開講座	講師	青森県立保健大学	平成18年	むつ市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	生涯学習	青森県民カレッジ（あすなろうマスターカレッジ）	講師	青森県	平成18年	青森市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	人材育成	“Knowing and Using: Encouraging our students to speak in English”	講師	青森県高等学校教育研究会外国語部会	平成14年	黒石市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	人材育成	青森県高等学校英語コミュニケーション実践講座	講師	青森県総合学校教育センター	平成15年・平成16年・平成18年・平成19年・平成20年・平成21年	青森市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	人材育成	英語教員指導力向上5ヶ年研修	講師	青森県	平成16年・平成17年・平成19年	七戸町・三沢市・八戸市・六戸町・青森市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	人材育成	Aomori Prefecture ALT Mid-Year Seminar	基調講演・講師	青森県	平成16年・平成19年・平成20年・平成21年	八戸市・青森市・弘前市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	人材育成	東津軽郡中学校教育研究会	講師	外ヶ浜町立蟹田中学校	平成20年	外ヶ浜町		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	地域交流	教育訪問・10高等学校	講師	青森県	平成14年～	青森県		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	地域交流	全国商業高等学校 英語スピーチコンテスト	審査員	青森県	平成12年～・(10回)	青森県		

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	地域交流	英語スピーチコンテスト	審査員	青森明の星高等学校	平成21年・平成22年	青森市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	外部委員・学会活動	SELHi (Super English Language High School)	運営指導委員・講師	八戸聖ウルスラ学院高等学校	平成17年～平成19年	八戸市		
健康科学部・栄養学科	ノールズ・アラン	外部委員・学会活動	青森県 ITER・BA 外国人教育環境整備検討委員会	委員	青森県	平成19年・平成20年	青森市		
健康科学部・栄養学科	浅田 豊	生涯学習	地域子ども会議	講師	青森市教育委員会	平成16年11月6日より計5回	市民センター等	青森市内小学生・中学生・保護者	
健康科学部・栄養学科	浅田 豊	人材育成	保健師助産師看護師実習指導者講習会「教育原理」	講師	青森県看護協会	平成19年7月	県民福祉プラザ	看護師等	青森市
健康科学部・栄養学科	浅田 豊	人材育成	西北地区放課後子どもプランフォーラム・講演	講師	西北教育事務所	平成19年7月	柏ふるさと交流センター	教師、安全管理員、指導員等	つがる市
健康科学部・栄養学科	浅田 豊	人材育成	下北地区放課後子どもプラン合同指導員等研修会・講演	講師	下北教育事務所	平成19年6月～10月	中央公民館	教師、安全管理員、指導員等	むつ市
健康科学部・栄養学科	浅田 豊	生涯学習	あすなるマスターカレッジ講座講師「修了レポート・資料収集方	講師	青森県総合社会教育センター	平成19年7月	青森県立保健大学	地域住民	青森市
健康科学部・栄養学科	浅田 豊	生涯学習	青森市家庭教育支援総合推進事業・講演「子どもの心と体を守り育てるには」	講師	青森市子育てサポートセンター	平成20年2月	アビオ青森	地域住民	青森市
健康科学部・栄養学科	浅田 豊	外部委員・学会活動	学会会員	会員	日本教育学会・日本教科教育学会・日本社会科教育学会・日本健康教育学会・日本公衆衛生学会・北海道社会福祉学会・日本家族看護学会・日本循環器管理研究協議会・日本小児保健学会・日本民族衛生学会				
健康科学部・栄養学科	齋藤 長徳	生涯学習	平成21年度青森県立保健大学公開講座	講師	青森県立保健大学	平成21年7月11日	県立保健大学大講堂	一般市民	
健康科学部・栄養学科	齋藤 長徳	人材育成	平成21年度訪問看護師養成講習会ステップ1	講師	青森県看護協会	平成21年8月27日	県民福祉プラザ	保健師・助産師・看護師・准看護師	40人
健康科学部・栄養学科	齋藤 長徳	地域交流	平成21年度社会福祉研修会	講師	平成21年11月予定	青森県立保健大学	県内福祉施設職員		
健康科学部・栄養学科	齋藤 長徳	地域交流	平成21年度青森地区栄養士会研修会	講師	青森県栄養士会青森地区	平成21年4月18日	青森県観光物産館アスパム	地区管理栄養士・栄養士	
健康科学部・栄養学科	齋藤 長徳	外部委員・学会活動	青森県医療費適正化計画の実施に係る懇話会	保健医療関係団体選出委員	青森県健康福祉部				
健康科学部・栄養学科	藤田 修三	産官学連携	生活習慣病改善にむけた健康教室	班長	健康寿命アッププロジェクト食生活研究班	2007年7月～11月	黒石市産業会館	住民	
健康科学部・栄養学科	藤田 修三	産官学連携	食育講演	講師	つがる市	平成19年7月4日	つがる市生涯学習センター	つがる市食生活改善普及員	
健康科学部・栄養学科	藤田 修三	産官学連携	スポレクあおもり2007協賛イベント(クロリティー)	公認審判員	青森県、協賛：青森県クロリティー協会	平成19年9月23日	青い森公園(青森市)		
健康科学部・栄養学科	藤田 修三	産官学連携	高大連携：青森東高校出張講義	講師	青森県立青森東高等学校	平成19年11月15日	青森県立青森東高等学校	高校生	
健康科学部・栄養学科	藤田 修三	産官学連携	給食管理室の衛生	講師	青森市	平成20年2月28日	元気プラザ(青森市)	青森市内施設栄養士	
健康科学部・栄養学科	廣森 直子	その他	飛び出せ！ オープンカレッジin あおもり	運営委員	あおもりオープンカレッジ運営委員会	第29回 2010年6月13日(日)・第30回 2011年2月20日(日)・(2010年度は2回実施)	青森県立保健大学	知的障害者および一般住民	
健康科学部・栄養学科	廣森 直子	その他	第29期 青森県社会教育委員	任期：2008年10月19日～2010年10					

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・栄養学科	廣森 直子	その他	青森県立保健大学 公開講座 講師	講師・ テーマ 「生涯学習について考える～いろいろな人の」	青森県立保健大学	2009. 7. 11	青森県立保健大学	一般住民、学生	
健康科学部・栄養学科	廣森 直子	その他	家庭裁判所家事実務研究会 講師	講師・ テーマ 「ジェンダーにつ	青森家庭裁判所	2009. 10. 26	青森家庭裁判所	青森家庭裁判所 調停員	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	第6回たべる・たいせつ食育フォーラム・【短命県返上!～地域の食資源を活かして長生きしよう】	講師	青森県生活協同組合連合会	2011年10月19日	青森市文化会館	一般	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	平成23年度公開講座・【自然の恵・地域の恵・県産食品で健康に～地域の食資源の機能性～】	講師	青森県立保健大学	2011年5月28日	青森県立保健大学	一般	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	過去の講演・平成20年度公開講座【ピンピンコロリ、元気で長生きする食と栄養】・・・地域キャンパス講座【ピンピンコロリ、元気で長生き】・・・いただきます! あおもり食育県民大会西北大会基調講演【元気で長生きのために“食選力”を身につけよう】・・・平成21年度行政栄養士研修会【地域の食資源と研究紹介—栄養性と機能性—】・・・食育と未病フォーラム・・・【海藻と健康】 【「食」の科学と「食育」(生活習慣病予防のために)】 【スーパーヘルシー食品「ガマズミ飲料」の開発と生活習慣病の予防効果】 【納豆の持つ動脈硬化予防効果について】 【アピオス(アメリカ・ホドイモ)の血圧降下作用】・・・油化学セミナー【地域食資源から抗酸化機能の探索とその応用】 2006/9/22・・・第7回青森糖質研	講師					
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	模擬講義・出張講義(2011年度)・【栄養と食品 ～人は一生にいくら食べるのか～】・【食品の科学 ～栄養と食べ物を食べること～】・【食品科学と栄養—食べ物を科学する・・・栄養、味、色、機能と健康—】・【食品を科学する ～食品の成分と栄養、	講師			高校等(県内外)	高校生	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	生涯学習	模擬講義・出張講義・2010年度・【食品機能論 一食べ物と健康一】・【食品学 一栄養と機能性一】・【フードサイエンス 一食べ物を科学する・・・栄養、味、機能と健康一】・【地域食資源の生理機能と研究開発について】・【食物と栄養（健康のための食品科学）】・・・2009年度以前・【人は一生にどの位の食物を食べるのだろうか】・【栄養学・序の口】【食と栄養・・・健康への架け橋】・【食と栄養（人は一生にどの位の食糧を食べるのか）】・【食と栄養（人は一生にどの位の食糧を食べるの	講師				高校生等	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	過去の講演・医療・健康福祉関連ビジネスサロン【青森県の健康食品づくり】・医療・健康福祉関連ビジネスサロン【県産食資源を活用した健康食品づくり】・医療・健康福祉関連ビジネスサロン【ガマズミ四方山話～マタギの秘薬から健康食素材へ～】・・・産学官連携推進会議in青森県立保健大学【食資源の抗酸化・機能性に関する研究～山の実から海藻まで～】・・・青森県発新事業創出プロジェクト青森発の「農林水産物」の高付加価値化事業創出プロジェクト【青森県の食資源と生理機能に関する研究紹介】・・・地域産業活性化に向けた異業種交流講演会【「地域資源を生かした産官学連携による地域産業の振興」～ガマズミやアピオスから三八の特産品作りを目指して～】・・・企業講演会【青森の地域食資源の機能性研究、利用、現場での活動】・・・静岡県食品技術研修会	講師				企業、研究機関	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	医療・健康福祉関連ビジネスサロン【県産食資源を活用した健康食品づくり】・・・医療・健康福祉関連ビジネスサロン【ガマズミ四方山話～マタギの秘薬から健康食素材へ～】・・・ヘルスアップビジネスセミナー【“あおもりならではのメタボ対策関連ビジネス”事業展開のヒント】・・・あおもり産学換金連携フォーラム【あおもり型産学官連携モデルの構築に	コーディネーター・パネラー				企業、研究機関、自治体、大学	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	ヘルシーフード創造研究会・講演会【「知」の結集プロジェクト概要】・【食資源の抗酸化・生理機能に関する研究『ツルアラメ』】・【ツルアラメの生理機能 研究会の活動報告】・【県産食資源を活用した健康食品づく	主催・講師・コーディネーター	ヘルシーフード創造研究会	2005年9月6日～		企業、研究機関、自治体	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	出展・健康博覧会2008【ガマズミ、アビオス研究成果】・・・第7回産学官連携推進会議【ガマズミ果実の生理機能研究と新規製品開発】・イノベーション・ジャパン2009 & 新技術説明会【ガマズミ果実残渣から新規粉末素材の開発】・健康博覧会2009【ガマズミ活用研究会・研究成果】・・・健康博覧会2010【ガマズミ活用研究会・研究成果・新開発製品】・食品開発展2010【「ガマズミ果汁と新規粉末素材の開発と機能性」、 「アビオス（マメ科イモ）の血圧降下作用」、 「ツルアラメ（褐藻類）の血糖上昇抑制作用」】・・・ものづくり産業技術フェアin八戸・あもり産学官金連携推進フォーラム【地域食資源を用いた保健食品等の研究開発の紹介・・・ガマズミ、アビオス、ツルアラメ】・・・健康博覧会2011【「ガマズミ（小野寺醸造元）」、「ア	出展・発表					
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	ガマズミ活用研究会【ガマズミを活用した製品開発・研究・普及・情報発信】	主宰・代表	保健大	2007年11月～	保健大・他	県内企業（ガマズミを利用した製品開発・事業化）	ガマズミ活用研究会のホームページ
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	産官学連携	ヘルシーフード創造研究会	代表	保健大	2005年9月～、随時	県内企業（研究成果を活用した製品開発支援）		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	ビジネスサロン・ちょこっとコラム		青森県新産業創造課	随時	医療・健康福祉関連ビジネスサロン		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	【農地から/特産物の機能性に着目。】河北新報・シリーズ健康食品のカルテ<7> 第2部 膨らむ市場 ファイル2 (2007/2/16)・・・【ガマズミの第一人者・身体の抗酸化力が向上】デーリー東北・月曜インタビュー (2009/3/2)・・・【ガマズミ】NHK おはようにつぼん・まちかど情報室 (2007/10/12)・ガマズミ活用	青森47NEWS	東奥日報・記事	デーリー東北記事	新製品発表	活彩あもり	
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	RABラジオあもり長寿セミナー【自然からの恵みを感じましょう】 (2011/3/5)・・・RABかっぺいのいたりきたり【アビオス】・RABかっぺいのいたりきたり【野性味あふれるジョミって何だ。】・RABかっぺいのいたりきたり【野老ってなあに？え、こ						
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	【アビオス（マメ科イモ）の血圧降下作用】デーリー・プラネットニュース&解説・デイブラ MONO事業部		日テレNEWS24	2010年10月15日			
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	情報発信	ツルアラメに血糖抑制成分・県立保健大など特許出願。			2009年3月26日	東奥日報4面		
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	外部委員・学会活動	日本未病システム学会・日本フードファクター学会	評議員					
健康科学部・栄養学科	岩井 邦久	外部委員・学会活動	日本栄養・食糧学会、他6学会	会員					
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	生涯学習	青森県立保健大学平成20年度公開講座	講師	平成20年6月28日	下北文化会館（青森県むつ市）	一般市民		

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所属	氏名	区分	事業名	役割	主催	開催日時	開催場所	対象	参集範囲等
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	生涯学習	あすなろマスターカレッジ	講師	青森県教育委員会	平成21年12月5日	青森県総合社会教育センター	あすなろマスターカレッジ受講生（一般市民）	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	地域交流	農ハウ2008栄養学科ブース出展	栄養学科紹介と食育活動	東奥日報社ほか	平成20年8月31日	青い海公園（青森県青森市）	一般市民	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	情報発信	ラジオ番組「青森長寿セミナー“血液さらさらな食事をどう	講師	RABラジオ	平成21年5月16日6:30～7:00			
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	外部委員・学会活動	青森県調理師試験委員	委員	青森県	平成21年度			
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	その他	青森県立弘前高等学校「大学学部研究」	講師	青森県立弘前高等学校	平成20年9月24日	青森県立弘前高等学校	高校2年生	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	その他	青森県立青森南高等学校「学部説明会」	講師	青森県立青森南高等学校	平成20年11月19日	青森県立青森南高等学校	高校2年生	
健康科学部・栄養学科	井澤 弘美	その他	弘前学院聖愛中学高等学校「校内進路ガイダンス」	講師	弘前学院聖愛中学高等学校	平成20年11月22日	弘前学院聖愛中学高等学校	高校2年生、PTA	
健康科学部・栄養学科	ノールズ アラン	生涯学習	Aomori Higashi High School International visit	講師	2004年7月15日	青森県立東高校、青森県立八戸商業高等学校			
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	一先端科学を地域食資源にー	講師	弘前大学地域共同研究センター	2007/7/31日	弘前市	学生、教師、企業関係者	産学官関係者100人
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	地域資源に新たな可能性を求めて	東北町食生活改善推進研修	東北町食生活改善推進委員会	2007/4/20	上北町健康増進センター	東北町食生活改善推進委員	東北町食生活改善推進委員120名
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	大学院教育のFDで今求められているものは？	研修会講師	弘前大学大学院医学部研究科保健科	弘前大学FD研修委員会	弘前市	大学院教師及び大学院生	教師、院生、事務職員60名
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	朝食についてー朝ご飯はなぜ必要か？	保健活動教育講演	青森市立小柳小学校	2007/11/22	青森市	小学1年生～6年生、その教師及び父兄	400人
健康科学部・栄養学科	松江 一	生涯学習	食と健康フォーラムー市民公開講座ー	実行委員、講師	日本未病学会青森支部（支部長金沢武道）	2007/10/27	青森県立保健大学	一般市民	
健康科学部・栄養学科	松江 一	国際交流	韓国食品製造業の中小企業経営者セミナー	講師	韓国慶北大学農学部食品科学工学研究所	2008/6/25	韓国/大邱市	食品製造に関わる中小企業の経営者	産学官関係者100名
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	特定健診における職域を対象とした保健指導モデルの開発	管理栄養士	平成22年度科学研究費補助金事業	平成22年 4月26日	某企業	某企業職員	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	第10回青森県小児糖尿病サマーキャンプ	管理栄養士	第10回青森県小児糖尿病サマーキャンプ実行委員会	平成22年7月30～8月1日	星と森のロマントピアそうま	青森県の小児糖尿病患者	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	地域交流	第30回飛び出せ！オープンカレッジ in あおもり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成23年2月20日	青森県立保健大学	知的障がい者	
健康科学部・栄養学科	森永 八江	情報発信	ニュースワイド	トマト鍋のレシピの紹介	ATV	平成22年11月5日			
健康科学部・栄養学科	森永 八江	外部委員・学会活動	日本ヒューマンケア科学学会第3回学術集会	日本ヒューマンケア科学学会第3回学術集	日本ヒューマンケア科学学会	平成22年10月23日	青森県立保健大学		
健康科学部・栄養学科	メリッサ 小笠原	国際交流	Aomori Prefecture High School Visits	English Teacher		2007	Aomori Nishi High School, Hirosaki High School, Hachinohe Nishi		
健康科学部・栄養学科	メリッサ 小笠原	国際交流	一歩ずつんだ看護現任研修	「コミュニケーション能力を高める その一歩を踏み出そう」	青森県立保健大学	2008 12月13日	十和田市立中央病院		

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	アピオあおもりスキルアップセミナー	講師	青森県男女共同参画センター	平成21年12月21日	青森県男女共同参画センター（アピオあおもり）	NPO、市民グループ、一般市民	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	東青地域実践型チャレンジ支援事業	講師	青東地域実践型チャレンジ実行委員会	平成21年11月12日	アピオあおもり	一般市民	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	再就職準備セミナー「自分を活かすコミュニケーション」	講師	財団法人21世紀職業財団	平成21年6月16日・平成21年7月7日	6月（青森市アウガ）・7月（十和田市総合体育センター）	県民対象（県民カレッジ対象）	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	平成21年度 青難聴福祉学習会	講師	青森県難聴者・中途失聴者協会	平成22年3月14日	ねむのき会館	難聴者・中途失聴者・要約筆記者・手話通訳者な	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	人権教育・学習推進モデル事業「人権尊重のコミュニケーション」	講師	青森県教育委員会・五所川原市人権学習協議会	平成20年9月20日	五所川原地域職業訓練センター	県民対象	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	第25回飛び出せオープンカレッジinあおもり	講師	青森オープンカレッジ運営委員会	平成21年2月15日	青森県立保健大学	知的障がい者、サポーター	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	五所川原市女性再チャレンジ事業コミュニケーション講座	講師	五所川原市女性再チャレンジ実行委員会	平成20年12月9日	五所川原公民館	県内の女性	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	平成20年度青難聴福祉学習会	講師	青森県難聴者・中途失聴者協会	平成21年3月15日	ねむのき会館	難聴者・中途失聴者・要約筆記者、手話通訳者な	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	平成19年度青森県手話通訳問題研究会講座	講師	青森県手話通訳問題研究会	平成19年4月8日	青森県聴覚障害情報センター	青森県手話通訳士	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	五所川原市女性再チャレンジ事業コミュニケーション講座	講師	五所川原市女性再チャレンジ実行委員会	平成20年1月31日	五所川原地域職業訓練センター	一般市民・県民	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	五所川原市女性再チャレンジ事業コミュニケーション講座	講師	五所川原市女性再チャレンジ実行委員会	平成20年2月1日	金木公民館	一般市民・県民	
地域連携・国際センター	川内規会	生涯学習	2007年度第4回市民講座	講師	心がかようコミュニケーションを考える会	平成19年2月17日	青森県立保健大学	一般市民・県民	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	看護技術スキルアップ研修 医療安全にかかわる看護技術「コミュニケーションスキル」	講師	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	平成21年7月10日	青森県立保健大学	潜在看護師	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	平成21年度青森県手話通訳者養成講座 応用課程 講義「ことばのしくみ」	講師	青森県聴覚障害者情報センター	平成21年7月26日	青森県聴覚障害者情報センター	手話通訳者養成講座基本課程修了者、手話通訳関係者	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	平成21年度新人教育研修会	講師	社団法人青森看護協会	平成21年8月24日	県民福祉プラザ	県内看護師	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	看護技術スキルアップ研修 医療安全にかかわる看護技術「コミュニケーションスキル」	講師	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	平成21年9月10日	青森県立保健大学	現職看護師	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	平成21年度青森県栄養士会研究教育協議会研修会	講師	青森県栄養士会 研究教育協議会	平成22年2月6日	大学コンソーシアム青森	栄養士会関係者、大学関係者	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	生活・介護支援サポーター養成事業	講師	社会福祉法人桜木会むつ市地域包括支援センター	平成22年3月2日	むつつままい館	市民（医療職・民生委員・保健協力員・介護支援者など）	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	平成20年度青森県手話通訳者養成講座「ことばのしくみ」	講師	青森県聴覚障害者情報センター	平成20年8月10日	青森県聴覚障害者情報センター	手話奉仕員養成講座基礎課程修了者、手話通訳関係者	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	看護現任研修会	講師	青森県立保健大学研修企画	平成20年12月13日	十和田市立中央病院	看護師	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	看護師研修会	講師	青森県立保健大学 研修科	平成21年2月11日	青森県立保健大学	現任看護師・潜在看護師	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	看護技術スキルアップ研修 医療安全に関わる看護技術「コミュニケーションスキル」	講師	青森県立保健大学 地域連携国際センター	平成20年11月30日	青森県立保健大学	現職看護師	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	平成20年中部上北2町介護支援専門員研修会	講師	七戸町健康福祉課	平成21年3月13日	東北町保健センター	居宅介護支援専門員・在宅介護支援センター職員	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	救急看護認定看護師フォローアップセミナー	講師	青森県立保健大学 地域連携・国際センター	平成21年3月17日	青森県立保健大学	救急看護認定看護師教育課程修了生	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	青森産業保健推進センター 産業看護師研修会	講師	労働者健康福祉機構 青森産業保健推進センター	平成19年7月27日、8月10日	青森	産業看護師	

平成22年度 地域貢献活動実施状況報告書

所 属	氏 名	区 分	事 業 名	役 割	主 催	開 催 日 時	開 催 場 所	対 象	参 集 範 囲 等
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	平成19年度中部上北2町介護支援専門員研修会	講師	七戸町健康福祉課	平成19年12月20日	東北町保健センター	介護支援専門員・在宅介護支援センター職員	
地域連携・国際センター	川内規会	人材育成	救急看護認定看護師フォローアップセミナー	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター	平成20年3月6日	青森県立保健大学	救急看護認定看護師教育課程修了者	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	研修生対象日本語支援クラス	講師	青森県立保健大学地域連携・国際センター国際科	平成21年7月～平成22年2月	青森県立保健大学	青森県技術研修員（ブラジル）	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	2009年度米国ベレノバ大学学生研修	コーディネーター・通	青森県立保健大学 地域連携・国際センター国際科	平成21年5月10日～5月15日	青森県立保健大学、県内病院や医療関係施設など	米国ベレノバ大学学生、院生、教員など	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	2009年度留学生・研修生日本語支援クラス	講師	青森県立保健大学 国際科	ベレノバ大学対象 5月12日・仁済大学校学生・教員対象 7月13日	青森県立保健大学	米国ベレノバ大学学生対象・韓国仁済大学校学生・教員対象	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	Philippine South Western University視察、交流	視察・通訳・報告	青森県立保健大学 国際科	平成20年2月26日～3月1日	Philippine, Mandaue・Cebu	South Western University関係者、Mandaue中央小学校関係者、福祉関係者、官庁関係者	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	2008年度留学生・研修生日本語支援クラス	講師	青森県立保健大学 国際科	平成20年7月14日	青森県立保健大学	韓国・仁済大学校学生対象	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	2007年度米国ベレノバ大学看護学生研修	コーディネーター・通	青森県立保健大学 国際科	平成19年5月13日～19日	青森県立保健大学、県内病院、医療施設など	アメリカベレノバ大学学生、研修生、教員	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	2007年度あおもり地球市民講座	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター国際科・JICA共催	平成19年11月10日	青森県立保健大学	一般市民・県民	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	留学生対象日本語支援クラス	講師	青森県立保健大学健康科学教育センター国際科	平成18年4月10日から平成20年3月10日まで	青森県立保健大学	留学生	
地域連携・国際センター	川内規会	国際交流	Safty Promotion視察	通訳	GSP/Prof. Leif Svanstrom	平成19年9月27日	青森県立保健大学	学生・一般	
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	文部科学省後援・実用英語技能検定試験	二次試験（英語）面接委員特別相談員	日本英語検定協会	毎年実施（平成22年度第1回7月11日 第2回11月14日 第3回2月20日）	青森山田高等学校	一般市民	
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	青森産業保健推進センター産業保健相談員		労働者健康福祉機構 青森産業保健推進センター	平成19年4月1日から平成20年3月31日		産業保健関係者	
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本コミュニケーション学会(CAJ)	理事・監査					
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本コミュニケーション学会東北支部(CAJ)	副支部長、大会実行委員					
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本通訳翻訳学会	会員					
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	異文化コミュニケーション学会(SIETAR)	会員					
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	Pacific and Asian Communication	会員					
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本セーフティプロモーション学会	会員					
地域連携・国際センター	川内規会	外部委員・学会活動	日本ヒューマン・ケア心理学会	運営委員					